

# 平成30年度の森林環境整備事業実績にかかる評価 および令和元年度事業計画について

令和元年6月

大阪府 環境農林水産部 みどり推進室 森づくり課

# 目次

---

(1) 危険渓流の流木対策事業	1
(2) 主要道路沿いにおける倒木対策事業	2 3
(3) 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）	4 2
(4) 持続的な森づくり推進事業（人材育成）	6 3
(5) 持続的な森づくり推進事業（未利用木質資源(林地残材等)活用）	6 8
(6) 子育て施設木のぬくもり推進事業	7 2

# (1) 危険渓流の流木対策事業

## 【目的】

局地的な集中豪雨が頻繁に発生し、土石流の発生時に渓流沿いの木を巻き込んで流れ出すことで、河川や水路等をふさぎ、冠水や交通遮断など市街地における被害を拡大させる流木災害を未然に防止する。

## 【事業概要】

- ・事業対象区域：山地災害危険地区「崩壊土砂流出危険地区」、保安林外  
(危険度Aランク・保全対象20戸以上・治山事業の未着手地域)
- ・事業箇所数：30箇所
- ・事業内容：
  - ・ハード対策  
土石流発生を抑止する治山ダムの整備  
流木となる危険性の高い渓流沿いの立木の伐採、林外搬出  
防災機能を強化する荒廃森林の整備（強度間伐等）
  - ・ソフト対策  
防災教室の開催、地域との協働による森林危険情報マップの作成  
事業の効果検証等
- ・事業の工程：初年度～ 現地調査、地権者調査（コンサルタント委託）  
森林所有者、市町村、地元自治会等との調整  
森林所有者と協定書を締結し事業実施  
※協定書により、10年間の森林の維持



土石流や流木の被害を防ぐ治山ダム



災害に強い強度間伐による森づくり



小学校での防災教室



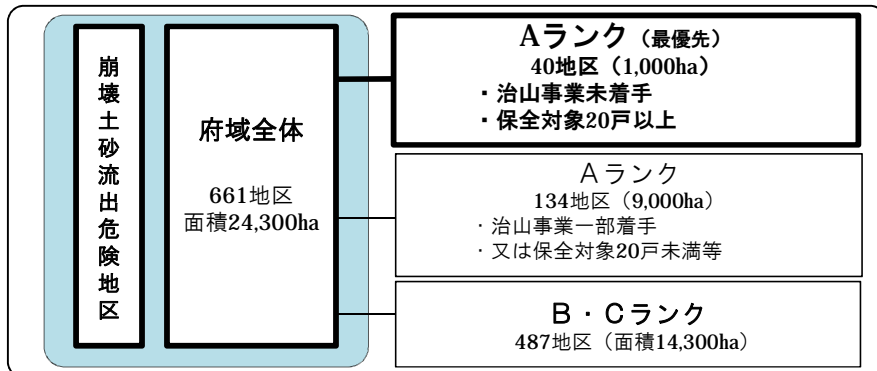
地域協働によるマップづくり

## 【事業計画】

	全体計画		H28		H29		H30		R1～	
	箇所数	事業費	箇所数	事業費	箇所数	事業費	箇所数	事業費	箇所数	事業費
	30	2,006,632	8	298,000	16	522,000	16	546,000	20	640,632
(新規着手件数)			(8)		(8)		(8)		(6)	※R1までに着手

(単位：千円)

## 事業対象区域の選定方法



## 事業実施

豪雨時に流出の恐れのある  
渓流沿いの危険木



## 実施箇所

### ■事業対象区域

- 保安林外  
対象：30地区（面積750ha）

### 【参考】

保安林内については、平成27年度より、知事重点事業として国庫補助金も活用し、先行して実施（H27～）  
対象：10地区（面積250ha）

# 自然災害から府民の暮らしを守る 危険渓流の流木対策

## 近年の災害の状況

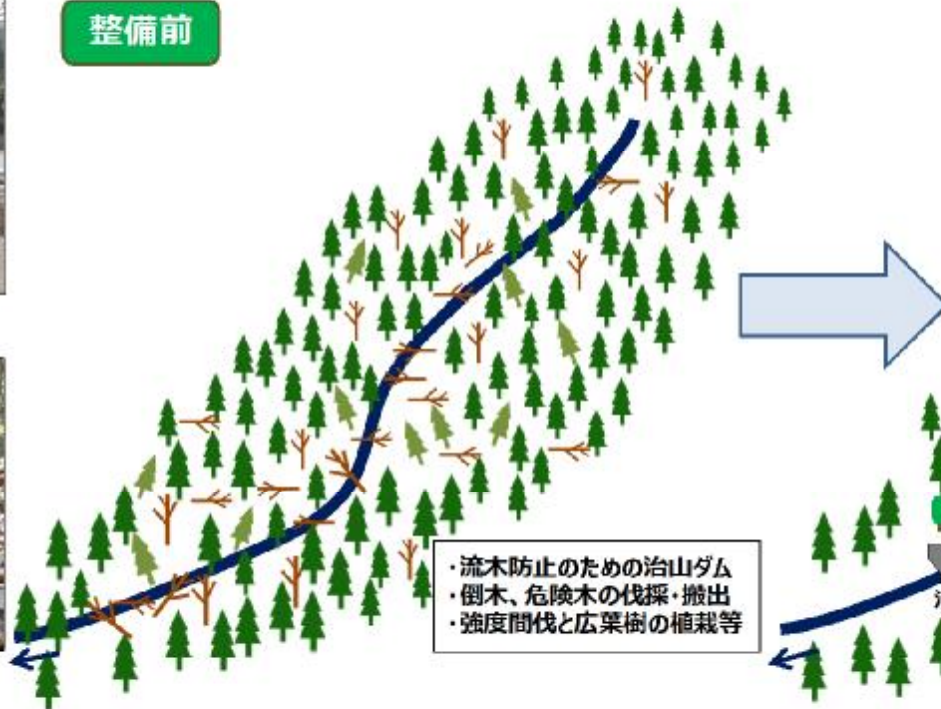


水路閉塞による国道通行止  
H26年8月(箕面市)



渓流閉塞による国道通行止  
H25年9月(千早赤阪村)

## 整備前



- ・流木防止のための治山ダム
- ・倒木、危険木の伐採・搬出
- ・強度間伐と広葉樹の植栽等

## 整備後



強度間伐、広葉樹植栽等による  
針広混交林化

## 施行地の全景



山地に近接する住宅地の状況  
(東大阪市)

## 渓流内の状況



流木となる恐れのある林内の  
倒木・危険木の状況(枚方市)

## 整備内容



治山ダムの設置により、渓流勾配を  
緩和し土石流の発生を未然に防止(千早赤阪村)



森林整備(間伐)による表土  
流出の防止(千早赤阪村)



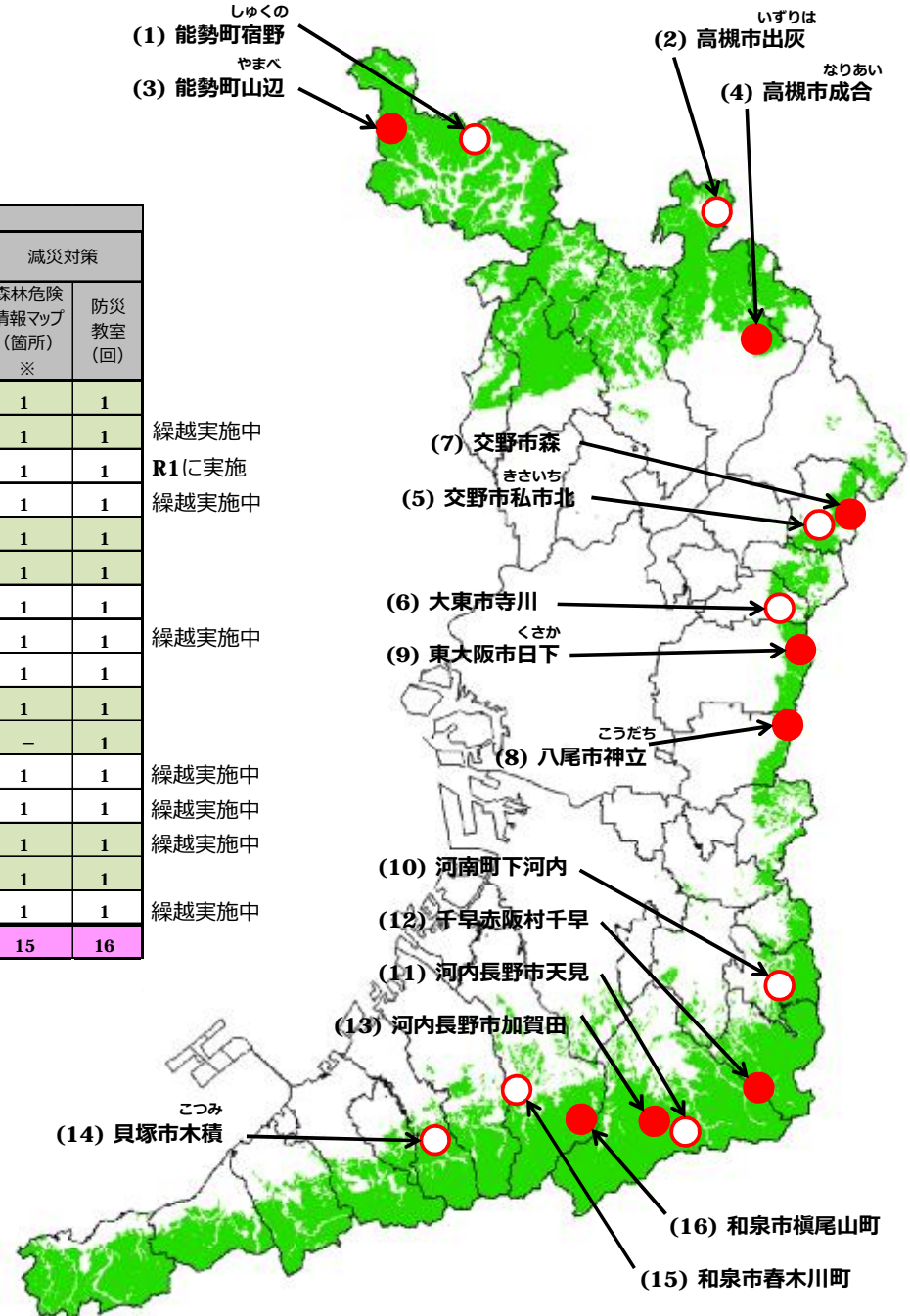
# 平成30年度 危険渓流の流木対策事業実績

箇所名	新規・継続	計画数量					実績数量				
		土石流対策		流木対策	減災対策		土石流対策		流木対策	減災対策	
		治山ダム(基)	森林整備(ha)	渓流延長(m)	森林危険情報マップ(箇所)※	防災教室(回)	治山ダム(基)	森林整備(ha)	渓流延長(m)	森林危険情報マップ(箇所)※	防災教室(回)
(1) 能勢町宿野 (しゅくの)	継続	1	3.5	100	1	1	1	0.1	100	1	1
(2) 高槻市出灰 (いずりは)	継続	2	1.0	250	1	1	2	0.0	500	1	1
(3) 能勢町山辺 (やまべ)	新規	1	5.0	200	1	1	0	0.0	0	1	1
(4) 高槻市成合 (なりあい)	新規	2	2.0	200	1	1	2	0.0	200	1	1
(5) 交野市私市北 (きさいちきた)	継続	1	2.0	130	1	1	1	1.6	190	1	1
(6) 大東市寺川	継続	1	0.5	80	1	1	1	0.5	80	1	1
(7) 交野市森	新規	1	3.0	300	1	1	1	4.6	420	1	1
(8) 八尾市神立 (こうだち)	新規	1	1.0	100	1	1	1	1.1	100	1	1
(9) 東大阪市日下 (くさか)	新規	-	5.0	-	1	1	-	5.0	-	1	1
(10) 河南町下河内	継続	2	2.0	200	1	1	2	1.7	300	1	1
(11) 河内長野市天見	継続	2	3.0	200	1	1	2	6.0	200	-	1
(12) 千早赤阪村千早	新規	2	1.0	200	1	1	2	0.4	200	1	1
(13) 河内長野市加賀田	新規	2	1.0	200	1	1	2	0.7	200	1	1
(14) 貝塚市木積 (こつみ)	継続	3	6.5	150	1	1	3	0.0	250	1	1
(15) 和泉市春木川町	継続	2	9.0	300	1	1	1	9.0	400	1	1
(16) 和泉市槇尾山町	新規	1	3.0	100	1	1	1	0.0	100	1	1
<b>16箇所 (新規8箇所・継続8箇所)</b>		<b>24</b>	<b>48.5</b>	<b>2,710</b>	<b>16</b>	<b>16</b>	<b>22</b>	<b>30.7</b>	<b>3,240</b>	<b>15</b>	<b>16</b>

※ 1年目：原案、2年目：マップ完成

**凡例**

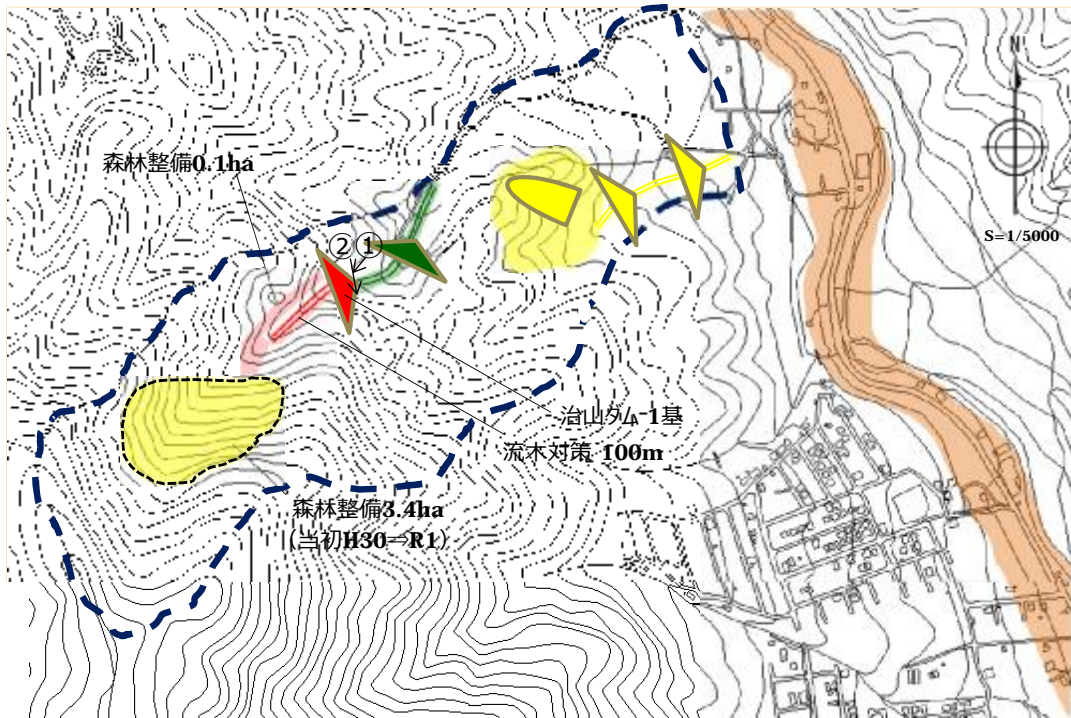
- 地域森林計画対象民有林
- 平成29年度からの継続箇所 (8箇所)
- 平成30年度新規着手の箇所 (8箇所)



# 平成30年度 危険溪流の流木対策事業実績

しゅくの  
**(1) 能勢町宿野地区**

【平面図】



【H30年度の施工状況】



写真① 治山ダム（鋼製）の設置状況



写真② 護岸工の設置状況

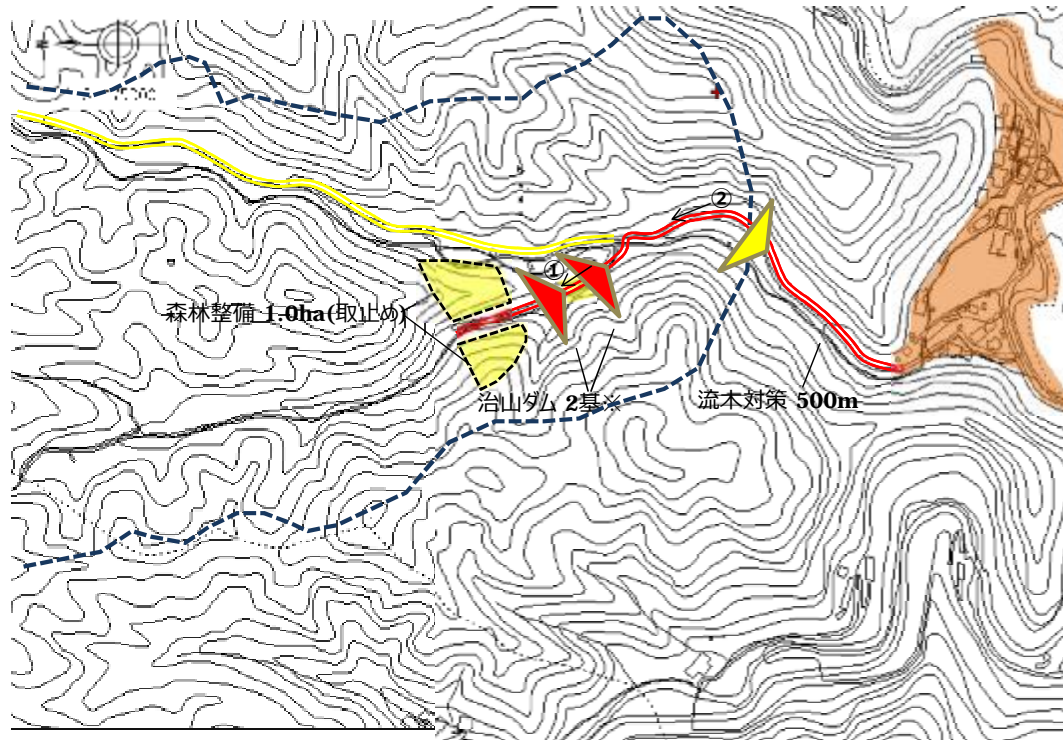
内容	H30計画	H30実績	備考
治山ダム（基）	1	1	森林整備：所有者確認に時間を要した結果、R1に実施予定となり整備区域が減少
森林整備（ha）	3.5	0.1	
流木対策（m）	100	100	

【凡例】

- 山地災害危険地区
- 保全対象
- ①→ 写真撮影位置
- ▲ 治山ダム（H29）
- ▲ 治山ダム（H30）
- ▲ 治山ダム（R1・R2）
- ▲ 山腹工（R2）
- ▲ 森林整備（H30）
- 森林整備（H30⇒R1）
- 森林整備（R2）
- 流木対策（H29）
- 流木対策（H30）
- 流木対策（R1）



# 平成30年度 危険渓流の流木対策事業実績 (2) 高槻市出灰地区



【H30年度の計画地の状況】



撮影日：H31.4.23

写真① 治山ダム（鋼製）の設置状況



撮影日：H30.11.10

写真② 流木対策の完了状況

内容	H30計画	H30実績	備考
治山ダム (基)	2	2 ※	治山ダム※工事進入路で風倒木被害が発生し、繰越事業実施中
森林整備 (ha)	1.0	0.0	森林整備：予定地で風倒木被害発生のため取止め。
流木対策 (m)	250	500	流木対策：治山ダム下流域の風倒木除去を追加実施。

【凡例】

山地災害危険地区	治山ダム (H30)	流木対策 (H30)
保全対象	治山ダム (R1)	流木対策 (R1)
写真撮影位置		

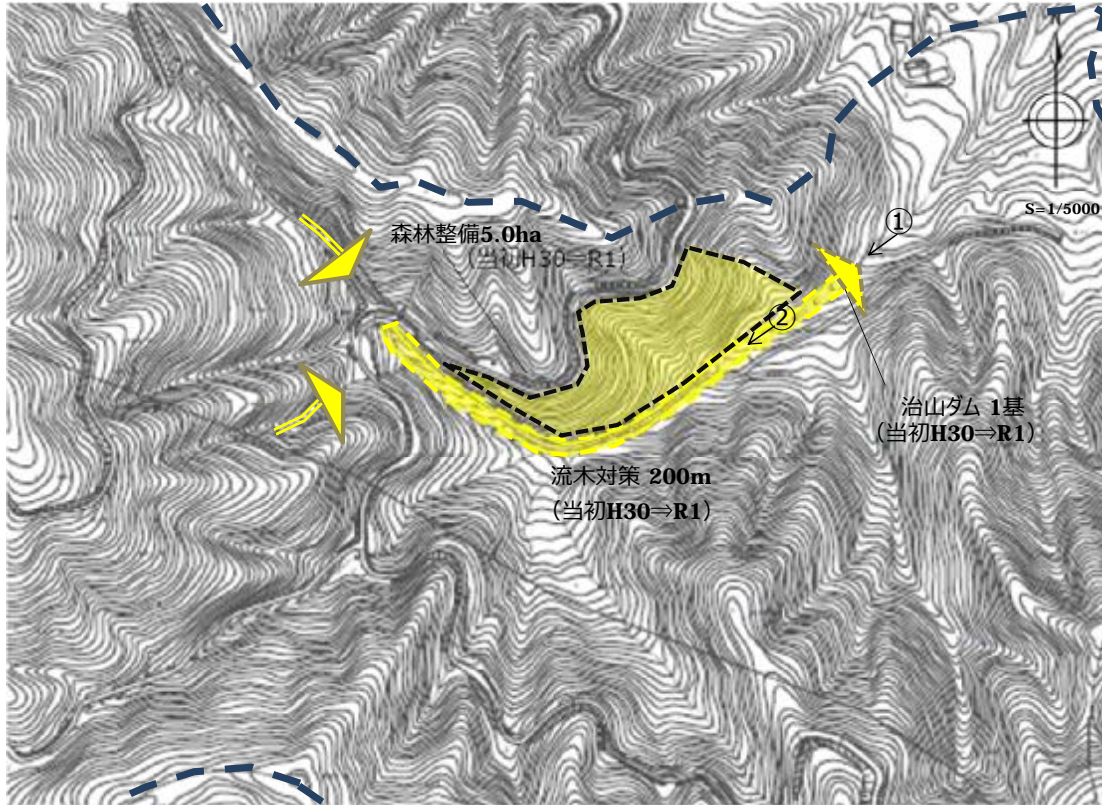


# 平成30年度 危険溪流の流木対策事業実績

やまへ

## (3) 能勢町山辺地区

【平面図】



【R1年度の計画地の状況】（当初H30実施予定地）



写真① 治山ダム（鋼製）の設置予定地



写真② 流木対策の実施予定地

内容	H30計画	H30実績	備考
治山ダム（基）	1	0	治山ダム・流木対策：入札不調の後、他地区の風倒木対応を優先したため、R1に実施予定
森林整備（ha）	5.0	0	森林整備：他地区の風倒木対応を優先したため、R1実施予定
流木対策（m）	200	0	

【凡例】

- 山地災害危険地区
- 治山ダム（H30⇒R1）
- 流木対策（H30⇒R1）
- 保全対象
- 治山ダム（R1）
- 流木対策（R1）
- 写真撮影位置
- 森林整備（H30⇒R1）

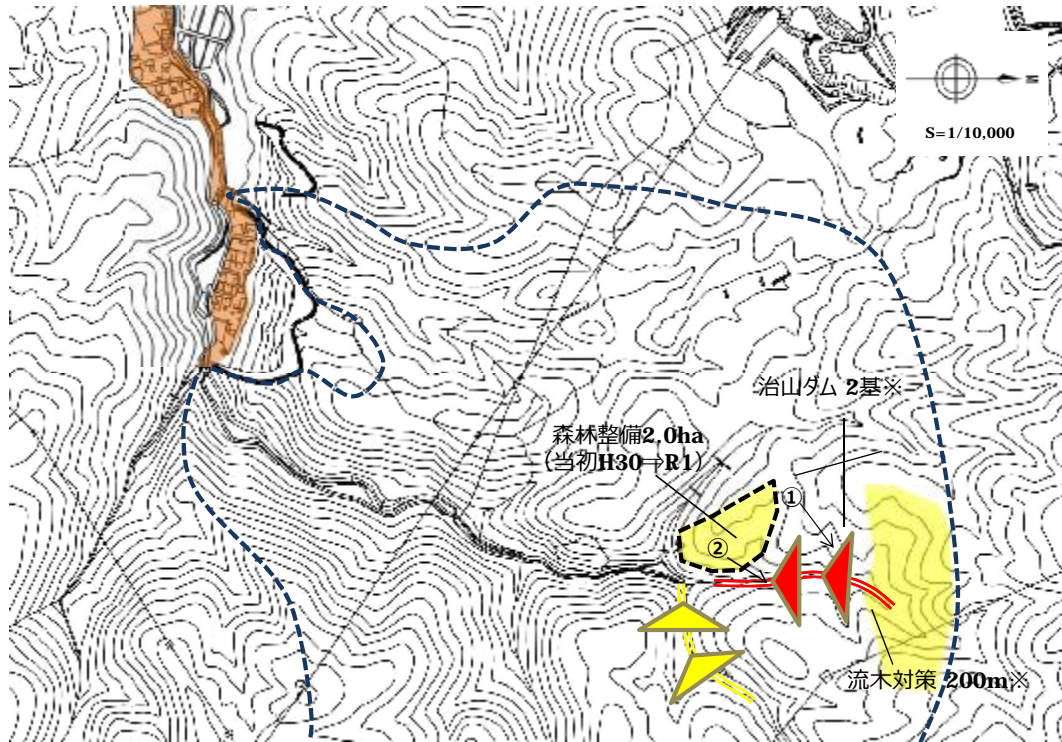


平成30年度 危険渓流の流木対策事業実績 (4) 高槻市成合地区

なりあい

(1)-2

【H30年度の施工状況】



撮影日：R1.5.22

写真① 治山ダム（鋼製）の設置状況



撮影日：R1.5.14

写真② 流木対策の完了状況

内容	H30計画	H30実績	備考
治山ダム（基）	2	2※	治山ダム・流木対策：※地元協議に時間を要し、繰越事業実施中 森林整備：他地区の風倒木被害対応を優先したため、R1実施予定
森林整備（ha）	2.0	0	
流木対策（m）	200	200※	

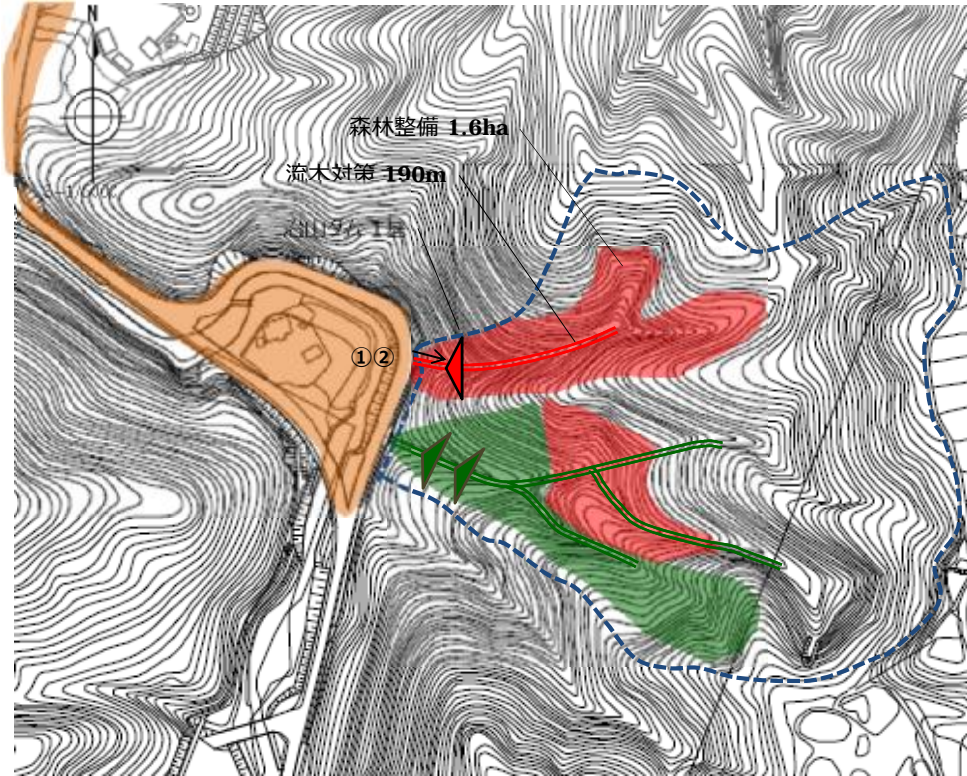
【凡例】

- 山地災害危険地区
- 保全対象
- ①→ 写真撮影位置
- 治山ダム（H30）
- 治山ダム（R1）
- 森林整備（H30⇒R1）
- 森林整備（R1）
- 流木対策（H30）
- 流木対策（R1）



# 平成30年度 危険溪流の流木対策事業実績 (5) 交野市私市北地区

【平面図】



【H30年度の施工状況】



撮影日：H29.4.19

写真① 治山ダム・流木対策 施工前

内容	H30計画	H30実績	備考
治山ダム (基)	1	1	
森林整備 (ha)	2.0	1.6	流木対策：詳細な調査・測量をした結果、整備区域が増加
流木対策 (m)	130	190	

【凡例】	
	山地災害危険地区
	保全対象
①→	写真撮影位置
	治山ダム (H29)
	治山ダム (H30)
	森林整備 (H29)
	森林整備 (H30)
	流木対策 (H29)
	流木対策 (H30)



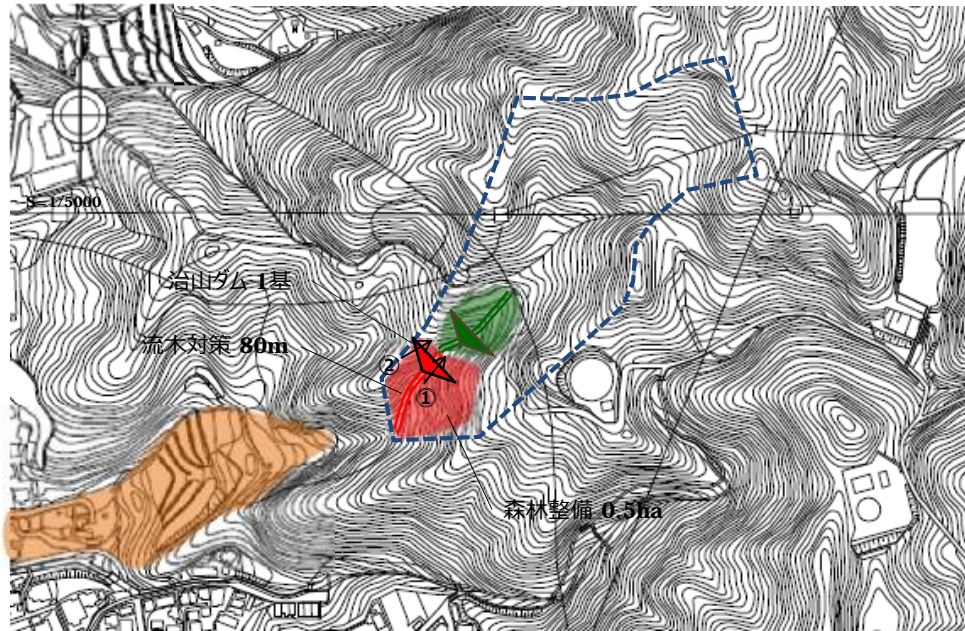
撮影日：H31.4.5

写真② 治山ダム (コンクリート) ・流木対策 施工後



## 平成30年度 危険渓流の流木対策事業実績 (6) 大東市寺川地区

【平面図】



【H30年度の施工状況】



撮影日：H28.10.12

写真① 治山ダム 施工前



撮影日：H31.4.5

写真② 治山ダム（鋼製） 施工後

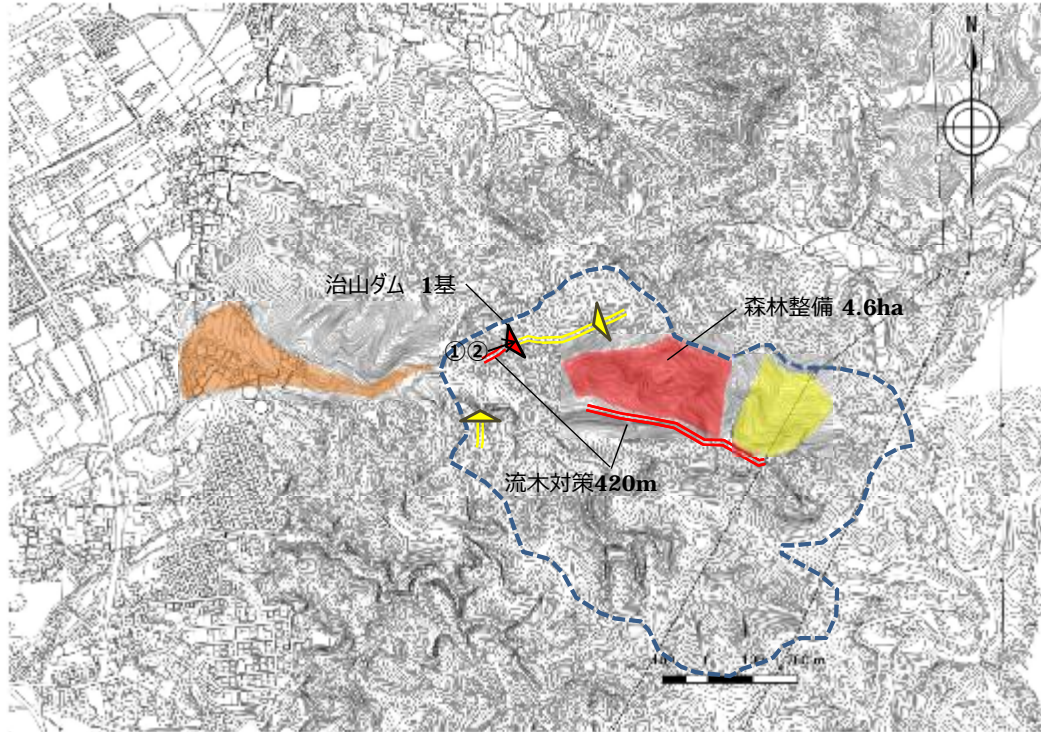
内容	H30計画	H30実績	備考
治山ダム (基)	1	1	
森林整備 (ha)	0.5	0.5	
流木対策 (m)	80	80	

【凡例】			
	山地災害危険地区		治山ダム (H29)
	保全対象		治山ダム (H30)
	①-> 写真撮影位置		森林整備 (H29)
			森林整備 (H30)
			流木対策 (H29)
			流木対策 (H30)



## 平成30年度 危険溪流の流木対策事業実績 (7) 交野市森地区

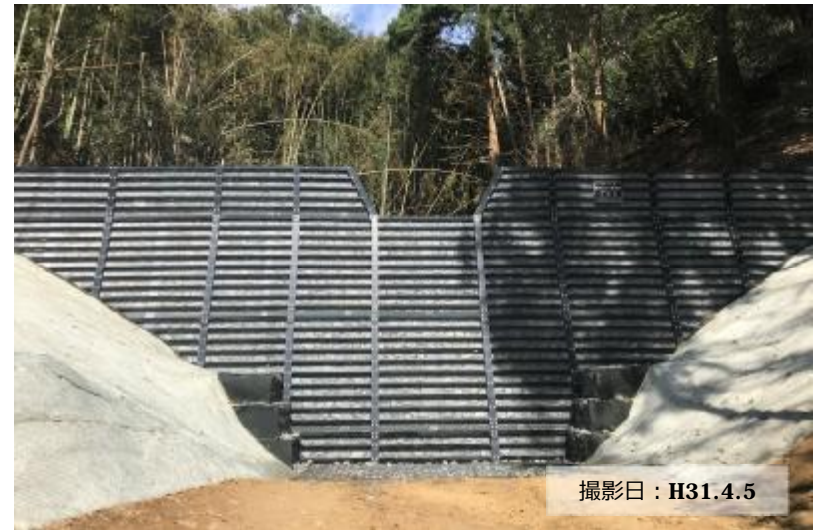
【平面図】



【H30年度の施工状況】



写真① 治山ダム 施工前



写真② 治山ダム（鋼製） 施工後

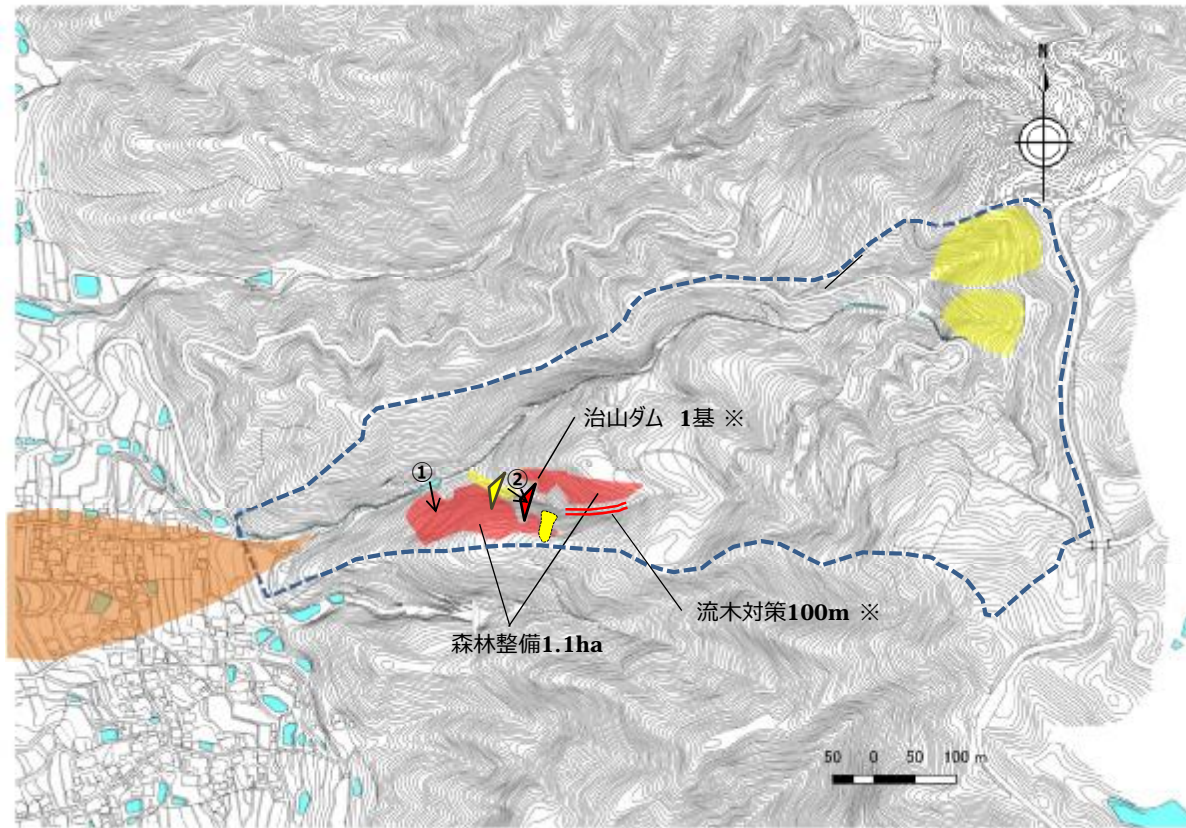
内容	H30計画	H30実績	備考
治山ダム (基)	1	1	森林整備・流木対策：詳細な調査・測量をした結果、整備区域が増加
森林整備 (ha)	3.0	4.6	
流木対策 (m)	300	420	

【凡例】	
--- 山地災害危険地区	▲ 治山ダム (H30)
■ 保全対象	▲ 治山ダム (R1)
①→ 写真撮影位置	■ 森林整備 (H30)
	■ 森林整備 (R1)
	== 流木対策 (H30)
	== 流木対策 (R1)



# 平成30年度 危険渓流の流木対策事業実績 (8) 八尾市神立地区

【平面図】



【H30年度の施工状況】



写真① 森林整備（間伐）の完了状況



写真② 治山ダム（鋼製）の施工予定地

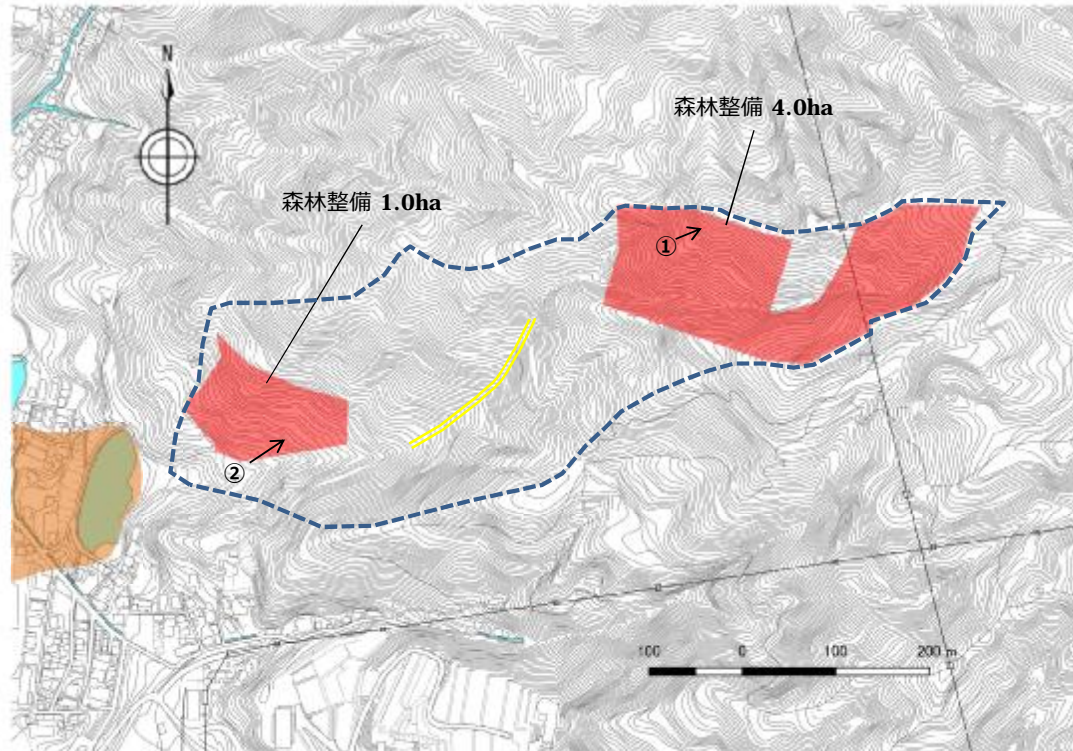
内容	H30計画	H30実績	備考
治山ダム (基)	1	1※	治山ダム・流木対策：※入札不調により、繰越事業実施中
森林整備 (ha)	1.0	1.1	
流木対策 (m)	100	100※	

【凡例】	
山地災害危険地区	治山ダム (H30)
保全対象	治山ダム (R1)
写真撮影位置	山腹工 (R1)
	流木対策 (H30)
	流木対策 (R1)



平成30年度 危険渓流の流木対策事業実績 (9) 東大阪市日下地区 くさか

【平面図】



【H30年度の施工状況】



写真① 森林整備（松枯れ・ナラ枯れ被害木整理）の完了状況

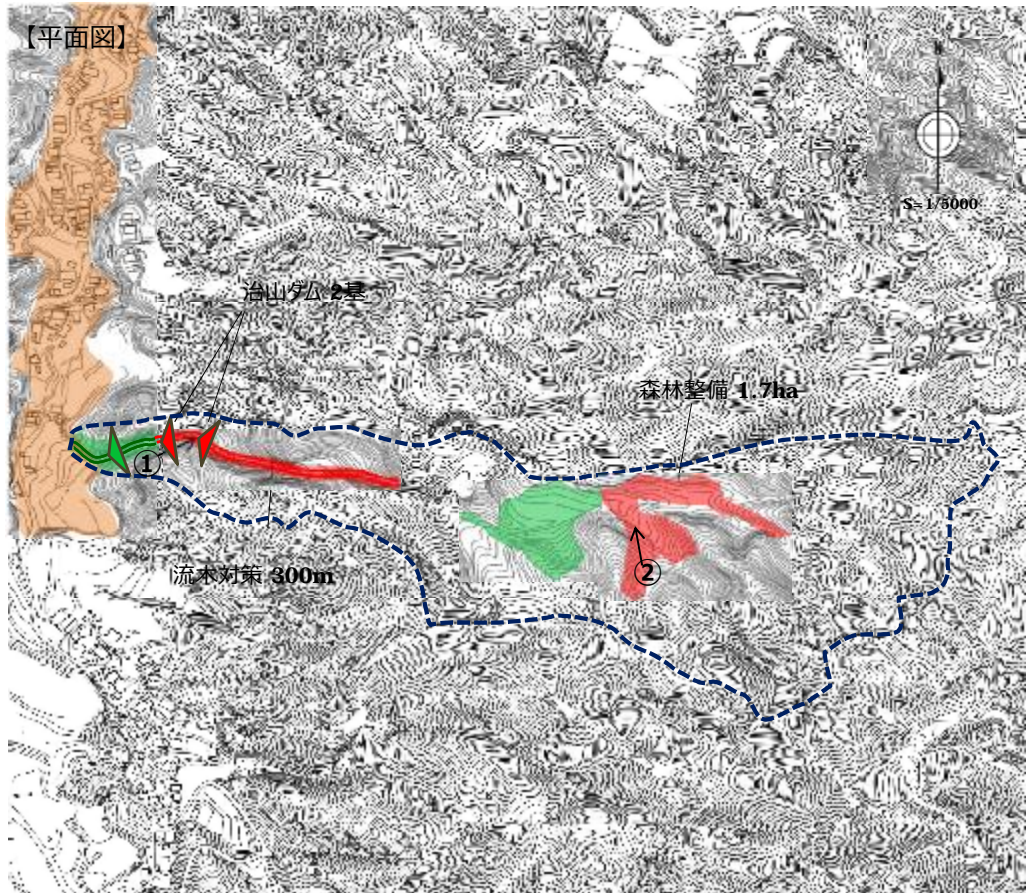


写真② 森林整備（松枯れ・ナラ枯れ被害木整理）の完了状況

内容	H30計画	H30実績	備考
治山ダム（基）	—	—	
森林整備（ha）	5.0	5.0	
流木対策（m）	—	—	

【凡例】  
--- 山地災害危険地区    ■ 森林整備（H30）    --- 流木対策（R1）  
■ 保全対象  
 ①→ 写真撮影位置





【H30年度の施工状況】



写真① 治山ダム（鋼製）の設置状況



写真② 森林整備（間伐）の完了状況

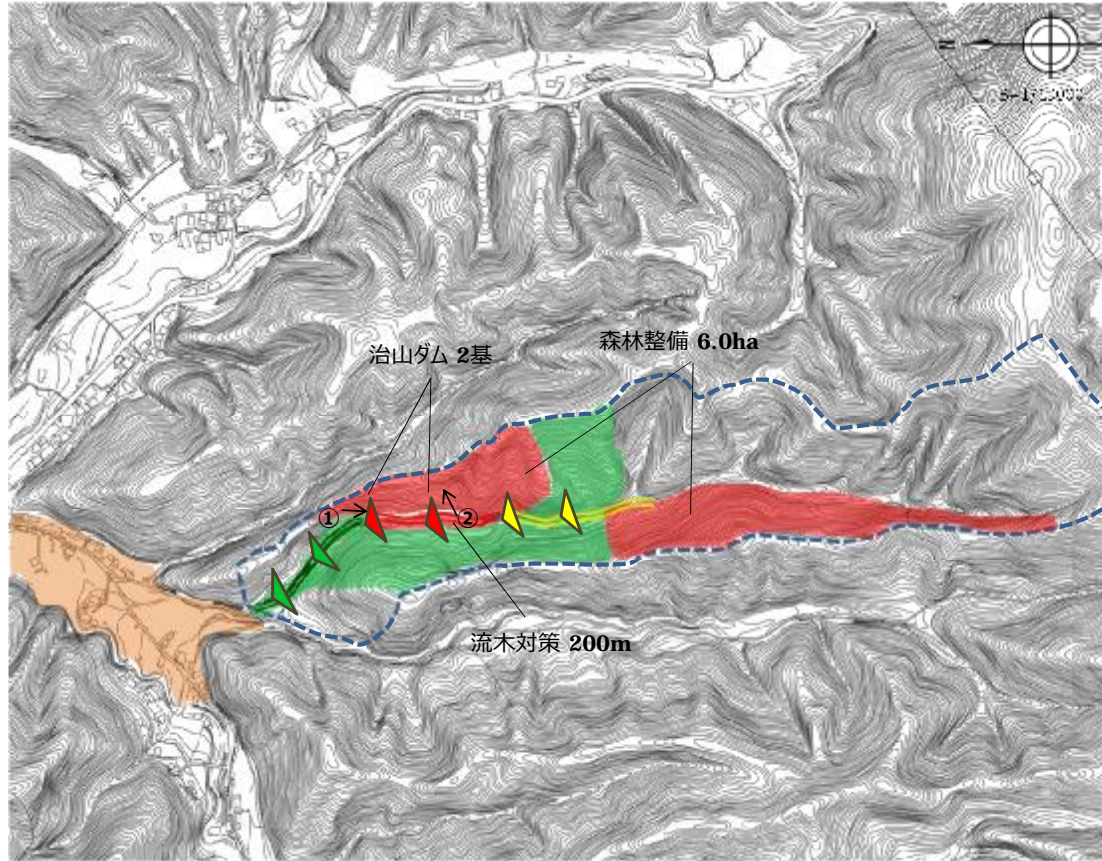
内容	H30計画	H30実績	備考
治山ダム（基）	2	2	流木対策：詳細な調査・測量をした結果、整備区域が増加
森林整備（ha）	2.0	1.7	
流木対策（m）	200	300	

【凡例】			
	山地災害危険地区		治山ダム（H29）
	保全対象		治山ダム（H30）
	①→ 写真撮影位置		森林整備（H29）
			森林整備（H30）
			流木対策（H29）
			流木対策（H30）



# 平成30年度 危険渓流の流木対策事業実績 (11) 河内長野市天見地区

【H30年度の施工状況】



撮影日：R1.5.10

写真① 治山ダム（コンクリート）の設置状況



撮影日：R1.5.14

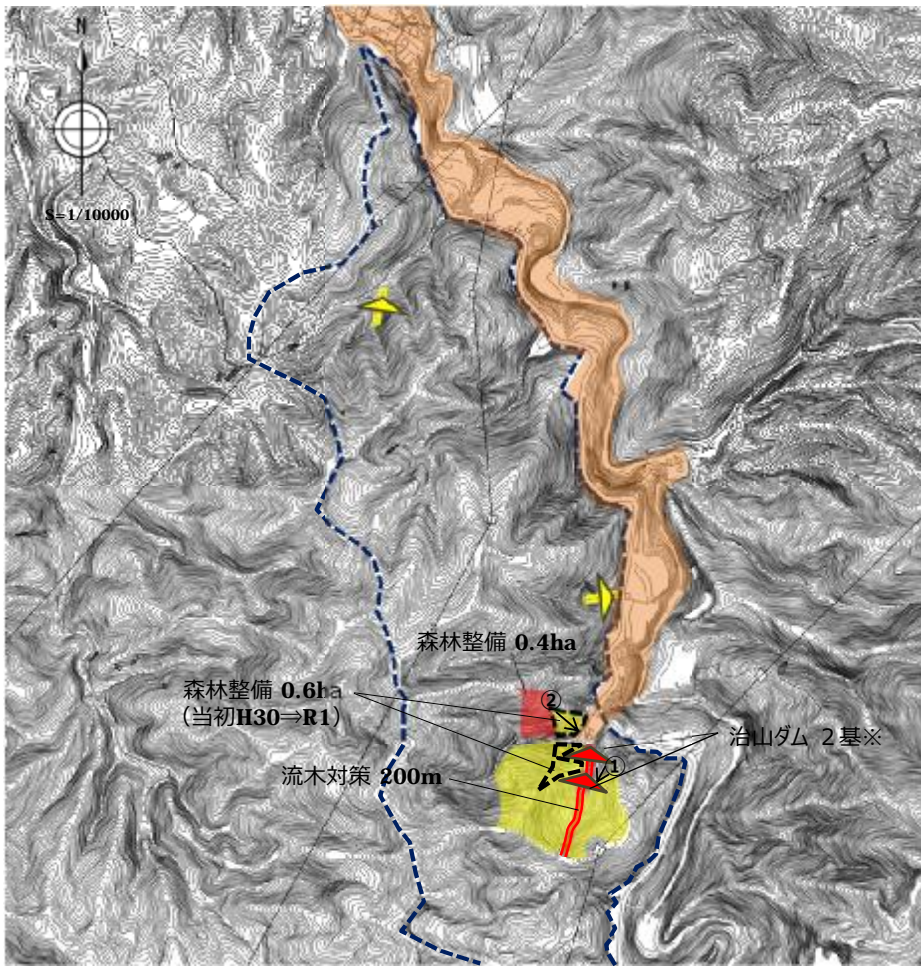
写真② 森林整備（間伐）の完了状況

内容	H30計画	H30実績	備考
治山ダム（基）	2	2	
森林整備（ha）	3.0	6.0	森林整備：所有者との調整により前倒して実施したため、整備区域が増加
流木対策（m）	200	200	

【凡例】			
①→	写真撮影位置	治山ダム（H29）	流木対策（H30）
②→	写真撮影位置	治山ダム（H30）	流木対策（R1）
③→	写真撮影位置	治山ダム（R1）	森林整備（H29）
④→	写真撮影位置	流木対策（H29）	森林整備（H30）
⑤→	写真撮影位置	治山ダム（H29）	流木対策（H30）
⑥→	写真撮影位置	治山ダム（H30）	流木対策（R1）
⑦→	写真撮影位置	治山ダム（R1）	森林整備（H29）
⑧→	写真撮影位置	流木対策（H29）	森林整備（H30）



【平面図】 平成30年度 危険渓流の流木対策事業実績 (12) 千早赤阪村千早地区



【H30年度の施工状況】



撮影日：R1.5.15

写真① 治山ダム（コンクリート）の施工状況



撮影日：H31.3.22

写真② 森林整備（間伐）の完了状況

内容	H30計画	H30実績	備考
治山ダム（基）	2	2※	治山ダム：※地元協議に時間を要し、繰越事業実施中
森林整備（ha）	1.0	0.4	森林整備：所有者確認に時間を要した結果、R1に実施予定となったため整備区域が減少
流木対策（m）	200	200	

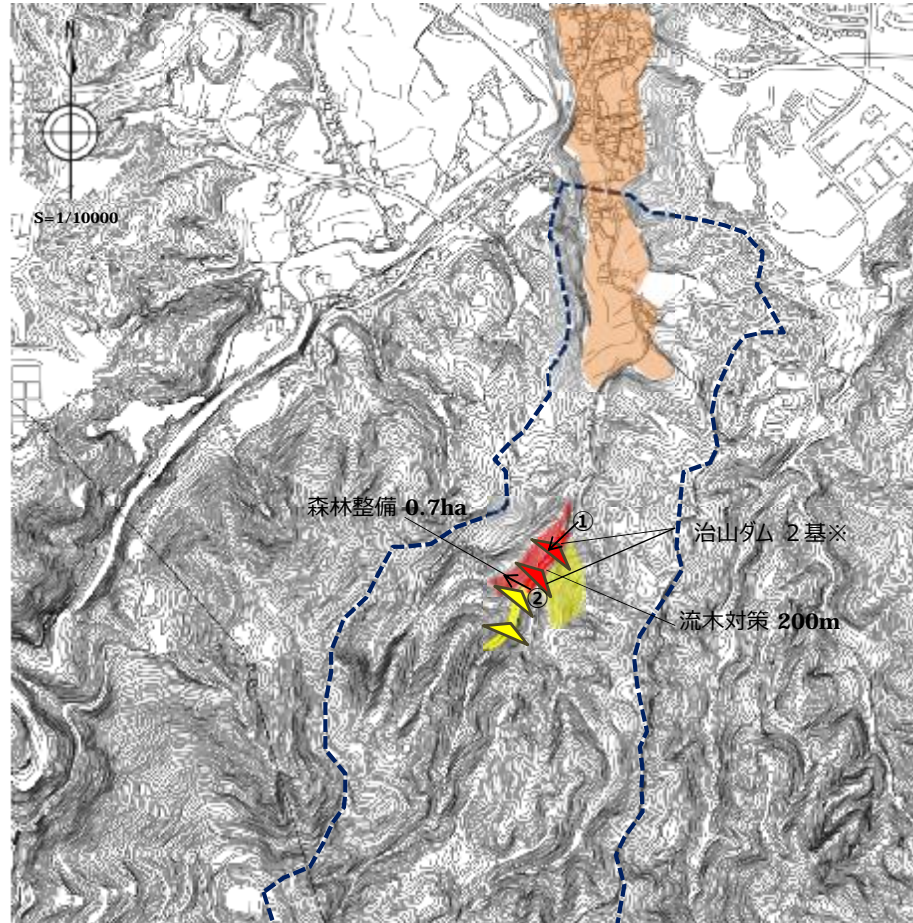
【凡例】

山地災害危険地区	治山ダム（H30）	森林整備（R1）
保全対象	治山ダム（R1）	流木対策（H30）
①→ 写真撮影位置	森林整備（H30）	流木対策（R1）
	森林整備（H30⇒R1）	



# 平成30年度 危険溪流の流木対策事業実績 (13) 河内長野市加賀田地区 (日野地区)

【平面図】



【H30年度の施工状況】



撮影日：H31.4.23

写真① 流木対策の完了状況



撮影日：R1.5.15

写真② 森林整備（間伐）の完了状況

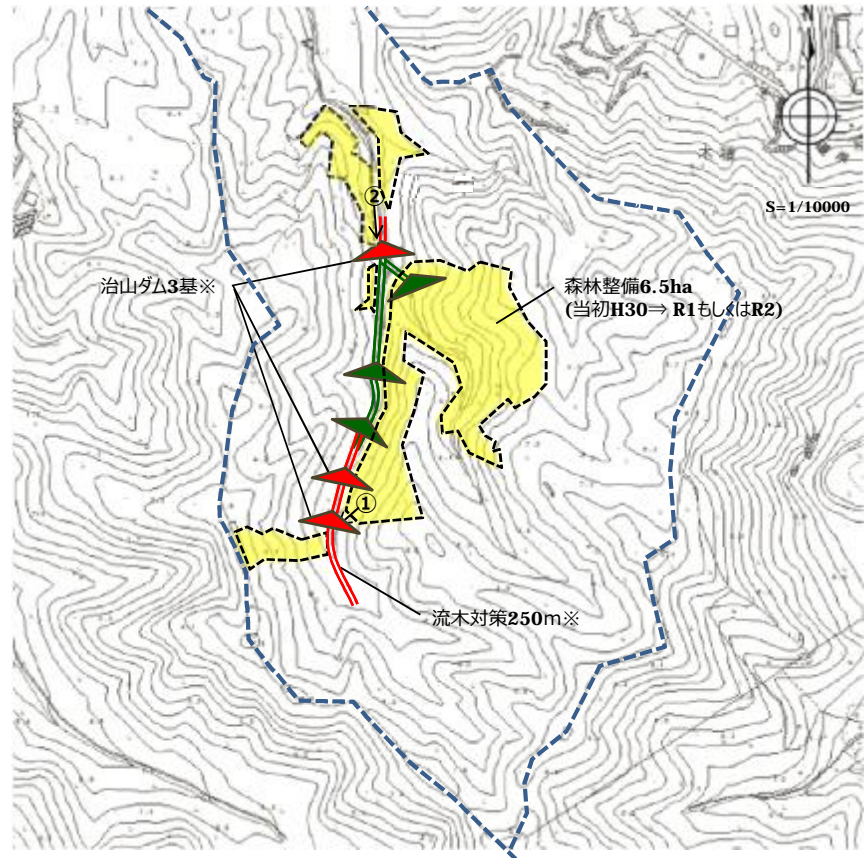
内容	H30計画	H30実績	備考
治山ダム (基)	2	2※	治山ダム：※地元協議に時間を要し、繰越事業実施中 森林整備：詳細な調査・測量した結果、整備区域が減少
森林整備 (ha)	1.0	0.7	
流木対策 (m)	200	200	

【凡例】	
①→ 写真撮影位置	治山ダム (H30)
山地災害危険地区	治山ダム (R1)
保全対象	森林整備 (H30)
	森林整備 (R1)
	流木対策 (H30)
	流木対策 (R1)



こつみ  
平成30年度 危険溪流の流木対策事業実績 (14) 貝塚市木積地区

【平面図】



【H30年度の施工状況】



撮影日：R1.5.31

写真① 治山ダム（鋼製）の設置状況



撮影日：R1.5.16

写真② 治山ダム（コンクリート）の設置予定地

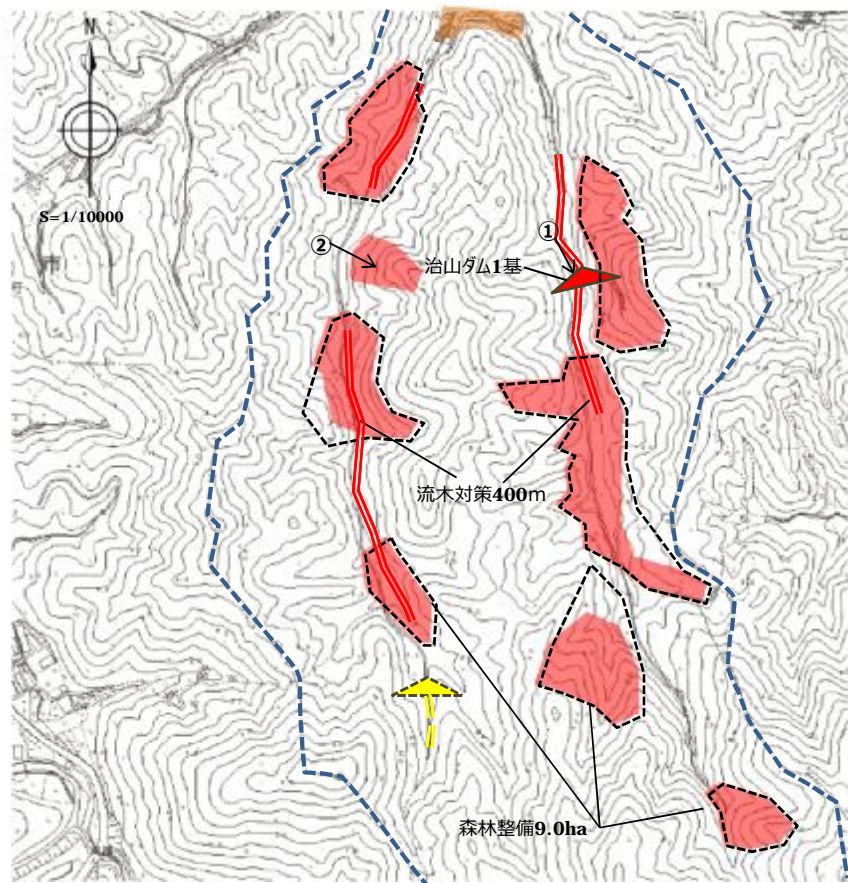
内容	H30計画	H30実績	備考
治山ダム (基)	3	3※	治山ダム・流木対策：※地元協議に時間を要し、繰越事業実施中
森林整備 (ha)	6.5	—	森林整備：所有者確認に時間を要した上、入札不調となったため減 (R1以降実施予定)
流木対策 (m)	150	250※	流木対策：詳細な調査・測量を実施した結果、整備延長が増加

- 【凡例】
- ⋯⋯ 山地災害危険地区
  - ▲ 治山ダム (H29)
  - 流木対策 (H29)
  - 保全対象
  - ▲ 治山ダム (H30)
  - 流木対策 (H30)
  - 森林整備 (H30⇒R1以降)
  - ①→ 写真撮影位置



# 平成30年度 危険渓流の流木対策事業実績 (15) 和泉市春木川町地区

【平面図】



【H30年度の施工状況】



写真① 治山ダム（鋼製）の設置状況



写真② 森林整備（風倒木処理）の実施状況

内容	H30計画	H30実績	備考
治山ダム（基）	2	1	治山ダム：土地所有者の同意が得られず1基減（R2年度実施に向け、同意が得られるよう努める）
森林整備（ha）	9.0	9.0	森林整備：間伐予定地において風倒木が発生し、被害木の伐採を実施
流木対策（m）	300	400	流木対策：詳細な調査・測量を実施した結果、整備延長が増加

【凡例】

- 山地災害危険地区
- 治山ダム（H30）
- 流木対策（H30）
- 保全対象
- 治山ダム（H30⇒R2）
- 流木対策（H30⇒R2）
- 森林整備（H30）
- ①→ 写真撮影位置



# 平成30年度 危険渓流の流木対策事業実績 (16) 和泉市槇尾山町地区

【平面図】

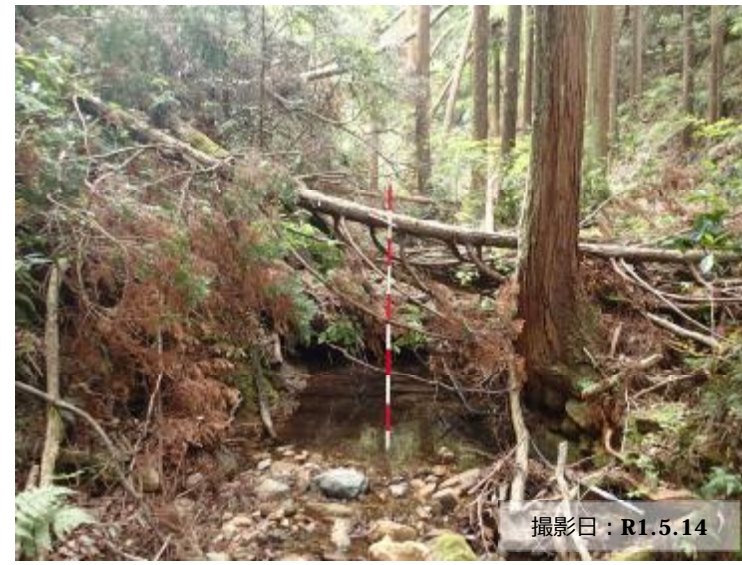


【H30年度の施工状況】



写真① 治山ダム（コンクリート）の設置予定地

撮影日：R1.5.14



写真② 流木対策の実施予定地

撮影日：R1.5.14

内容	H30計画	H30実績	備考
治山ダム (基)	1	1※	治山ダム・流木対策：※入札不調により、繰越事業実施中 森林整備：所有者確認に時間を要したため、減 (R1実施予定)
森林整備 (ha)	3.0	-	
流木対策 (m)	100	100※	

- 【凡例】
- 治山ダム (H30)
  - 治山ダム (R1)
  - 流木対策 (H30)
  - 流木対策 (R1)
  - ⬭ 山地災害危険地区
  - ⬭ 森林整備 (H30⇒R1)
  - 保全対象
  - 森林整備 (R1)
  - ①→ 写真撮影位置



## 平成30年度の防災教室等の実施状況

### 【防災教室実施一覧表】

	箇所	開催日	アンケート実施※
(1)	能勢町宿野	R1.6.6	○
(2)	高槻市出灰	R1.5.15	○
(3)	能勢町山辺	H30.5.15	
(4)	高槻市成合	H30.5.22	
(5)	交野市私市北	H30.5.22	○
(6)	大東市寺川	H30.4.16	○
(7)	交野市森	H30.4.25	
(8)	八尾市神立	H30.11.14	
(9)	東大阪市日下	H30.7.6	
(10)	河南町下河内	H30.8.29	○
(11)	河内長野市天見	H30.10.23	
(12)	千早赤阪村千早	H30.10.2	
(13)	河内長野市加賀田	H30.10.19	
(14)	貝塚市木積	H30.6.15	○
(15)	和泉市春木川町	H30.10.12	○
(16)	和泉市槇尾山町	H30.8.23	

※ 平成29年度着手箇所において、アンケートを実施  
(事業期間を延長した河内長野市天見地区を除く)



防災教室の様子（貝塚市木積）



防災教室の様子（交野市私市北）



現場案内（貝塚市木積）



防災教室の様子（和泉市春木川町）



森林危険情報マップ（私市北）



平成30年度 大阪府森林環境整備事業 評価シート

担当課名	みどり推進室森づくり課
担当グループ名	森林整備グループ
連絡先	(06) 6210-9559

1 事業概要

事業実施年度	平成30年度
評価年月日	令和元年6月24日
① 概要等	自然災害から府民の暮らしを守る取組み
事業名	危険渓流の流水対策事業
事業概要	流水対策・土石流発生源対策
事業開始年度	平成28年度
② 事業の目的	局地的な集中豪雨が頻繁に発生し、土石流の発生時に渓流沿いの木を巻き込んで流れ出すことで、河川や水路等をふさぎ、冠水や交通遮断など市街地における被害を拡大させる流木災害を未然に防止する。

(単位:千円)

③ 事業費	年度別推移	H28	H29	H30	R1~	合計
当初計画(千円)	298,000	522,000	546,000	640,632	2,006,632	
現計画(千円)	251,274	455,238	546,380	753,740	2,006,632	
執行額(千円)	251,274	455,238	516,894	-	-	
④ 事業の内容	事業対象区域:山地災害危険地区「崩壊土砂流出危険地区」、保安林外(危険度Aランク・保全対象20戸以上・治山事業の未着手地域) 事業箇所数:30箇所 事業内容: ①ハード対策 土石流発生を抑制する治山ダムの整備 流木となる危険性の高い渓流沿いの立木の伐採、林外搬出 防災機能を強化する荒廃森林の整備(強度間伐等) ②ソフト対策 防災教室の開催、地域との協働による森林危険情報マップの作成 事業の効果検証等					

2 自己評価

(1) 事業実績

指標・検証方法	計画	実績	評価区分	理由		
⑤ 実績検証の内容						
土石流対策	指 標 検証方法 指 標	治山ダム 事業の完成検査 森林整備	計画 24基	実績 22基	評価区分	理由
⑤ 実績検証の内容	指 標 検証方法 指 標	事業の完成検査 渓流延長 事業の完成検査	48.5ha	30.7ha	□ 妥当である ■ 概ね妥当である □ あまり妥当でない	治山ダムについては土地所有者の同意が得られなかったことや、台風21号による風倒木被害への対応のため、森林整備については土地所有者の確認に時間を要したことや風倒木被害による取止め等の理由により、計画通り実施できなかった箇所があったが、これらについては、翌年度以降に実施する予定。 流水対策については現地再精査の結果、延長が伸びた。 全体としては概ね計画通りに実施した。 (※詳細については箇所別個票参照)
減災対策	指 標 検証方法 指 標	森林危険情報マップ 成果品(1年目・調査 2年目・マップ完成)	2,710m	3,240m	□ 妥当でない	
検証方法	指 標 検証方法	防災教室 実施回数	16回	16回		

(2) 事業効果(令和2年度に最終評価予定)

指標・検証方法	計画	実績	評価区分	理由		
⑥ 効果検証の内容						
土石流対策	指 標 検証方法 指 標	土石流の発生抑制 事業実施の確証 流水の発生抑制	計画 -	実績 -	評価区分	理由
⑥ 効果検証の内容	指 標 検証方法 指 標	対照区との流水発生率の比較調査 林床被覆率の増加 対照区との林床被覆率の比較調査	-	-	□ 妥当である □ 概ね妥当である □ あまり妥当でない	
流水対策	指 標 検証方法 指 標	土壌の浸透能の向上 対照区との土壌浸透能の比較調査	-	-	□ 妥当でない	
検証方法	指 標 検証方法	表面侵食の抑制 対照区との表面侵食量の比較調査				
指 標 検証方法	減災意識の向上(対象者の8割)	8割	8割以上			
検証方法	減災対策を行った地域住民へのアンケート					

(3) 自己評価(総合) (令和2年度に最終評価予定)

⑦ 自己評価	総合評価	理 由
□ 評価できる □ 概ね評価できる □ あまり評価できない □ 評価できない		

3 第三者評価

⑧ 第三者評価	大阪府森林環境整備事業評価審議会の意見
---------	---------------------



# 令和元年度 危険渓流の流木対策事業の実施について

## 【全体計画】

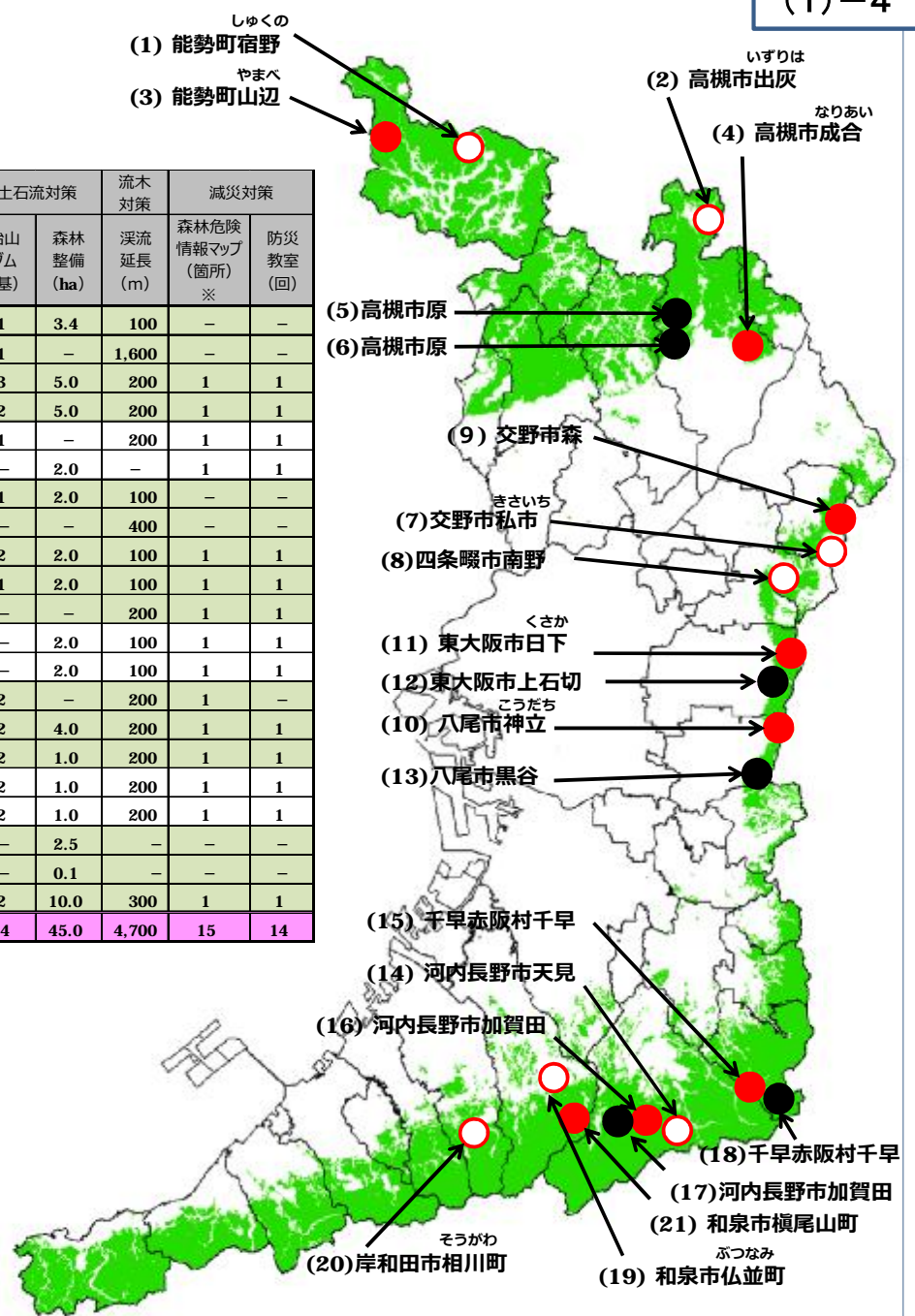
	新規着手	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
平成28年度着手	8箇所	8	8		4	1
平成29年度着手	8箇所		8	8	3	1
平成30年度着手	8箇所			8	8	2
令和元年度着手	6箇所				6	6
合計	30箇所	8箇所	16箇所	16箇所	21箇所	10箇所

※下線入り数値は変更計画により追加したもの

## ◆年度別実施予定箇所

年度	箇所	箇所数
H28~	豊能町吉川 池田市伏尾町 交野市私市 四條畷市南野 千早赤阪村水分・河南町青崩 千早赤阪村水分中代 和泉市仏並町 岸和田市相川町	8箇所
H29~	能勢町宿野 高槻市出灰 交野市私市北 大東市寺川 河南町下河内 河内長野市天見 貝塚市木積 和泉市春木川町	8箇所
H30~	能勢町山辺 高槻市成合 交野市森 東大阪市日下 八尾市神立 千早赤阪村千早 河内長野市加賀田 和泉市横尾山町	8箇所
R1~	高槻市原 高槻市原 東大阪市上石切 八尾市黒谷 河内長野市加賀田 千早赤阪村千早	6箇所
計		30箇所

箇所名	新規・継続	土石流対策		流木対策 渓流延長 (m)	減災対策	
		治山ダム (基)	森林整備 (ha)		森林危険情報マップ (箇所) ※	防災教室 (回)
(1) 能勢町宿野 (しゆくの)	継続	1	3.4	100	-	-
(2) 高槻市出灰 (いずりは)	継続	1	-	1,600	-	-
(3) 能勢町山辺 (やまべ)	継続	3	5.0	200	1	1
(4) 高槻市成合 (なりあい)	継続	2	5.0	200	1	1
(5) 高槻市原	新規	1	-	200	1	1
(6) 高槻市原	新規	-	2.0	-	1	1
(7) 交野市私市 (きさいち)	継続	1	2.0	100	-	-
(8) 四條畷市南野	継続	-	-	400	-	-
(9) 交野市森	継続	2	2.0	100	1	1
(10) 八尾市神立 (こうだち)	継続	1	2.0	100	1	1
(11) 東大阪市日下 (くさか)	継続	-	-	200	1	1
(12) 東大阪市上石切	新規	-	2.0	100	1	1
(13) 八尾市黒谷	新規	-	2.0	100	1	1
(14) 河内長野市天見	継続	2	-	200	1	-
(15) 千早赤阪村千早	継続	2	4.0	200	1	1
(16) 河内長野市加賀田	継続	2	1.0	200	1	1
(17) 河内長野市加賀田	新規	2	1.0	200	1	1
(18) 千早赤阪村千早	新規	2	1.0	200	1	1
(19) 和泉市仏並町 (ぶつなみ)	継続	-	2.5	-	-	-
(20) 岸和田市相川町 (そうがわ)	継続	-	0.1	-	-	-
(21) 和泉市横尾山町	継続	2	10.0	300	1	1
21箇所 (新規6箇所・継続15箇所)		24	45.0	4,700	15	14



- 地域森林計画対象民有林
- 平成28・29年度新規着手の箇所 (7箇所)
- 平成30年度新規着手の箇所 (8箇所)
- 令和元年度新規着手予定箇所 (6箇所)



自然災害から府民の暮らしを守る取組み

## (2) 主要道路沿いにおける倒木対策事業

### 【目的】

ナラ・カシ類などの広葉樹林の高齢化に伴い病虫害による枯死（ナラ枯れ）や、放置竹林が増加しており、枯損木等による国道府道等への倒木・倒伏被害を未然に防止する。

### 【事業概要】

- 事業対象区域：山地災害危険地区「山腹崩壊危険地区」（府県間等を結ぶ主要国道・府道20路線沿いの山崩れの危険がある森林）
- 事業箇所数：ナラ枯れ対策<sup>(注)</sup> 約50箇所  
放置竹林対策 約40箇所
- 事業内容：①ナラ枯れ対策  
ナラ枯れ等の病虫害被害が予想される高齢木の予防伐採、被害木の処理、落石対策、作業用歩道の整備等  
②放置竹林対策  
竹伐採、草刈、竹拡大防止柵の設置、広葉樹の苗木植栽、作業用歩道の整備等
- 事業の工程：初年度～  
現地調査、地権者調査（コンサルタント委託）  
森林所有者、市町村、地元自治会、道路管理者等との調整  
森林所有者と協定書を締結し事業実施  
※協定書により、10年間の森林の維持



被害を受け根元に木くずが散乱した木



ナラノガキイムシ

(注) ナラ枯れとは、大量のカシノナガキイムシがナラ・カシ類の幹に穴をあけて入り込み、体に付着した病原菌（ナラ菌）を多量に樹木内に持ち込むことにより、水の通り道が塞がれ、枯れていく病気。枯れる時期は7月から9月が多い。府内においても初めて平成21年度に高槻市、茨木市、島本町で被害が発生し、以後被害は増加しながら南下している。

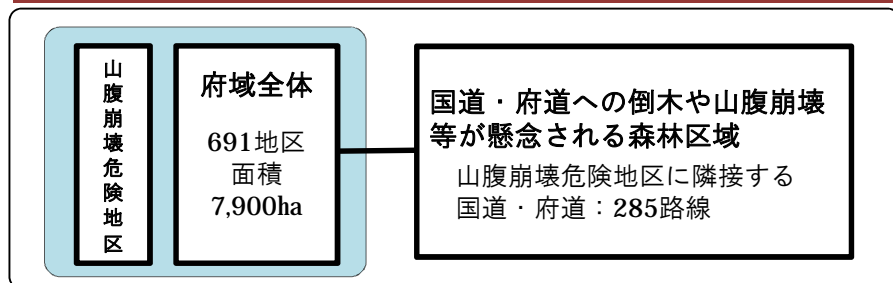
(単位：千円)

### 【事業計画】

	全体計画		H28		H29		H30		R1～	
	箇所数	事業費	箇所数	事業費	箇所数	事業費	箇所数	事業費	箇所数	事業費
	90	1,016,000	17	255,000	36	291,000	41	276,000	62	194,000
(新規着手件数)			(17)		(28)		(25)		(20)	

※R1までに着手

### 事業対象区域の選定方法



### 事業実施

森林病虫害の拡大  
放置竹林の拡大



(高槻市)

### 実施箇所

#### ■事業対象区域

- 府県間を連絡する交通量の多い国道・府道に限定  
対象：20路線



# 自然災害から府民の暮らしを守る 主要道路沿いにおける倒木対策

ナラ枯れの状況



(交野市)



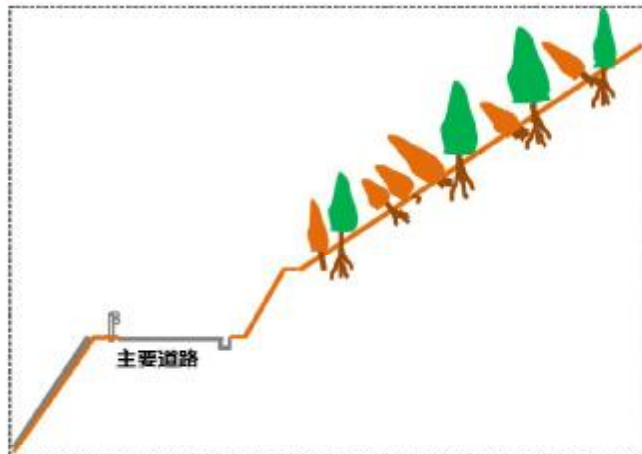
被害を受け木くずが根元に散乱した木

放置竹林の状況

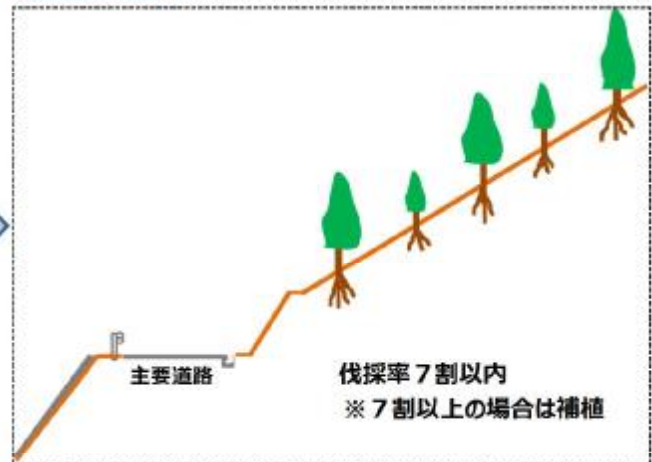


(茨木市)

整備前



整備後



整備内容

- 【ナラ枯れ】
- ・被害を受けやすい高齢木の予防伐採
  - ・被害を受け倒木のおそれのある枯死木の処理
  - ・広葉樹の大苗木植栽等

- 【放置竹林】
- ・竹の拡大防止のため森林に侵入した竹の伐採
  - ・広葉樹の大苗木植栽等
  - ※竹の侵入による樹木枯死の未然防止

整備後の将来イメージ



(高槻市)



放置竹林の拡大により侵入を受ける森林

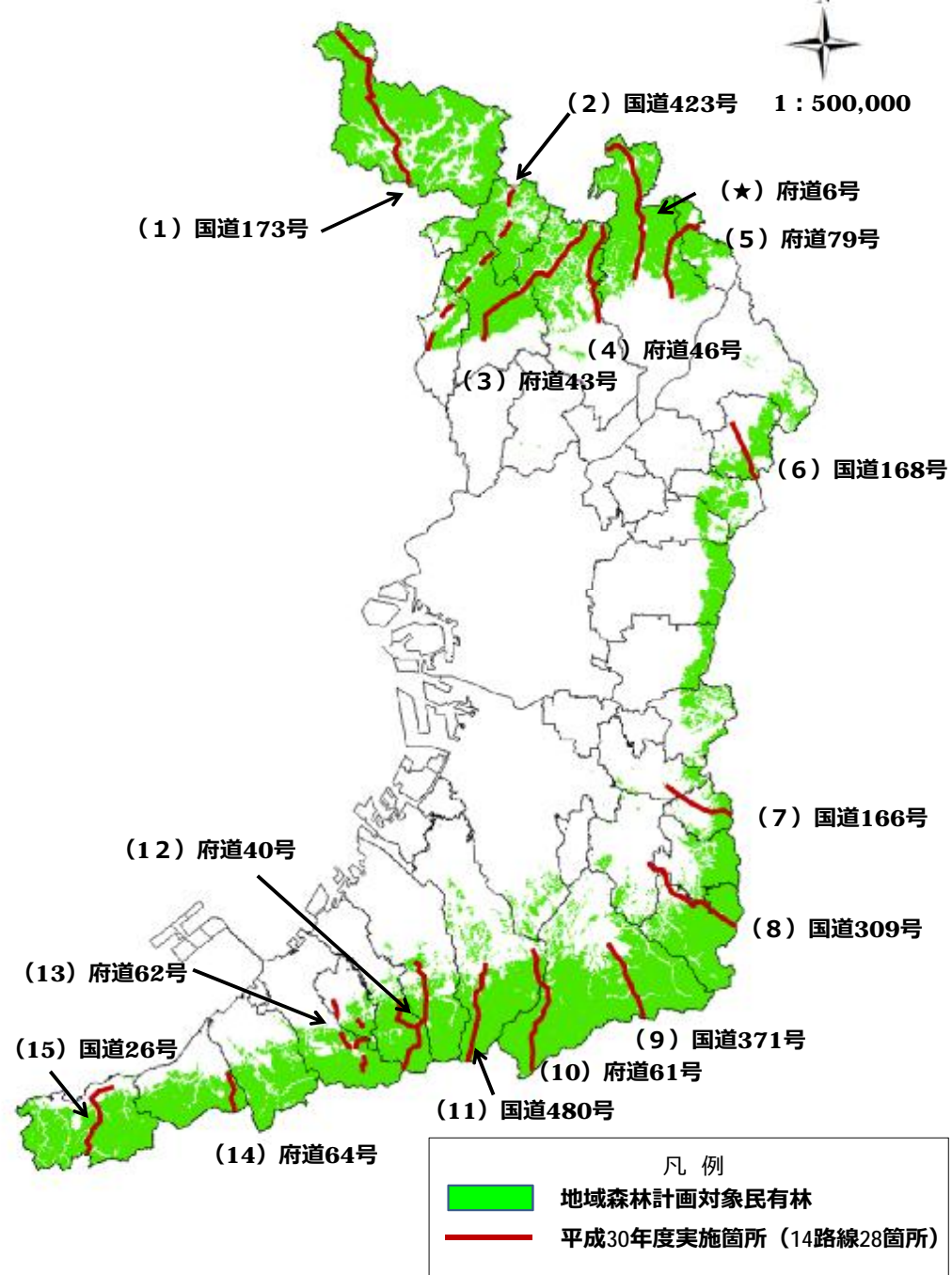


# 平成30年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

## 【(2)主要道路沿いにおける倒木対策事業】

路線名	地区名	区分	平成30年度事業			
			計画		実績	
			箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)
(1) 国道173号	能勢町天王	ナラ枯等	1(1)	2.0	1(1)	2.0
	能勢町山辺	ナラ枯等	3(2)	7.5	3(1)	17.5
(2) 国道423号▲	豊能町余野	ナラ枯等	1(1)	2.0	-	-
(3) 府道43号●	箕面市箕面	ナラ枯等	1	10.0	(実施計画策定)	
		風倒被害	-	-		
(4) 府道46号	茨木市車作	ナラ枯等	2(1)	9.0	3(1)	8.7
		放置竹林	1	1.0	-	-
(★) 府道6号●	高槻市出灰	風倒被害	-	-	(実施計画策定)	
(5) 府道79号	島本町大沢	ナラ枯等	2(1)	3.2	1(1)	3.0
		放置竹林	1	0.4	1(1)	0.07
	高槻市川久保	放置竹林	1	0.3	1	0.02
(6) 国道168号	交野市私市	ナラ枯等	3	2.7	3	2.7
(7) 国道166号	太子町山田	放置竹林	3(2)	0.4	3(2)	0.3
(8) 国道309号	千早赤阪村水分	放置竹林	3(2)	0.7	2(1)	0.2
(9) 国道371号	河内長野市溝水・天見	放置竹林	3(1)	0.8	1	0.1
		ナラ枯等	-	-	1	0.1
(10) 府道61号	河内長野市滝畑	放置竹林	3(2)	0.9	2(2)	0.4
		ナラ枯等	-	-	1	0.2
(11) 国道480号	和泉市春木川町	放置竹林	1(1)	0.2	1(1)	0.2
	和泉市父鬼	ナラ枯等	1	1.0	1	0.4
(12) 府道40号●	貝塚市蕎原	ナラ枯等	1	1.0	1	1.2
(13) 府道62号▲	熊取町久保	ナラ枯等	1(1)	0.1	-	-
(14) 府道64号●	阪南市山中溪	ナラ枯等	1	2.0	1	2.1
(15) 国道26号	岬町孝子	ナラ枯等	1	0.1	1	1.8
計画 15路線	実績 14路線	ナラ枯等	17(7)	40.6	17(4)	39.7
(★は追加路線、▲は中止路線)		風倒被害	-	-	2	実施計画策定
●はH30新規路線)		放置竹林	16(8)	4.7	11(7)	1.3
		合計	33(15)	45.3	28(11)	41.0

( )は前年度からの継続箇所の内数

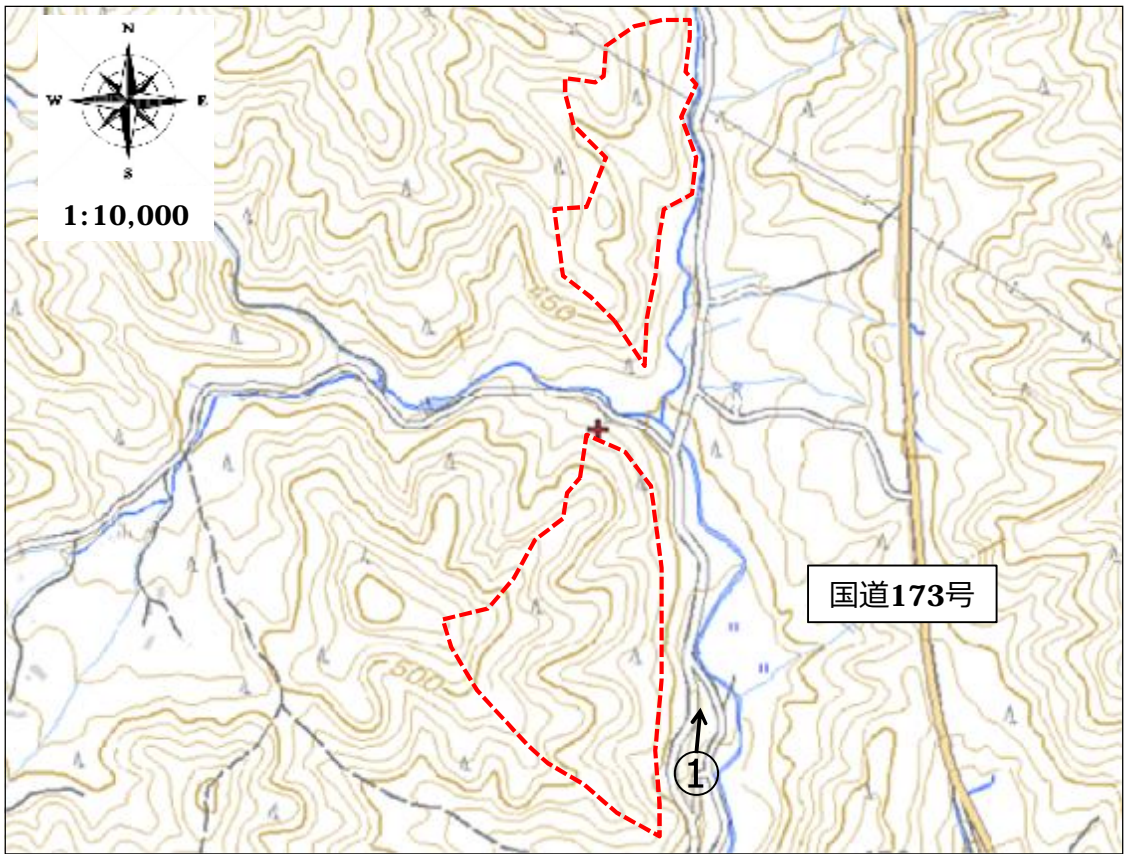




# 平成30年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

## (1) 国道173号 (能勢町天王・山辺地区)

【平面図】



【施行前】



撮影日：H30.11.19

【施行後】



撮影日：H31.2.4

【凡例】 事業地(新規箇所)    ①→写真撮影位置

内容	H30計画	H30実績	備考
ナラ枯等 (天王地区)	1箇所 (うち継続1) 2.0ha	1箇所 (うち継続1) 2.0ha	ナラ枯れ等 新規：1→2箇所(15.3ha) 継続(下刈り)：3→2箇所(4.2ha)
ナラ枯等 (山辺地区)	3箇所 (うち継続2) 7.5ha	3箇所 (うち継続1) 17.5ha	現地再精査の結果、予定地付近で新たに危険木が確認されたため対策が必要な箇所と面積が増加。また、過年度植栽地のうち1箇所は下刈り不要と判断したため箇所が減少。



# 平成30年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

## (3) 府道43号 (箕面市箕面地区)

【平面図】




【実施計画策定地①】



【実施計画策定地②】



【凡例】  計画策定対象地    ①→写真撮影位置

内容	H30計画	H30実績	備考
ナラ枯等 風倒被害	1箇所 10.0ha	-	予定地内において、台風21号による風倒木被害が発生。当初計画地（ナラ枯等）と合わせて、風倒木を整備するための実施計画を策定。



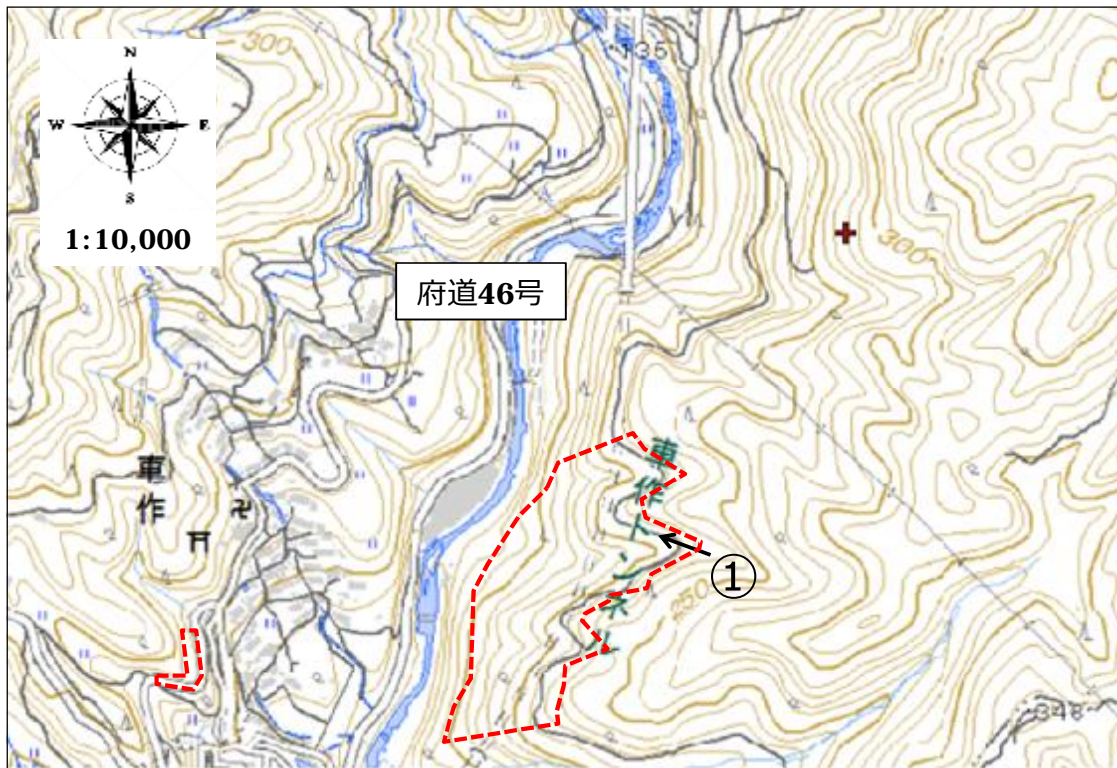
# 平成30年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

くまづり

## (4) 府道46号 (茨木市車作地区)

【平面図】

【施行前】



【施行後】



【凡例】 事業地(新規箇所)    ①→写真撮影位置

内容	H30計画	H30実績	備考
ナラ枯等	2箇所 (うち継続1) 9.0ha	3箇所 (うち継続1) 8.7ha	ナラ枯等 新規：1→2箇所(8.4ha) 継続：1→1箇所(0.3ha) 放置竹林 新規：1→0箇所
放置竹林	1箇所 1.0ha	-	ナラ枯等について、現地再精査により新たに対策が必要な箇所が増えたが、当初予定地が7月豪雨により崩壊したため、対策面積は減少。 放置竹林についても、崩壊箇所に含まれおり、実施できず。

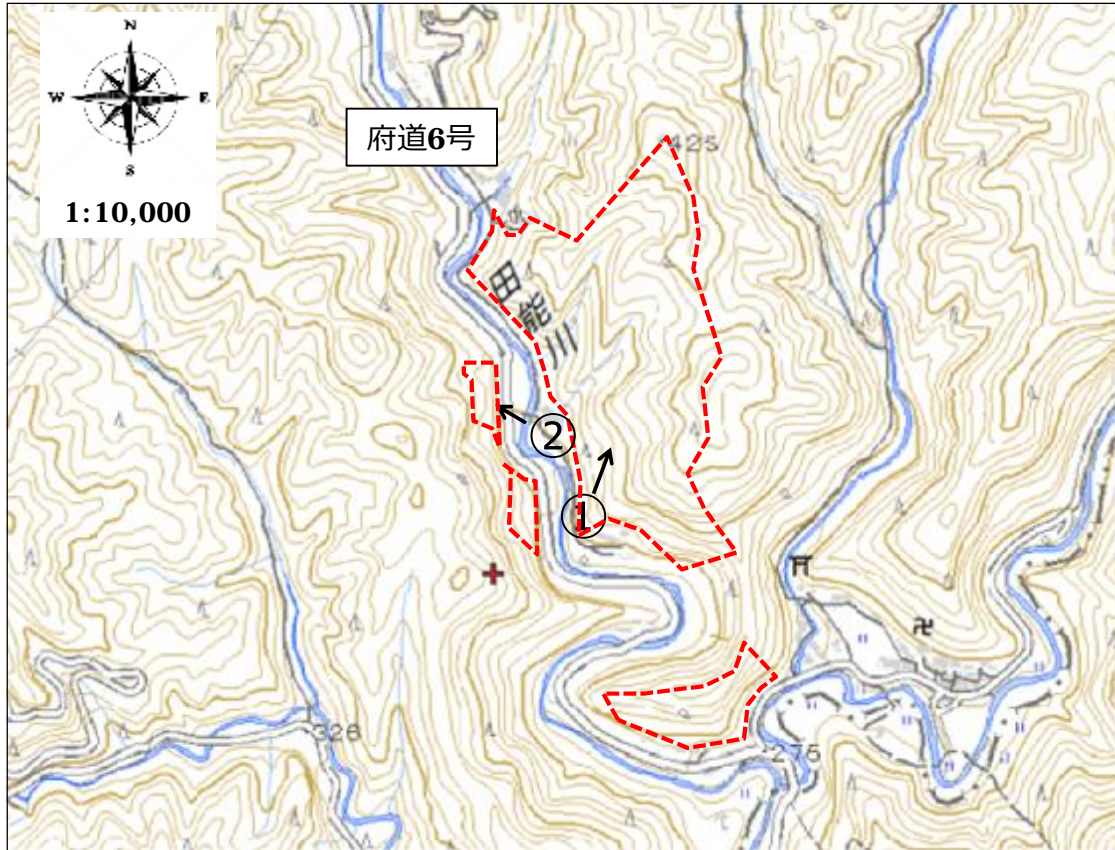


# 平成30年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

いずりは

## (★) 府道6号 (高槻市出灰地区)

【平面図】



【実施計画策定地①】




撮影日：H31.3.27

【実施計画策定地②】



撮影日：H31.3.27

【凡例】  計画策定対象地    ①→写真撮影位置

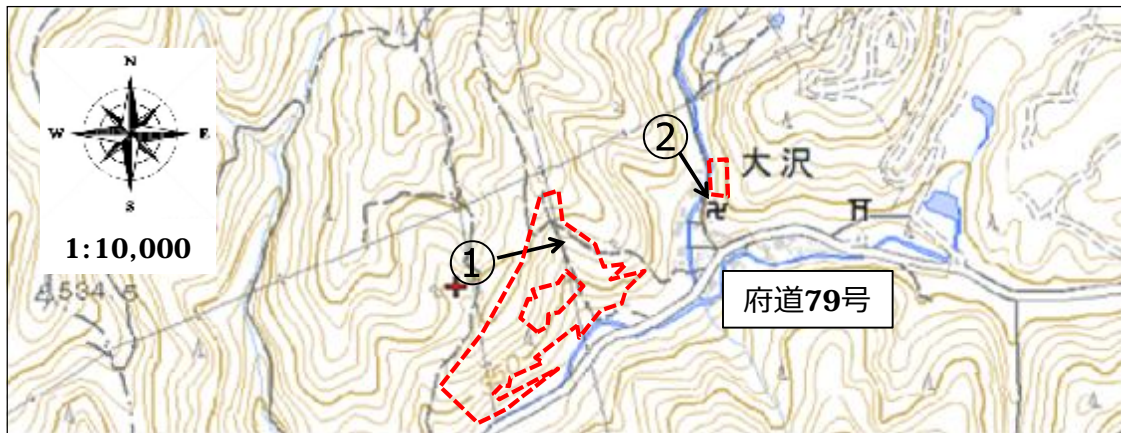
内容	H30計画	H30実績	備考
風倒被害	-	-	台風21号による風倒被害が発生。当初計画にはなかったが、令和元年度に早期対策するため実施計画を策定。



# 平成30年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

## (5) 府道79号 (島本町大沢・川久保地区)

【平面図】



【凡例】      事業地 (上段: 継続箇所・下段: 新規箇所)  
 ① → 写真撮影位置

【施行後①】 下刈



撮影日: H30.8.6

【施行後②】 補植



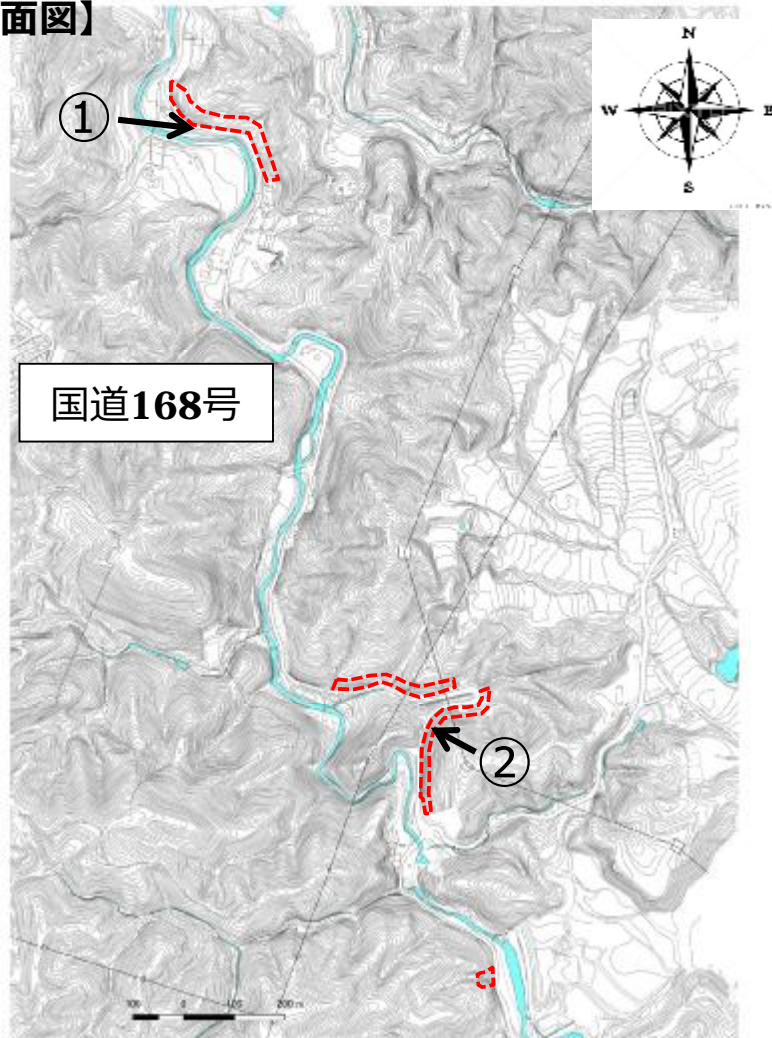
撮影日: H31.3.13

内容	H30計画	H30実績	備考
ナラ枯等 (大沢地区)	2箇所 (うち継続1) 3.2ha	1箇所 (うち継続1) 3.0ha	ナラ枯等 新規: 1→0箇所 継続(下刈り): 1→1箇所(3.0ha) 放置竹林 新規: 2→1箇所(0.02ha) 継続(補植): 0→1箇所(0.07ha)
放置竹林 (大沢地区)	1箇所 0.4ha	1箇所 (うち継続1) 0.07ha	ナラ枯等及び放置竹林について、台風の被害を受け道路管理者が処理したため、箇所と面積が減少。
放置竹林 (川久保地区)	1箇所 0.3ha	1箇所 0.02ha	放置竹林について、過年度植栽地の生育状況が悪いため、補植を実施。



(6) 国道168号 (交野市私市地区)

【平面図】



【平成30年度の施工状況】



写真①



撮影日：H31.3.25

【凡例】 H30事業地(新規箇所) ①→写真撮影位置

内容	H30計画	H30実績	備考
ナラ枯等	3箇所 2.7ha	3箇所 2.7ha	



撮影日：H31.3.19

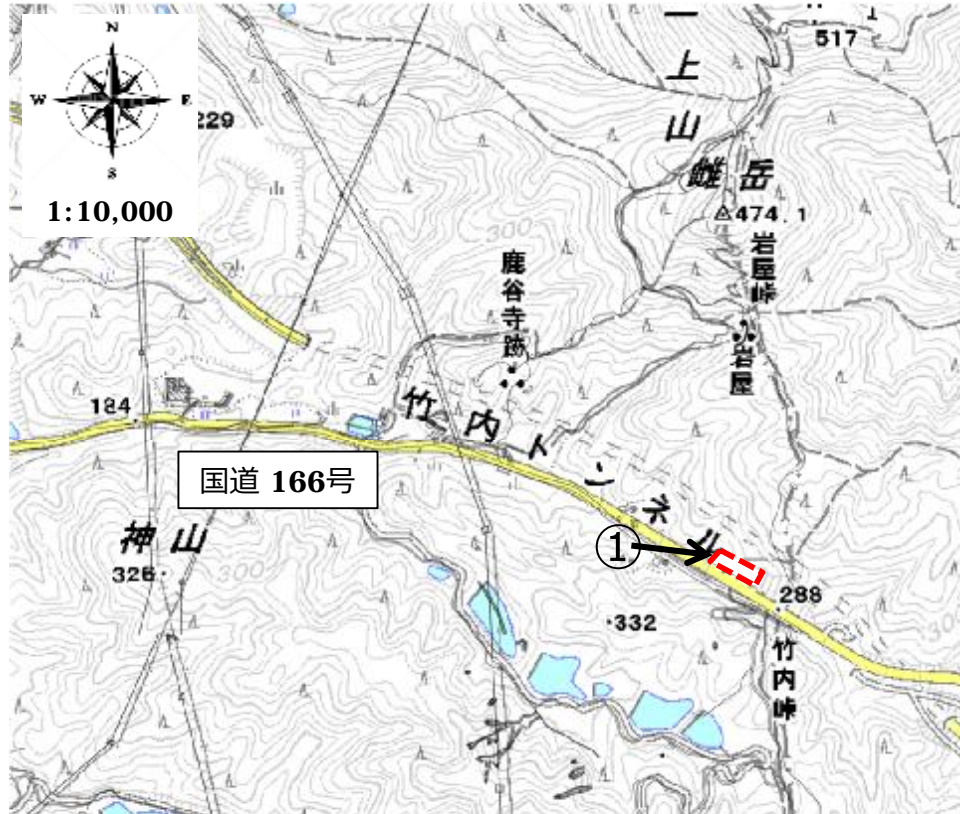
写真②



# 平成30年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

## (7) 国道166号 (太子町山田地区)

【平面図】



【凡例】   事業地(新規箇所)    ①→写真撮影位置

【施行前】



撮影日：H31.2.27

【施行後】



撮影日：R1.5.13

内容	H30計画	H30実績	備考
放置竹林	3箇所 (うち継続2) 0.4ha	3箇所 (うち継続2) 0.3ha	放置竹林 新規：1→1箇所(0.1ha) 継続(下列)：2→2箇所(0.2ha) 現地再精査により、新規に対策が必要な面積が減少。

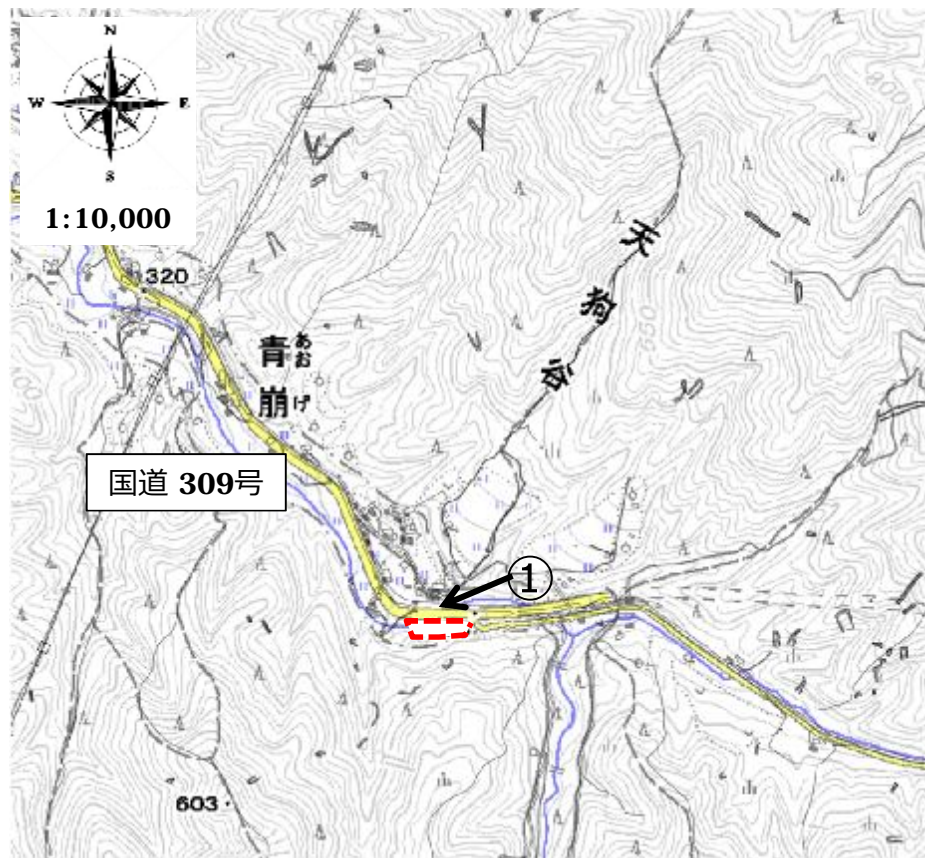


# 平成30年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

すいぶん

## (8) 国道309号 (千早赤阪村水分地区)

【平面図】



【施行前】



【施行後】



【凡例】   事業地(新規箇所)      ①→写真撮影位置

内容	H30計画	H30実績	備考
放置竹林	3箇所 (うち継続2) 0.7ha	2箇所 (うち継続1) 0.2ha	放置竹林 新規: 1 → 1 箇所(0.1ha) 継続(下刈り): 2 → 1 箇所(0.1ha) 現地再精査の結果、過年度植栽地(0.5ha) において下刈りは不要と判断したため、箇所数 及び面積が減少。



# 平成30年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

## (9) 国道371号 (河内長野市清水・天見地区)

【平面図】



【凡例】 事業地(新規箇所)    ①→写真撮影位置

【施行前】



撮影日：H31.2.8

【施行後】



撮影日：R1.5.10

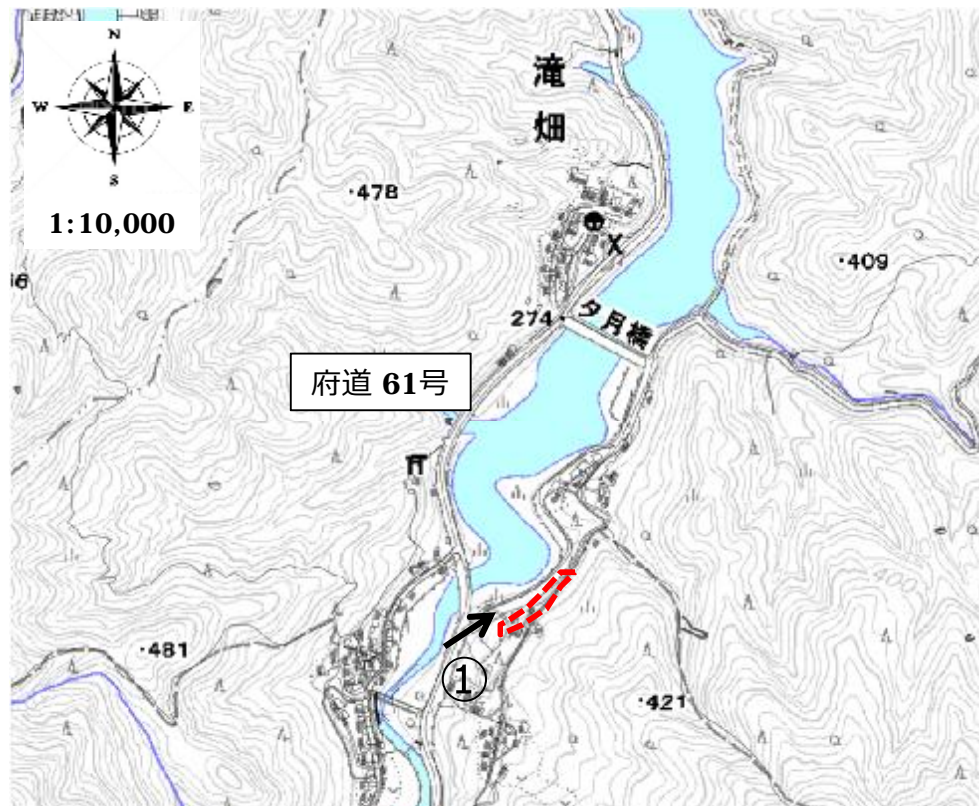
内容	H30計画	H30実績	備考
放置竹林 (天見地区)	3箇所 (うち継続1) 0.8ha	1箇所 0.1ha	放置竹林 新規：2→1箇所(0.1ha) 継続(下刈り)：1→0箇所 ナラ枯等 新規：0→1箇所(0.1ha)
ナラ枯等 (清水地区)	-	1箇所 0.1ha	放置竹林について、新規箇所は地権者との協議に時間がかかり箇所が減少。また、過年度植栽箇所の下刈りは、地元管理に移行。ナラ枯等について、現地再精査により、新たに対策が必要な箇所があったため実施。



# 平成30年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

## (10) 府道61号 (河内長野市滝畑地区)

【平面図】



【施行前】



【施行後】



【凡例】 事業地(新規箇所) ①→写真撮影位置

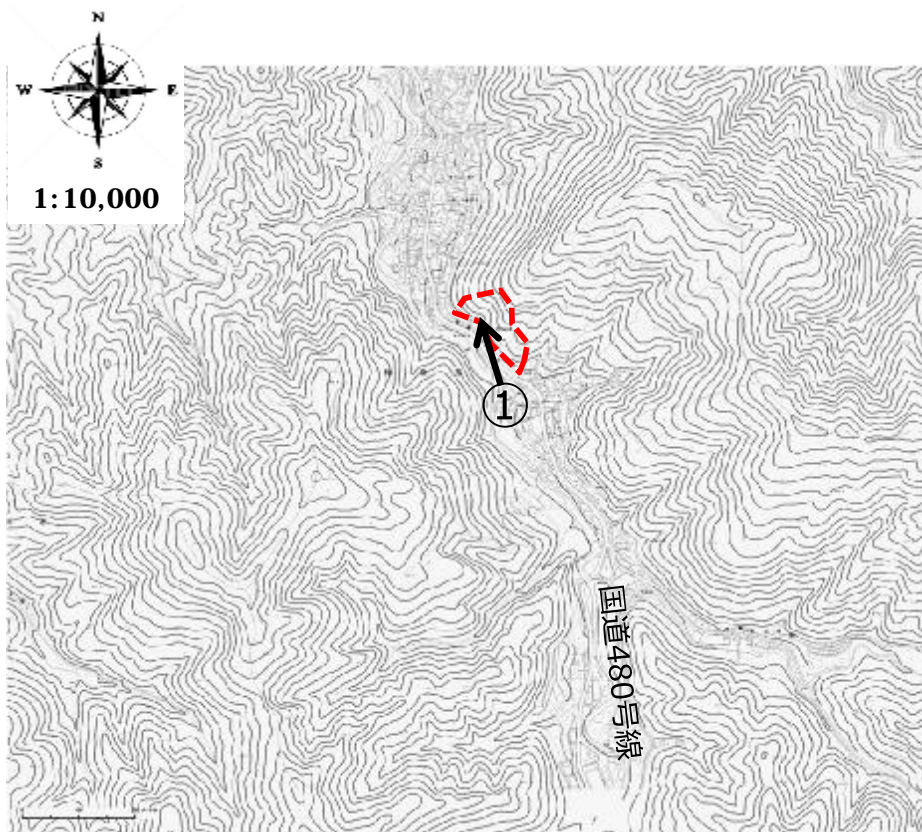
内容	H30計画	H30実績	備考
放置竹林	3箇所 (うち継続2) 0.9ha	2箇所 (うち継続2) 0.4ha	放置竹林 新規: 1→0箇所 継続(下列り): 2→2箇所(0.4ha) ナラ枯等 新規: 0→1箇所(0.2ha)
ナラ枯等	-	1箇所 0.2ha	放置竹林について、地権者との協議に時間がかかり、実施できなかった。 ナラ枯等について、現地再精査により、新たに対策が必要な箇所があったため実施。



# 平成30年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

## (1 1) 国道480号 (和泉市春木川町地区・父鬼地区)

【平面図】



【施行前】



【施行後】



【凡例】   事業地(新規箇所)    ①→写真撮影位置

内容	H30計画	H30実績	備考
放置竹林 (春木川町地区)	1箇所 (うち継続1) 0.2ha	1箇所 (うち継続1) 0.2ha	ナラ枯等について、現地再精査により、対策が必要な面積が減少。
ナラ枯等 (父鬼地区)	1箇所 1.0ha	1箇所 0.4ha	

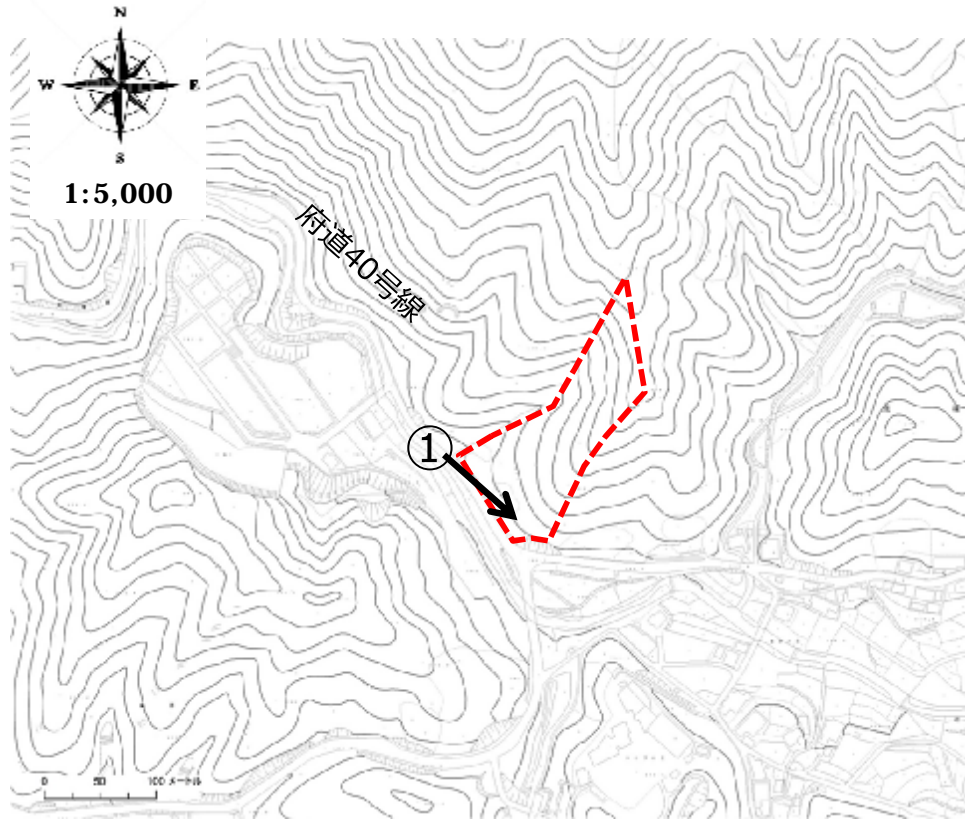


# 平成30年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

そぶら

## (12) 府道40号 (貝塚市蕎原地区)

【平面図】



【施行前】



【施行後】



【凡例】 事業地(新規箇所)    ①→写真撮影位置

内容	H30計画	H30実績	備考
ナラ枯等	1箇所 1.0ha	1箇所 1.2ha	現地再精査により、対策が必要な面積が増加。

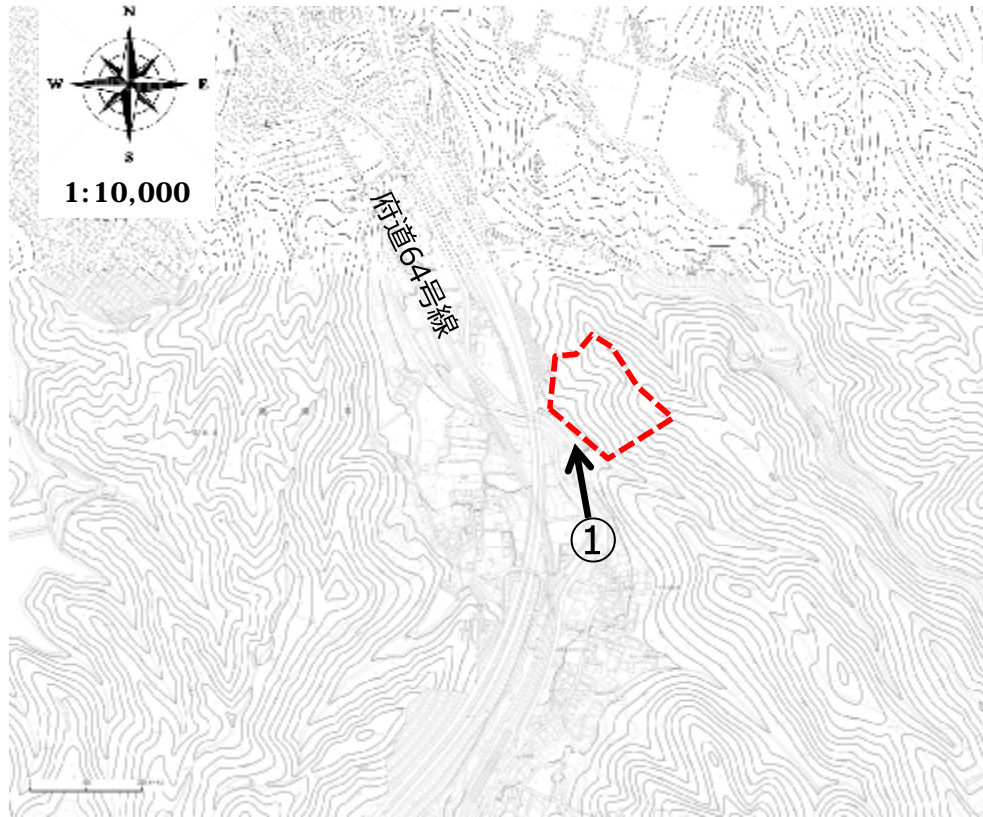



# 平成30年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

やまなかだに

## (14) 府道63号 (阪南市山中溪地区)

【平面図】



【凡例】  事業地(新規箇所)    ①→写真撮影位置

内容	H30計画	H30実績	備考
放置竹林	1箇所 2.0ha	1箇所 2.1ha	現地再精査により、対策が必要な面積が増加。

【施行前】



【施行後】



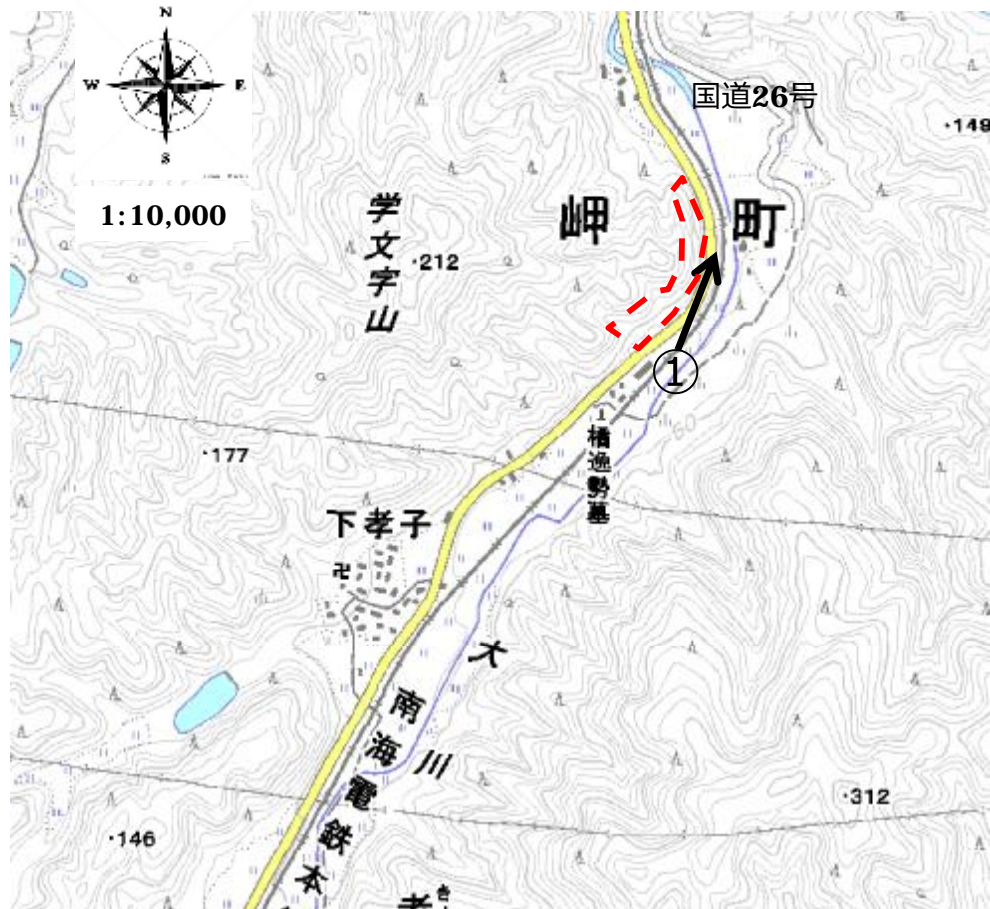


# 平成30年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

きょうし

## (15) 国道26号 (岬町孝子地区)

【平面図】



【施行前】



撮影日：H31.2.12

【施行後】



撮影日：H31.4.3

【凡例】   事業地(新規箇所) ①→写真撮影位置

内容	H30計画	H30実績	備考
ナラ枯等	1箇所 0.1ha	1箇所 1.8ha	翌年度実施予定箇所の地権者の同意が得られたため、計画を前倒しで実施



平成30年度 大阪府森林環境整備事業 評価シート

担当課名	みどり推進室森づくり課
担当グループ名	森林整備グループ
連絡先	(06)6210-9559

1 事業概要

事業実施年度	平成30年度
評価年月日	令和元年6月24日
① 概要等	自然災害から府民の暮らしを守る取組み
事業区分	主要道路沿いにおける倒木対策事業
事業名	ナラ枯等、放置竹林対策
事業概要	ナラ枯等、放置竹林対策
事業開始年度	平成28年度
② 事業の目的	ナラ・カシ類などの広葉樹林の高齢化に伴い病害虫による枯死(ナラ枯れ)や放置竹林が増加しており、枯損木等による国道併道等への倒木・倒伏被害を未然に防止する。

(単位:千円)

③ 事業費	年度別推移				合計
	H28	H29	H30	R1~	
当初計画(千円)	255,000	291,000	276,000	194,000	1,016,000
現計画(千円)	202,713	217,489	297,865	392,026	1,110,093
執行額(千円)	202,713	217,489	219,410	-	-
④ 事業の内容	・事業対象区域:山地災害危険地区「山腹崩壊危険地区」 (府県間等を結ぶ主要国道・府道20路線沿いの山崩れの危険がある森林) ・事業箇所数:ナラ枯等対策 約50箇所 放置竹林対策約40箇所 ・事業内容:①ナラ枯等対策 ナラ枯等の病虫害被害が予想される高齢木の予防 伐採、被害木の処理、落石対策、作業用歩道の整備等 ②放置竹林対策 竹伐採、草刈、竹拡大气污染防治の設置、広葉樹の苗木 植栽、作業用歩道の整備等				

2 自己評価

(1) 事業実績

⑤ 実績検証の内容	指標・検証方法		計画	実績	評価区分	理由
	指標	実施路線数				
⑤ 実績検証の内容	検証方法	事業の完成検査	13路線	14路線	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> あまり妥当でない <input type="checkbox"/> 妥当でない	実施路線数について、計画のうち2路線はナラ枯れ被害の総量、及び、町の管理で対応が可能となったため、対策不要となった。また、台風21号による風倒木被害の早期対策のため、新規1路線で実施計画を策定した。 ナラ枯等対策については、施工範囲の精査により、面積が増減したが、概ね予定通り実施することができた。 放置竹林対策については、豪雨や台風で被災し、道路管理者が緊急対応したことや、伐採後の下刈りを地元管理に移行できたことから面積が減少した。 全体としては概ね計画通りに実施した。 (※詳細については箇所別個票参照)
	指標	事業の完成検査	40.6ha	39.7ha		
⑤ 実績検証の内容	検証方法	放置竹林対策実施面積	4.7ha	1.3ha	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> あまり妥当でない <input type="checkbox"/> 妥当でない	実施路線数について、計画のうち2路線はナラ枯れ被害の総量、及び、町の管理で対応が可能となったため、対策不要となった。また、台風21号による風倒木被害の早期対策のため、新規1路線で実施計画を策定した。 ナラ枯等対策については、施工範囲の精査により、面積が増減したが、概ね予定通り実施することができた。 放置竹林対策については、豪雨や台風で被災し、道路管理者が緊急対応したことや、伐採後の下刈りを地元管理に移行できたことから面積が減少した。 全体としては概ね計画通りに実施した。 (※詳細については箇所別個票参照)
	検証方法	事業の完成検査	4.7ha	1.3ha		

(2) 事業効果

⑥ 効果検証の内容	指標・検証方法		計画	実績	評価区分	理由
	指標	通行障害の発生抑制				
⑥ 効果検証の内容	検証方法	事業実施後の通行障害発生の有無	-	-	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> あまり妥当でない <input type="checkbox"/> 妥当でない	実施路線数について、計画のうち2路線はナラ枯れ被害の総量、及び、町の管理で対応が可能となったため、対策不要となった。また、台風21号による風倒木被害の早期対策のため、新規1路線で実施計画を策定した。 ナラ枯等対策については、施工範囲の精査により、面積が増減したが、概ね予定通り実施することができた。 放置竹林対策については、豪雨や台風で被災し、道路管理者が緊急対応したことや、伐採後の下刈りを地元管理に移行できたことから面積が減少した。 全体としては概ね計画通りに実施した。 (※詳細については箇所別個票参照)
	検証方法	現地通観調査による危険木等の発生確認	-	-		

(3) 自己評価(総合)(令和2年度に最終評価予定)

⑦ 自己評価	総合評価	理由
<input type="checkbox"/> 評価できる <input type="checkbox"/> 概ね評価できる <input type="checkbox"/> あまり評価できない <input type="checkbox"/> 評価できない		

3 第三者評価(令和2年度に最終評価予定)

⑧ 第三者評価	大阪府森林環境整備事業評価審議会の意見



# 令和元年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業の実施について

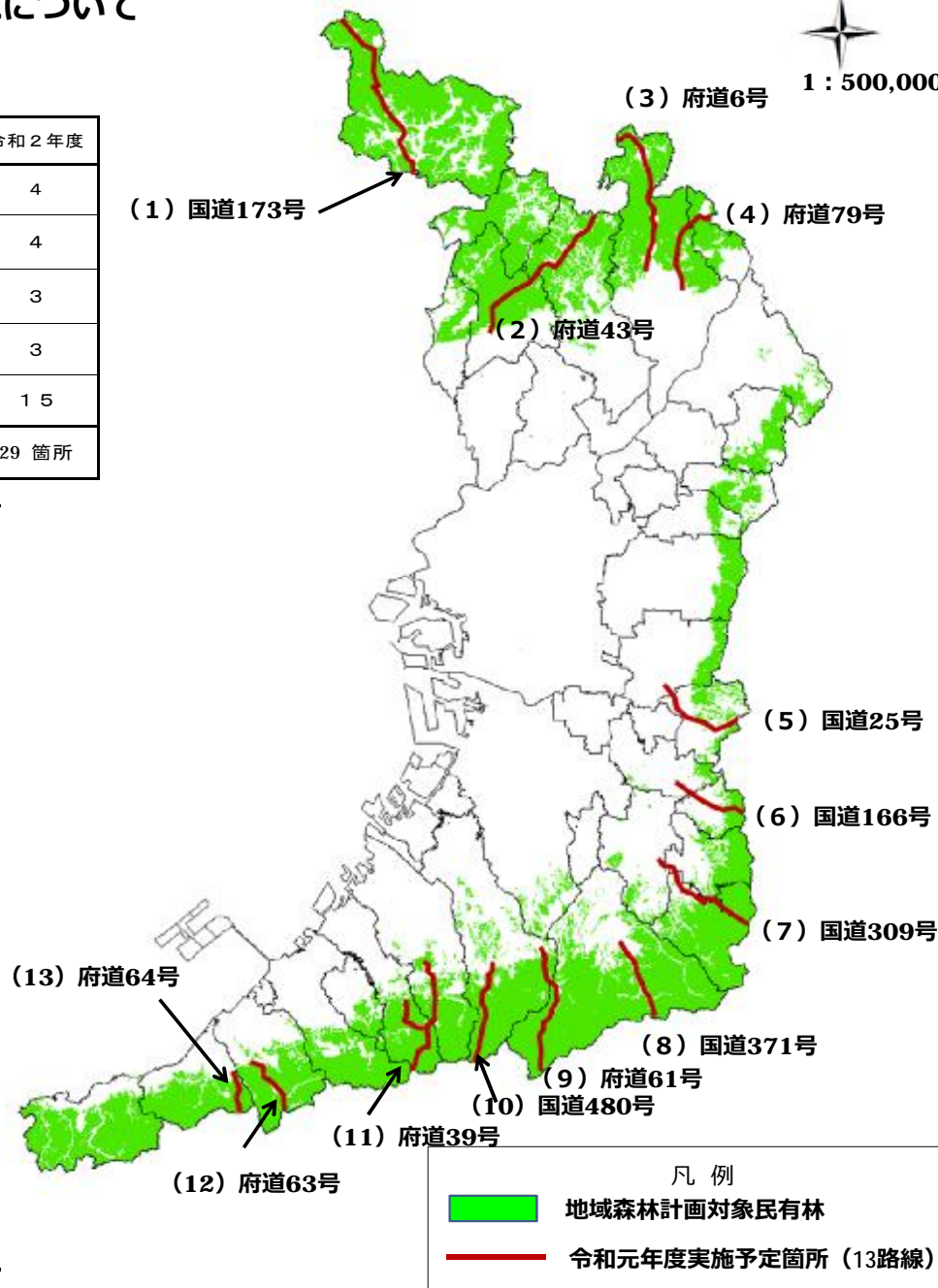
## 【全体計画】

	新規着手	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
平成 28 年度着手	18 箇所 (11 路線)	18	4	4	4	4
平成 29 年度着手	24 箇所 (2 路線)		24	7	6	4
平成 30 年度着手	17 箇所 (4 路線)			17	3	3
令和元年度着手	16 箇所 (3 路線)				16	3
令和 2 年度着手	15 箇所 (0 路線)					15
合計	90 箇所 (20 路線)	18 箇所 (11 路線)	28 箇所 (13 路線)	28 箇所 (14 路線)	29 箇所 (13 路線)	29 箇所

## 【令和元年度の計画数量】

路線名	地区名	区分	令和元年度事業計画	
			箇所数	面積(ha)
(1) 国道173号	能勢町山辺	ナラ枯等	1(1)	2.0
	能勢町天王	ナラ枯等	1(1)	3.2
(2) 府道43号	箕面市箕面	ナラ枯等	1	4.6
		風倒被害	1	6.4
(3) 府道6号	高槻市出灰	風倒被害	1	8.0
(4) 府道79号	島本町大沢	ナラ枯等	2(2)	3.2
	高槻市川久保	放置竹林	1(1)	0.1
(5) 国道25号●	柏原市本堂	ナラ枯等	1	0.6
(6) 国道166号	太子町山田	放置竹林	2(2)	0.2
(7) 国道309号	千早赤阪村水分	放置竹林	2(1)	0.3
(8) 国道371号	河内長野市天見・清水	ナラ枯等	2	1.0
		放置竹林	4(2)	0.4
(9) 府道61号	河内長野市滝畑	放置竹林	2(2)	0.6
		ナラ枯等	1	0.1
(10) 国道480号	和泉市春木川町	放置竹林	1(1)	0.2
	和泉市父鬼	ナラ枯等	3	1.5
(11) 府道39号●	岸和田市相川町	ナラ枯等	1	1.4
(12) 府道63号●	泉南市信達六尾	ナラ枯等	1	0.6
(13) 府道64号	阪南市山中溪	ナラ枯等	1	0.2
計 13 路線 (うち、●は新規3路線)		ナラ枯等	15(4)	18.4
		風倒被害	2	14.4
		放置竹林	12(9)	1.8
		合計	29(13)	34.6

( )は前年度からの継続箇所の内数





### (3) 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）

**【目的】**

所有形態が小規模・分散化した森林をまとめた団地として集約化し、基幹的な作業道の舗装や木材集積土場の設置などの基盤づくりを進め、計画的な間伐促進を図るとともに、安定的に木材を供給できる体制を構築する。

**【事業概要】**

基幹的な作業道や木材集積土場の設置など、計画的な間伐促進を図るための基盤づくりに必要な経費を助成

○事業箇所数：34地区（9市町村・4,800ha）（当初）

33地区（9市町村・4,700ha）（H30.11審議会で出灰流谷地区事業廃止後）

○事業主体：森林所有者から森林施業を委託された林業事業体

○補助率：定額（府が工種ごとに定める補助単価に基づき算出）

○補助要件（対象森林）：

- ①集約化により一体的な森林管理が可能な、区域面積が概ね100ha以上の人工林で、森林法に基づく森林経営計画が作成され、計画的な間伐や木材搬出が見込まれること
- ②森林所有者や林業事業体が、本事業により整備した基盤施設を活用し、間伐や植栽等の森林経営を長期にわたって継続的に実施する見込みがあること

※府・事業主体・森林所有者の3者で、20年間の協定を締結

**【実績及び令和元年度計画】**

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
平成28年度新規着手（10地区）	10地区	9地区	7地区	6地区
平成29年度新規着手（9地区）		9地区	8地区	7地区
平成30年度新規着手（11地区）			11地区	10地区
平成31年度新規着手（3地区）				3地区
計（33地区）	10地区	18地区	26地区	26地区

**【当初事業計画】**

単位：面積（ha） 材積（m<sup>3</sup>） 事業費（千円）

	全体計画				H28			H29			H30			R1		
	地区数	区域面積	搬出材積	事業費	地区数	搬出材積	事業費	地区数	搬出材積	事業費	地区数	搬出材積	事業費	地区数	搬出材積	事業費
	34	4,806	29,713	1,080,800	10	4,533	321,000	18	7,209	205,800	28	7,878	241,800	22	10,093	312,200
（新規着手地区数）			-			(10)			(9)			(11)			(3)	



## 平成30年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

### ■実績の概要

	H30計画	H30実績	備考
地区数	28地区	26地区	工事实施 15地区 測量・設計実施 10地区 工事实施(繰越) 1地区
作業道整備	10, 100m	10,627m	
土場整備	17箇所	14箇所	

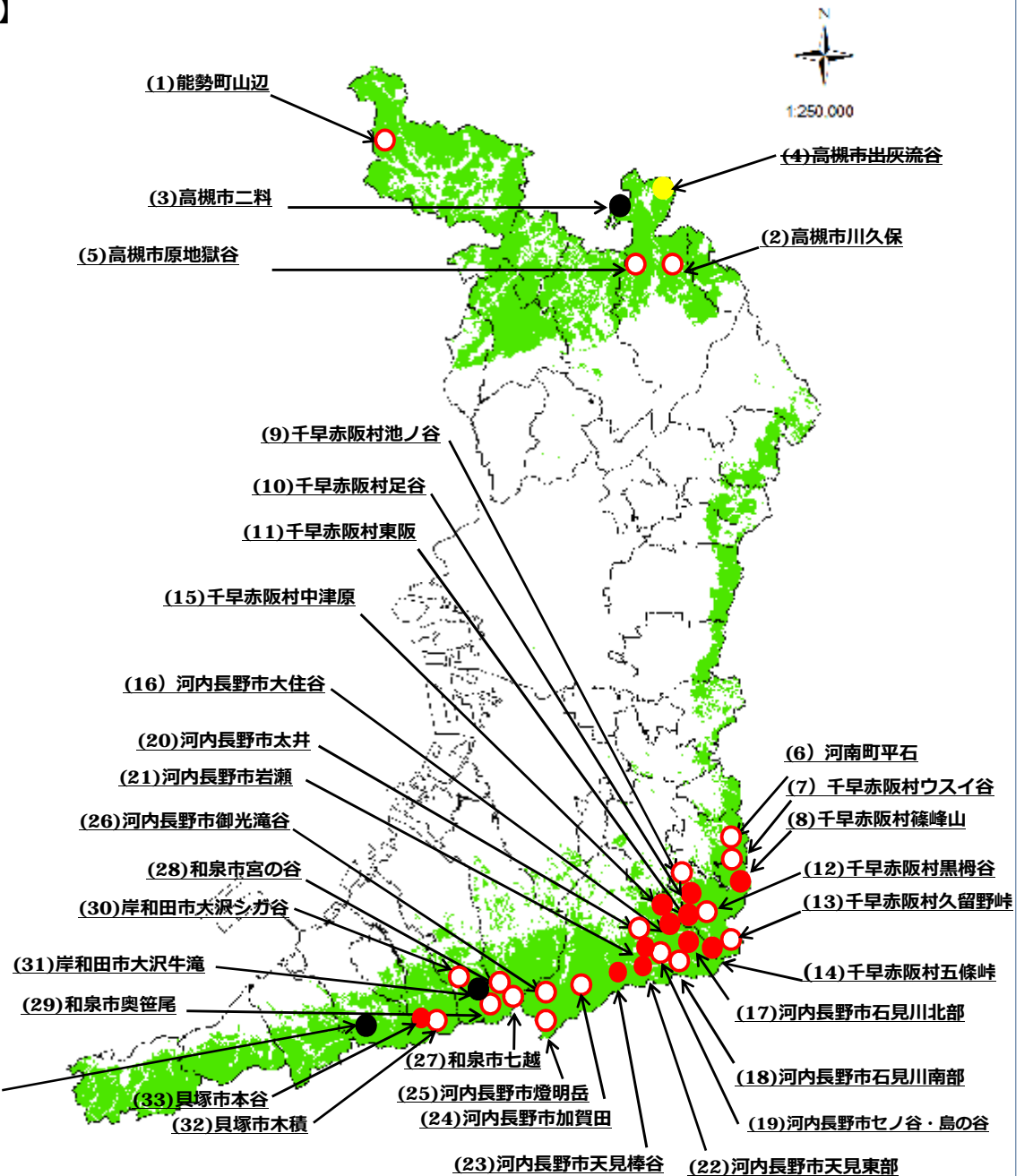
※H30.11審議会において川久保地区H31に事業実施延期、出灰流谷地区事業廃止

【持続的な森づくり（基盤づくり）事業箇所位置図】

番号	市町村	地区名	実施年度				備考
			H28	H29	H30	R1	
1	能勢町	山辺	■	■	■	■	
2	高槻市	川久保	■	■	■	■	H30年度休止 R1年度実施
3		二料	■	■	■	■	
4		出灰流谷	■	■	■	■	事業休止
5		原地獄谷	■	■	■	■	
6	河南町	平石	■	■	■	■	
7	千早赤阪村	水分ウスイ谷	■	■	■	■	
8		水分篠峰山	■	■	■	■	
9		水分池の谷	■	■	■	■	
10		水分足谷	■	■	■	■	
11		東阪	■	■	■	■	
12		千早黒桐谷	■	■	■	■	
13		千早久留野峠	■	■	■	■	
14		千早五條峠	■	■	■	■	
15		中津原	■	■	■	■	
16		河内長野市	小深大住谷	■	■	■	■
17	石見川北部		■	■	■	■	
18	石見川南部		■	■	■	■	
19	セノ谷・島の谷		■	■	■	■	
20	太井・鳩の原・神ヶ丘		■	■	■	■	
21	岩瀬		■	■	■	■	
22	天見東部		■	■	■	■	
23	天見棒谷		■	■	■	■	
24	加賀田		■	■	■	■	
25	滝畑燈明岳		■	■	■	■	
26	滝畑御光滝谷	■	■	■	■		
27	和泉市	父鬼七越	■	■	■	■	
28		父鬼宮の谷・大岩	■	■	■	■	
29		父鬼奥笹尾	■	■	■	■	
30	岸和田市	大沢シガ谷	■	■	■	■	
31		大沢牛滝	■	■	■	■	
32	貝塚市	木積	■	■	■	■	
33		本谷	■	■	■	■	
34	泉佐野市	大木	■	■	■	■	
合計		33地区	10	18	26	26	

- 平成28・29年度新規着手の箇所（19箇所）
- 平成30年度新規着手の箇所（11箇所）
- 令和元年度新規着手予定箇所（3箇所）

(34) 泉佐野市大木





【事業地】(1) 能勢町山辺地区  
 【事業者】大阪府森林組合豊能支店

(平面図)



(施工前)

①土場整備工



H30.4.17

(施工後)

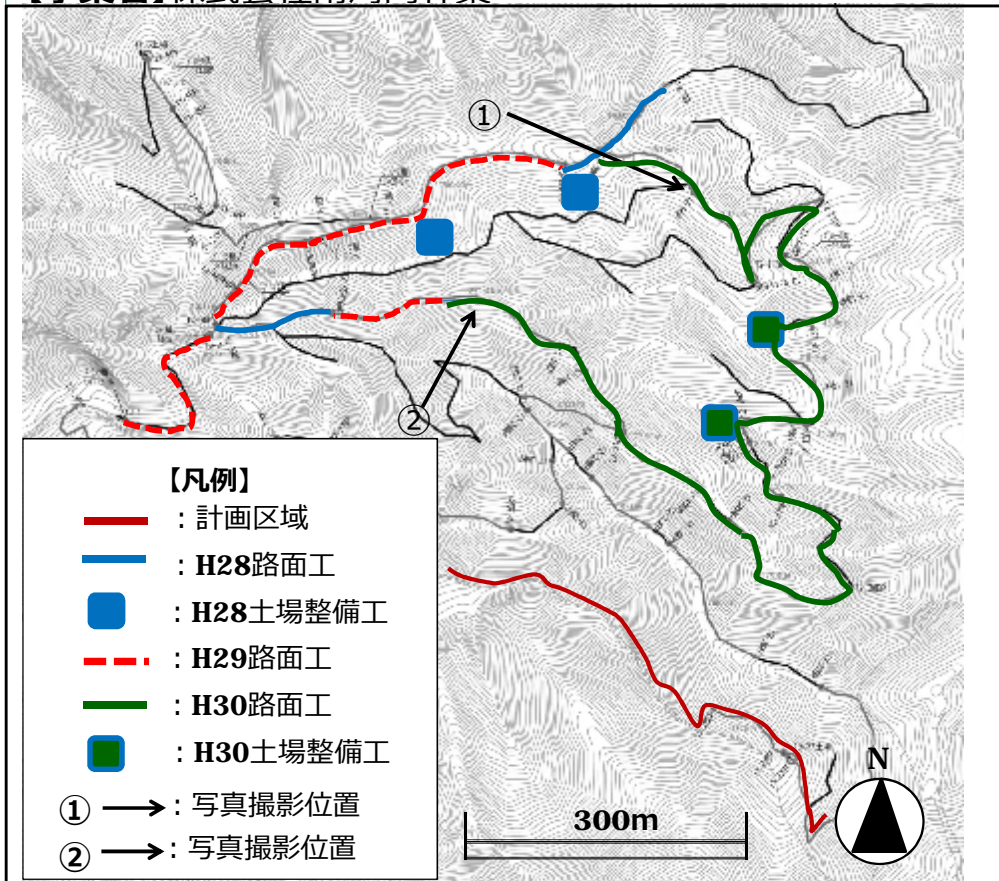


H31.2.4

	H30計画	H30実績	備考
土場	2箇所	2箇所	計画どおりに実施

# 平成30年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

ひらいし  
**【事業地】** (6) 河南町平石地区  
**【事業者】** 株式会社南河内林業



	H30計画	H30実績	備考
作業道	1500m	1695m	概ね計画どおりに実施
土場	2箇所	2箇所	計画どおりに実施

(施工前)

(施工後)

①路面工



H28.12.17

H30.6.11

②路面工



H29.3.22

H30.6.11

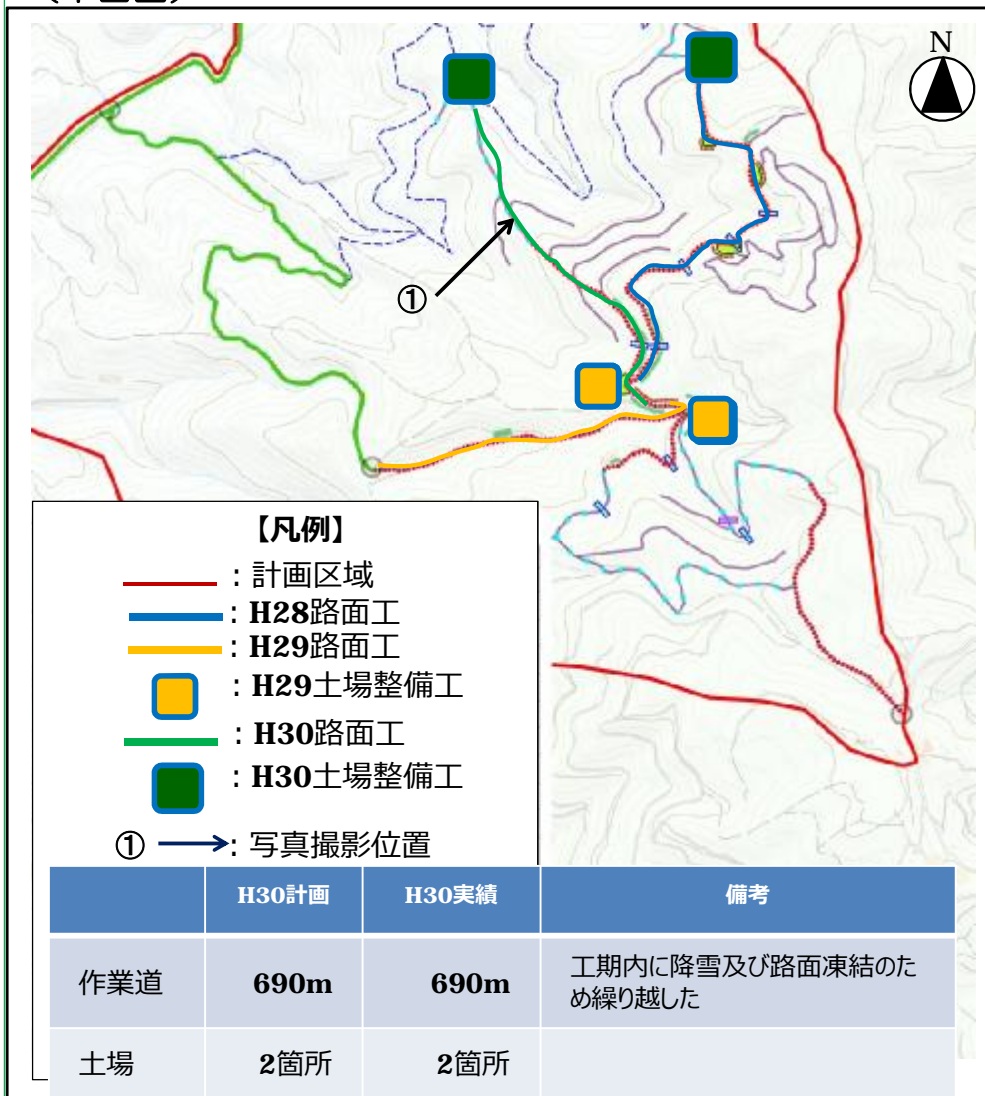


# 平成30年度 持続的な森づくり推進事業(基盤づくり)実績

【事業地】 (7) 千早赤阪村水分<sup>すいぶん</sup>ウスイ谷地区

【事業者】 大阪府森林組合南河内支店

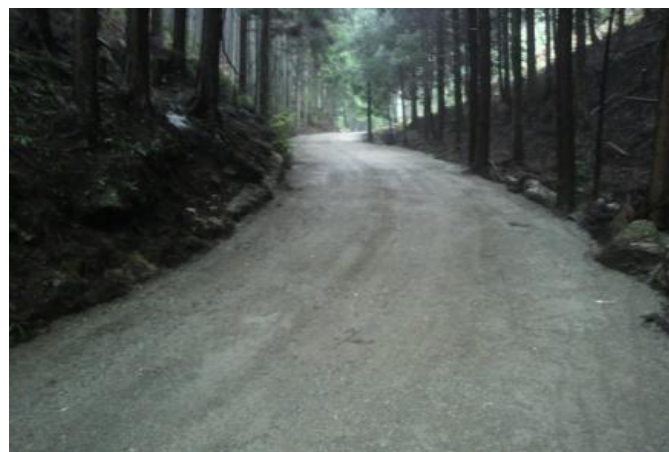
(平面図)



①路面工  
(施工前)



(施工後)

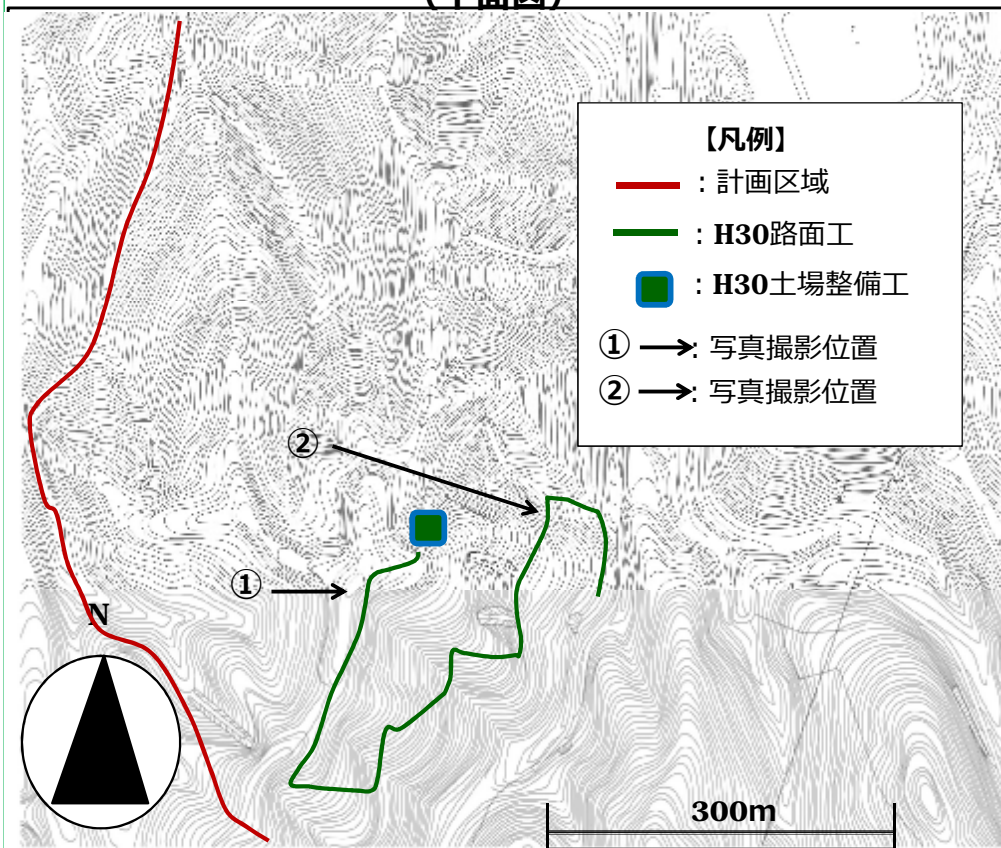


## 平成30年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

【事業地】(9) 千早赤阪村水分・池の谷地区 すいぶん

【事業者】大阪府森林組合南河内支店

(平面図)



(施工前)

(施工後)

①路面工



H30.7.12



H31.3.22

②路面工



H30.7.12



H31.3.22

	H30計画	H30実績	備考
作業道	700m	766m	概ね計画どおり実施
土場	1箇所	1箇所	計画どおりに実施



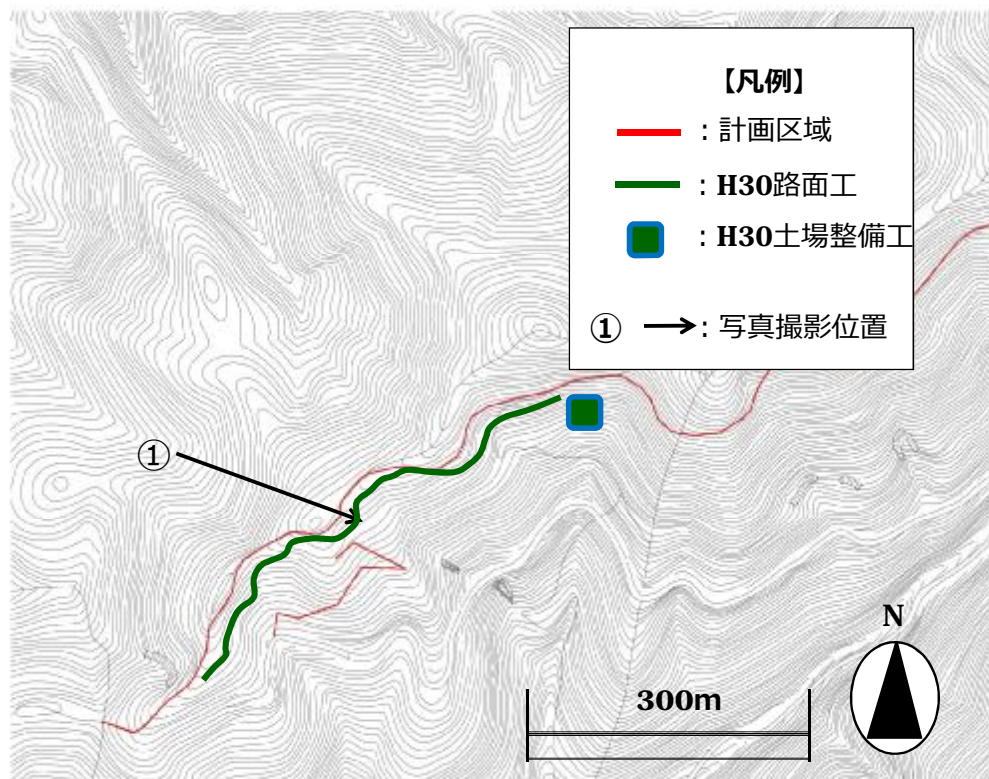
# 平成30年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

くろとがたに  
【事業地】(12) 千早赤阪村千早・黒梅谷地区

【事業者】株式会社南河内林業

(平面図)

(施工前)



①路面工



H30.6.19

(施工後)



H31.3.19

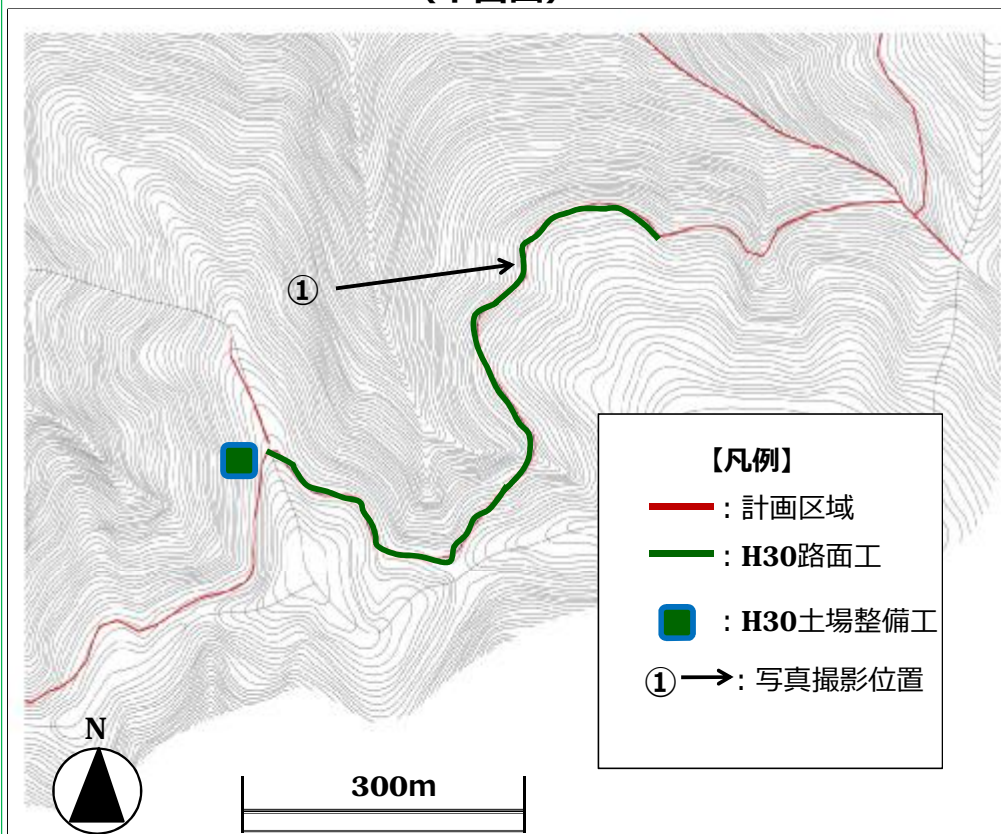
	H30計画	H30実績	備考
作業道	500m	560m	概ね計画どおり実施
土場	1箇所	1箇所	計画とおりに実施

# 平成30年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

【事業地】(13) 千早赤阪村千早・久留野峠地区

【事業者】大阪府森林組合南河内支店

(平面図)



	H30計画	H30実績	備考
作業道	500m	580m	概ね計画どおり実施
土場	1箇所	1箇所	計画どおりに実施

(施工前)

①路面工



(施工後)



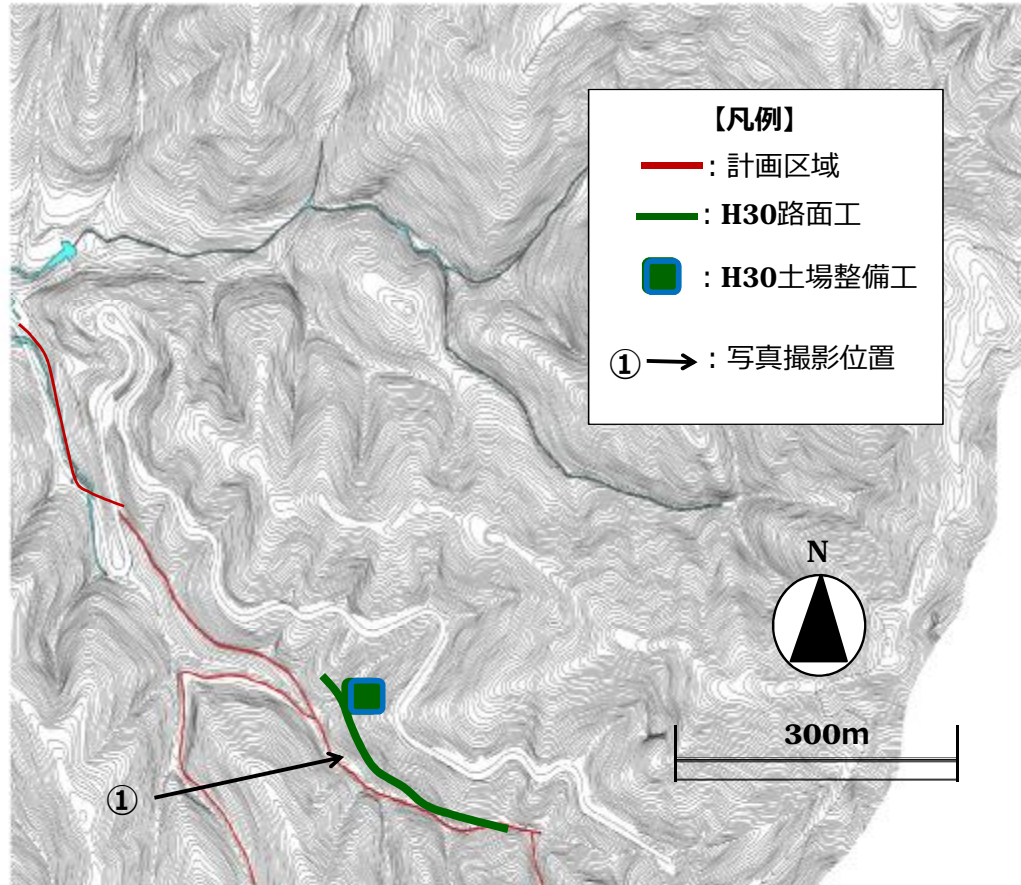
H31.3.26



【事業地】(18) 河内長野市石見川南部地区

【事業者】株式会社南河内林業

(平面図)



① 路面工  
(施工前)



H30.5.29

(施工後)



H31.1.29

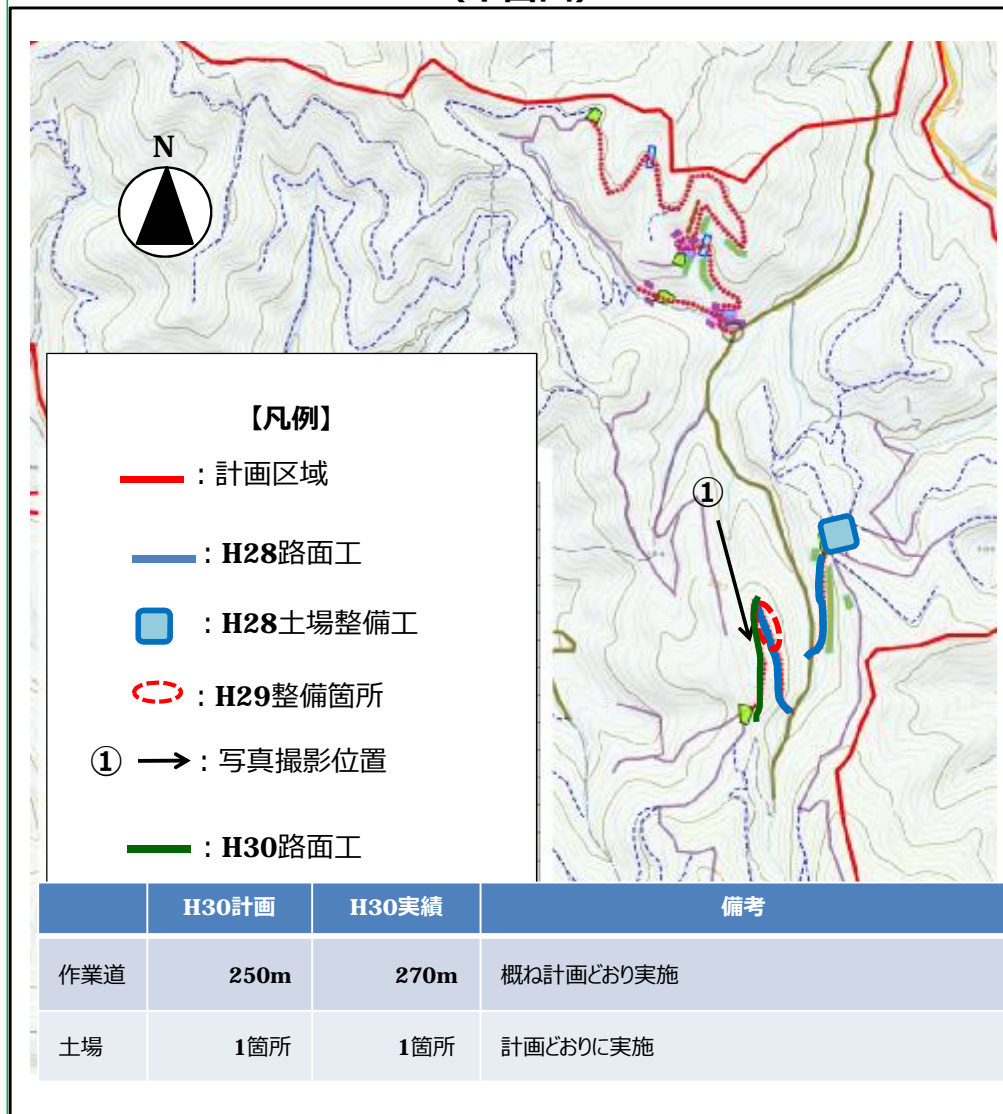
	H30計画	H30実績	備考
作業道	250m	270m	概ね計画どおり実施
土場	1箇所	1箇所	計画どおりに実施



【事業地】(19) 河内長野市セノ谷・島の谷地区

【事業者】大阪府森林組合南河内支店

(平面図)



①路面工  
(施工前)



H29.2.2

(施工後)



H30.10.23

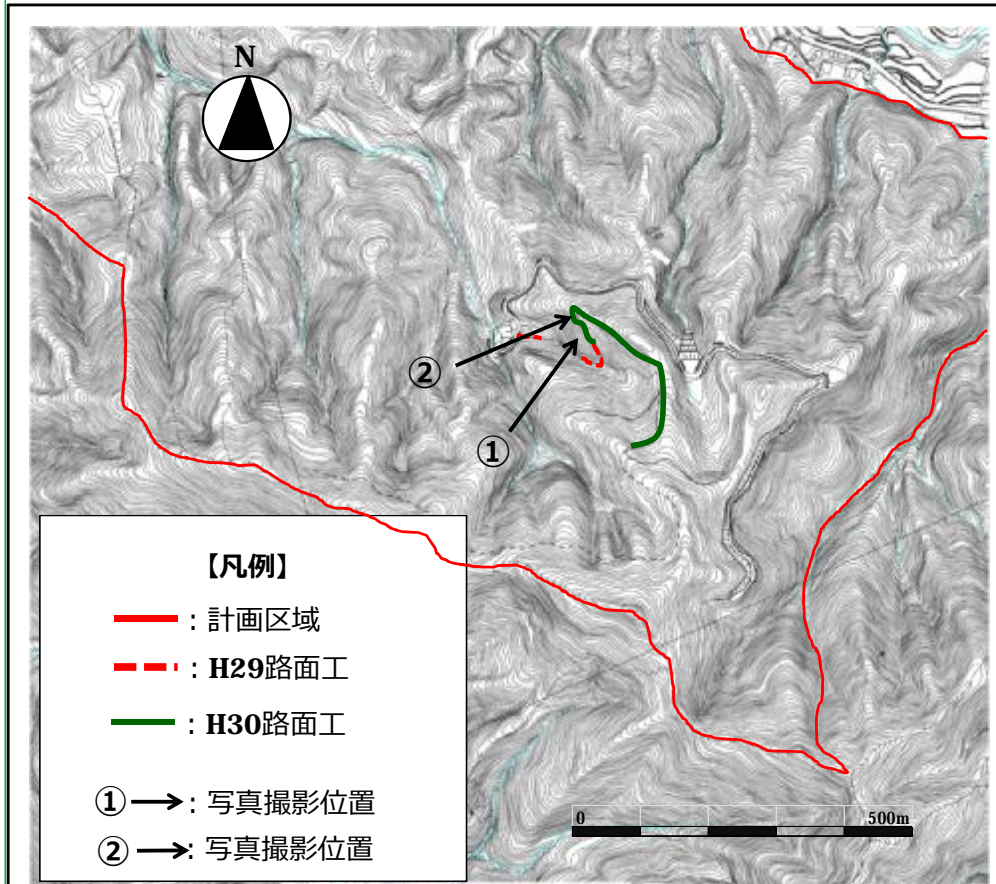


# 平成30年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

【事業地】(20) 河内長野市太井・鳩原地区 たい はとほら

【事業者】株式会社南河内林業

(平面図)



	H30計画	H30実績	備考
作業道	400m	468m	概ね計画どおり実施

①路面工  
(施工前)



H30.5.29

(施工後)



H30.11.8

②路面工



H30.5.29



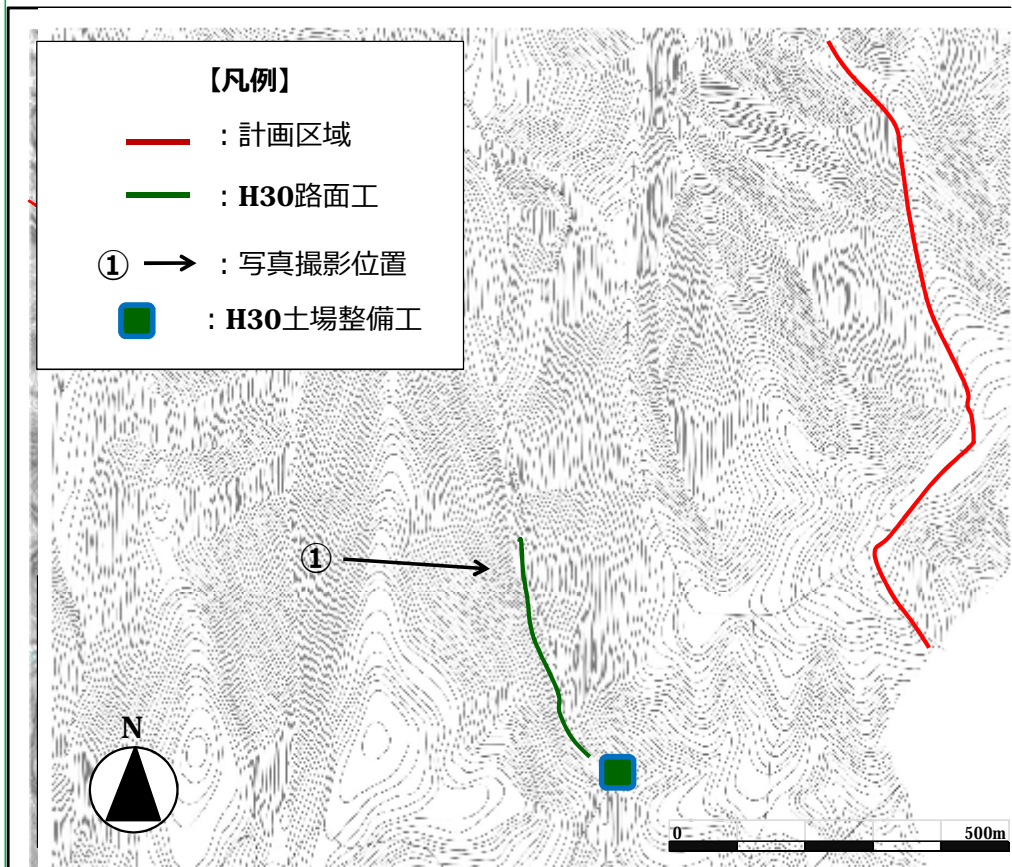
H30.11.20

# 平成30年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

あまみ ぼだに  
【事業地】(23) 河内長野市天見・棒谷地区

【事業者】株式会社南河内林業

(平面図)



	H30計画	H30実績	備考
作業道	250m	270m	概ね計画どおり実施
土場	1箇所	1箇所	計画どおり実施

(施工前)

## ①路面工



H29.7.9



(施工後)



H31.3.26



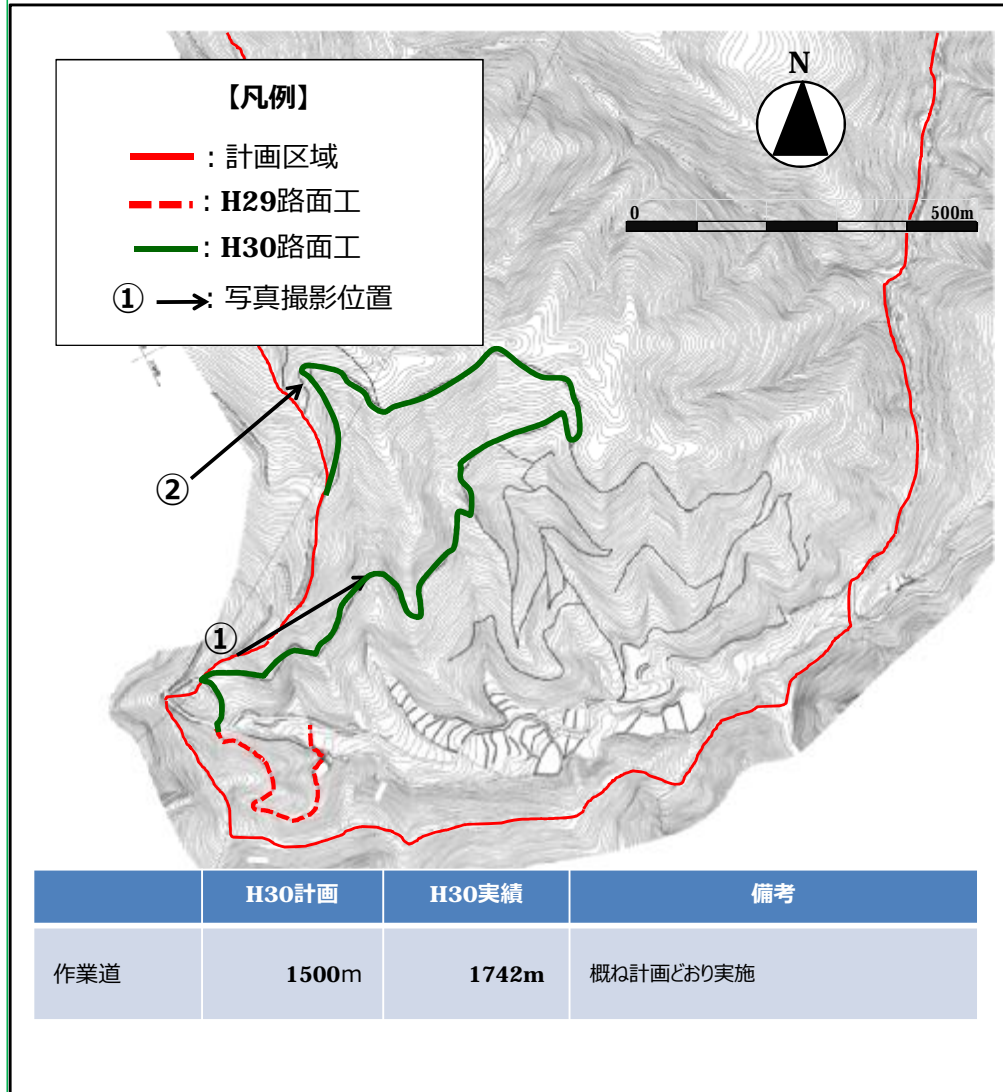
# 平成30年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

たきはた とうみょうだけ

【事業地】(25) 河内長野市滝畑・燈明岳地区

【事業者】株式会社南河内林業

(平面図)



(施工前)

(施工後)



H29.4.10

H31.2.12

②路面工



H29.4.10

H31.2.12

# 平成30年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

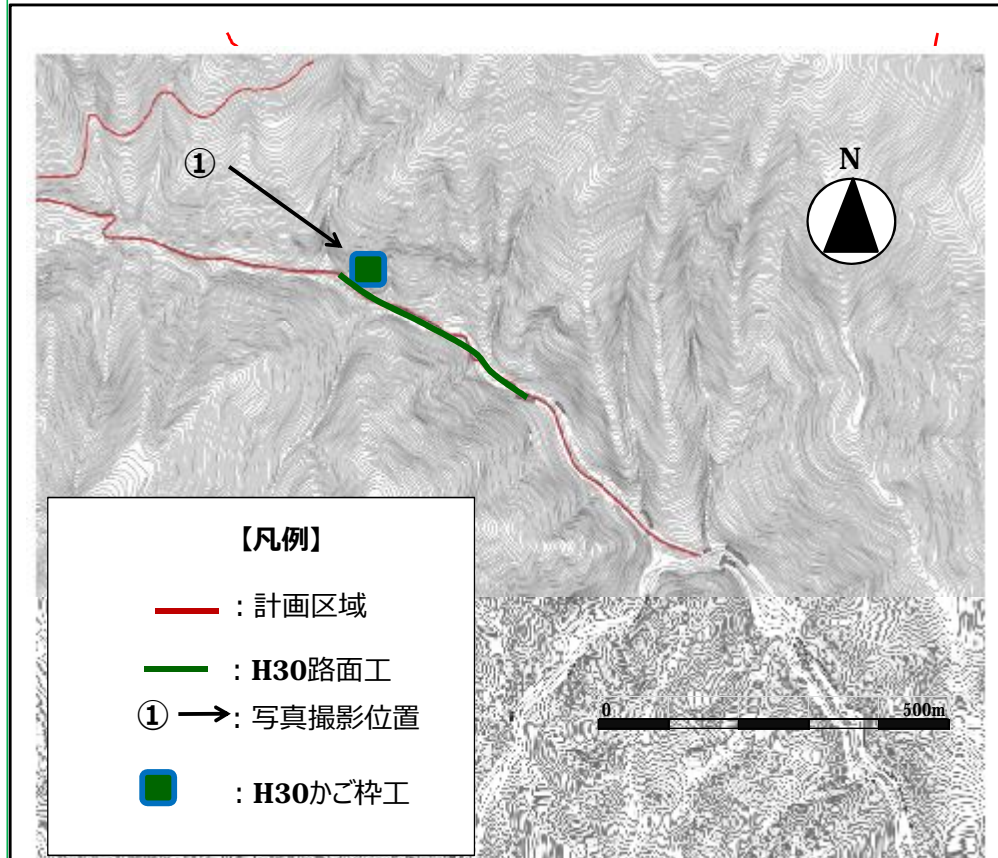
(3)-2

【事業地】(26) 河内長野市滝畑・御光滝地区 たきはた ごこうたき

【事業者】大阪府森林組合南河内支店

(平面図)

(施工前)



①かご砕工



H29.4.21



②かご砕工

(施工後)



H31.1.29

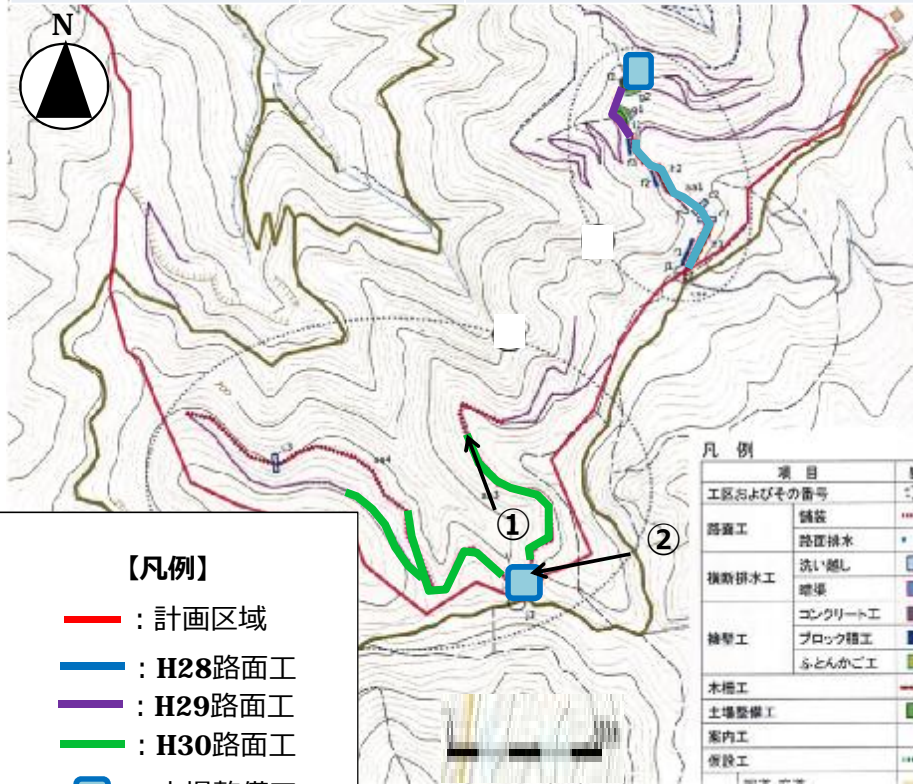
	H30計画	H30実績	備考
作業道	300m	370m	概ね計画どおり実施



ちちおに ななこし  
**【事業地】(27) 和泉市父鬼七越地区**  
**【事業者】大阪府森林組合泉州支店**

**(平面図)**

	H30計画	H30実績	備考
作業道	1,100m	1,095m	概ね計画どおり実施
土場	0箇所	1箇所	H29計画分を実施



**【凡例】**

- : 計画区域
- : H28路面工
- : H29路面工
- : H30路面工
- : 土場整備工
- ① → : 写真撮影位置

**凡例**

項目	色
工区およびその番号	...
路面工	舗装
	路肩排水
横断排水工	洗い出し
	標準
	コンクリート工
補修工	ブロック舗工
	ふとんかご工
木柵工	...
土場整備工	...
案内工	...
仮設工	...

**(施工前)**

**(施工後)**

**①路面工**



H30.11.19

H31.3.25

**②土場整備工**



H30.11.26

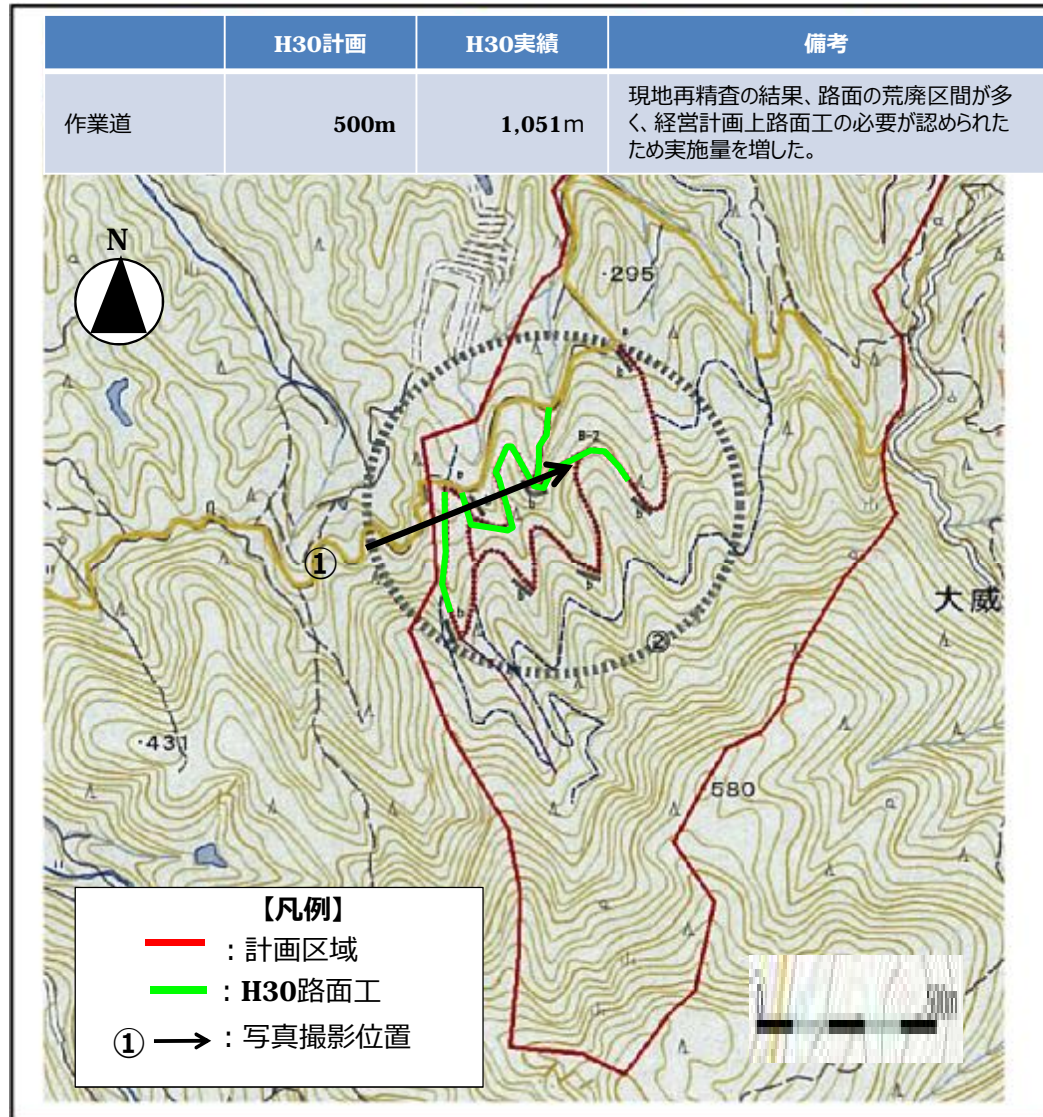
H31. 3.25



【事業地】(30) 岸和田市大沢町地区(シガ谷)

【事業者】大阪府森林組合泉州支店

(平面図)



(施工前) ①路面工



(施工後)

H30.11.22



H31.3.12

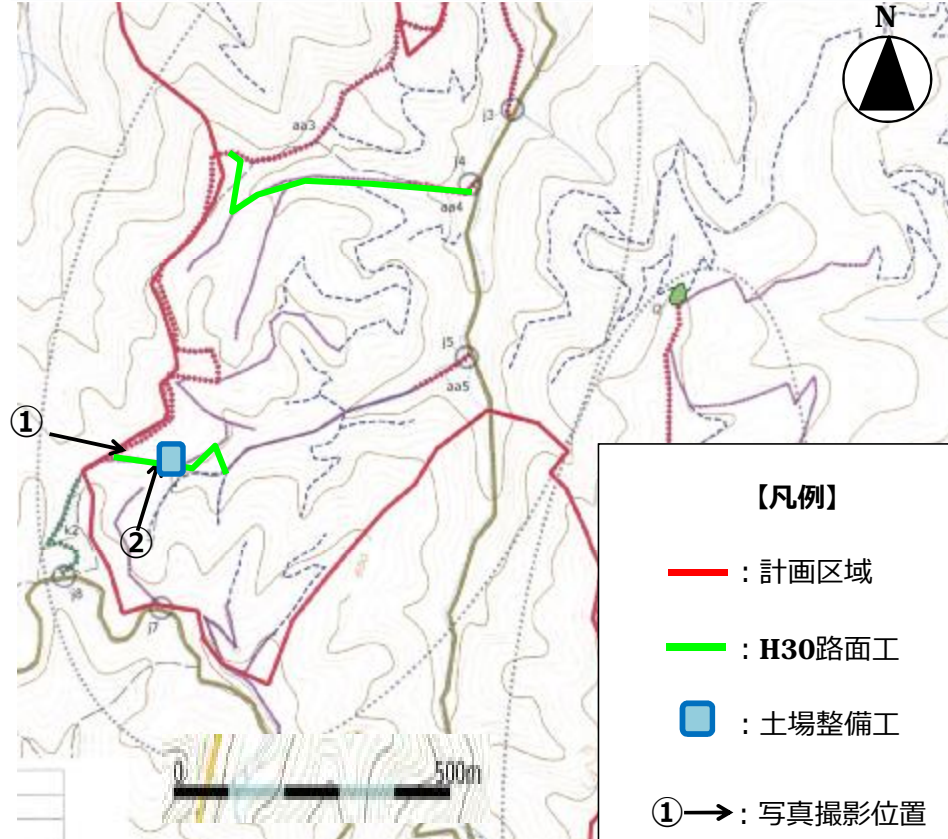


# 平成30年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

ほんたに  
**【事業地】** 貝塚市本谷地区  
**【事業者】** 大阪府森林組合泉州支店

**(平面図)**

	H30計画	H30実績	備考
作業道	1,000m	782m	計画区間を実施。測量精査により実績が減
土場	3箇所	1箇所	現地再精査の結果、2か所について次年度施工とした。



**(施工前)**

**(施工後)**

**① 路面工**



H30.11.19



H31.3.26

**② 土場整備工**



H30.11.19



H31.3.26

【H27～H28基盤づくり実施箇所状況写真】



【事業地】河内長野市加賀田地区



【事業地】貝塚市木積地区



【事業地】河内長野市大井・鳩原地区



【事業地】能勢町山辺地区



平成30年度 大阪府森林環境整備事業 評価シート

担当課名	みどり推進室森づくり課
担当グループ名	森林支援グループ
連絡先	(06)6210-9556

1 事業概要

事業実施年度	平成30年度
評価年月日	令和元年6月24日
① 概要等	健全な森林を次世代へつなぐ取組み
事業名	持続的な森づくり推進事業(基盤づくり)
事業概要	基幹作業道の舗装・集積土場の整備
事業開始年度	平成28年度
② 事業の目的	所有形態が小規模・分散化した森林をまとめた団地として集約化し、基幹的な作業道の舗装や木材集積土場の設置などの基盤づくりを進め、計画的な間伐促進を図るとともに、安定的に木材を供給できる体制を構築する。

(単位:千円)

③ 事業費	年度別推移	H28	H29	H30	R1～	合計
当初計画(千円)	321,000	205,800	241,800	312,200	1,080,800	
現計画(千円)	237,668	165,718	325,132	352,282	1,080,800	
執行額(千円)	237,668	165,718	271,406	—	—	

基幹的な作業道や木材集積土場の設置など、計画的な間伐促進を図るための基盤づくりに必要な経費を助成  
 ○事業箇所数: 34地区(4,800ha)(当初 33地区(4,700ha)(H30.11番議会 で出 灰流谷地区事業廃止 後)  
 ○事業主体: 森林所有者から森林施業を委託された林業事業者  
 ○補助率: 定額(工種毎の補助単価)に基づき算出)  
 ○対象森林:  
 ①集約化により一体的な森林管理が可能な、区域面積が概ね100ha以上の人工林で、森林法に基づき森林経営計画が作成され、計画的な間伐や搬出が見込まれること  
 ②森林所有者や林業事業者が、本事業により整備した基盤施設を活用し、間伐や植栽等の森林経営を長期にわたって継続的に実施する見込みがあること。

2 自己評価

(1) 事業実績

指標・検証方法	計画	実績	評価区分	理由
指標 指 標	基幹作業道の舗装			
検証方法	事業の完成検査	10,100m		
指標 指 標	集積土場の整備			
検証方法	事業の完成検査	17箇所		
⑤ 実績検証の内容		14箇所		<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> あまり妥当でない <input type="checkbox"/> 妥当でない 基幹作業道の延長については、岸和田市大沢町地区(ツガ谷)において、現地再精査の結果、路面の荒廃区間が多く、路面工を約500m追加実施したことなどから計画以上の数量となった。 また工場については、風倒木被害に伴い高槻市川久保地区の2箇所をR1施工とし、貝塚市本谷地区で事業計画を見直しで2箇所をR1施工と見送った個所をH30に施工した。これらのことから、全体計画の残る部分については、最終のR1に整備を完了する見通しである。 (※詳細は、箇所別個票参照)

(2) 事業効果(令和2年度に最終評価予定)

指標・検証方法	計画	実績	評価区分	理由
⑥ 効果検証の内容				
指 標	34箇所・4,800haの森林の健全化			
検証方法	間伐実施量の確認 間伐材搬出量の確認 協定締結した森林所有者数の確認			

(3) 自己評価(総合) (令和2年度に最終評価予定)

⑦ 自己評価	総合評価	理由

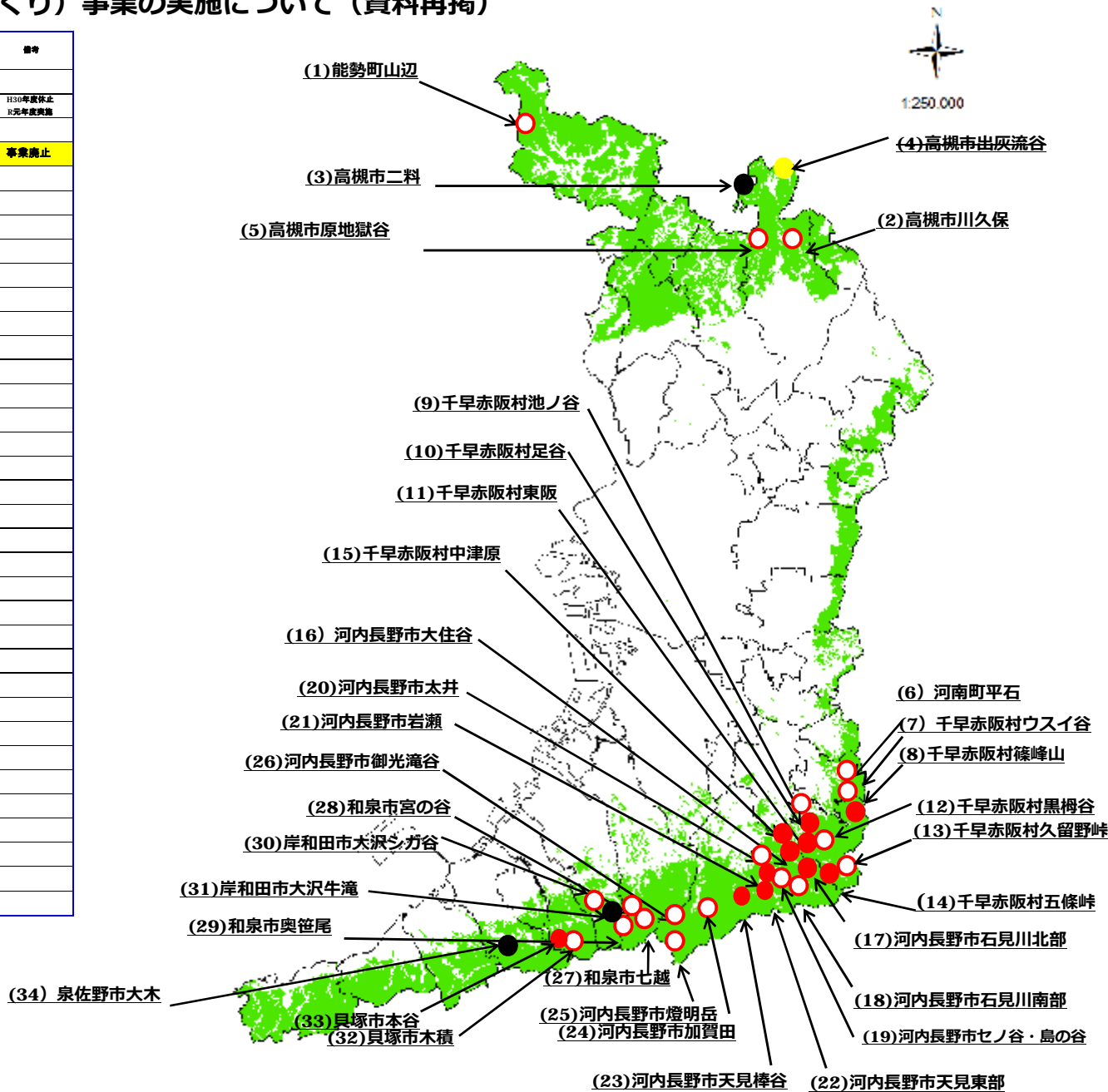
3 第三者評価

⑧ 第三者評価	大阪府森林環境整備事業評価審議会の意見

令和元年度 持続的森づくり（基盤づくり）事業の実施について（資料再掲）

番号	市町村	地区名	実施年度				備考
			H28	H29	H30	R1	
1	能勢町	山辺					
2	高槻市	川久保					H30年度休止 R1年度実施
3		二料					事業休止
4		出灰流谷					
5		原地獄谷					
6	河南町	平石					
7	千早赤阪村	水分ウスイ谷					
8		水分篠峰山					
9		水分池の谷					
10		水分足谷					
11		東阪					
12		千早黒桐谷					
13		千早久留野峠					
14		千早五條峠					
15		中津原					
16		河内長野市	小深大住谷				
17	石見川北部						
18	石見川南部						
19	セノ谷・島の谷						
20	太井・鳩の原・神ヶ丘						
21	岩瀬						
22	天見東部						
23	天見棒谷						
24	加賀田						
25	滝畑燈明岳						
26	滝畑御光滝谷						
27	和泉市	父鬼七越					
28		父鬼宮の谷・大岩					
29		父鬼奥笹尾					
30	岸和田市	大沢シガ谷					
31		大沢牛滝					
32	貝塚市	木積					
33		本谷					
34	泉佐野市	大木					
合計		33地区	10	18	26	26	

- 平成28・29年度新規着手の箇所（19箇所）
- 平成30年度新規着手の箇所（11箇所）
- 令和元年度新規着手予定箇所（3箇所）





## (4) 持続的な森づくり推進事業（人材育成）

### 【目的】

林業技術や森林経営等の知識・ノウハウを持ち、地域の森林管理の中核を担う森林経営リーダー（若手従事者（後継者））や川上から川下までの関係者とネットワークを構築し、府内産材に関する流通等のコーディネーター役となる人材を確保し、長期にわたる森林経営の適切な実施や府内産材の需要拡大により、持続的な森づくりを推進する。

### 【事業概要】

森林経営リーダーや府内産材コーディネーターを確保するため、専門家等による講座や現地研修等を開催する。

○事業主体：大阪府

○事業内容等：

#### ①府内産材コーディネーターの育成（10名）

- ・木材流通業者を対象に木材業経営についての講義を基軸に川上・川下従事者での意見交換を含めた研修を実施。
- ・研修回数：3回/年（1年で終了）[H28]（受講料を徴収）

#### ②森林経営リーダーの育成（12名）（※①-アH28に基盤づくり事業を実施した10地区で3名が担当。全域で12名を想定）

森林経営リーダーの育成講座は、H29初年度に若手育成等現場ニーズに対応して17名の受講者で実施。

- ・森林経営について先進的な取組みを行う林業従事者や民間企業、森林・木材に関する学識者等への講師派遣の依頼により、森林経営や施業技術、集約化プランニング等の講義や現地研修等を実施。
- ・研修回数：4回/年×3か年＝全12回[H29～R1で実施]（受講料を徴収）

### 【事業計画】

単位（事業費）：千円

区 分	全体計画		H28		H29		H30		R1	
	人数	事業費	人数	事業費	人数	事業費	人数	事業費	人数	事業費
府内産材コーディネーター	10	1,050	10	1,050	—	—	—	—	—	—
森林経営リーダー	12	3,150	—	—	12	1,050	(12)	1,050	(12)	1,050
合 計	22	4,200	10	1,050	12	1,050	(12)	1,050	(12)	1,050

# 平成30年度 持続的な森づくり推進事業（人材育成）実績

(4)-2

## ■ 持続的な森づくり・森林経営講座 ※若手森林経営リーダーの育成も含め17名が参画

### ◆ 森林経営リーダー 17名育成（育成のための研修会開催 4回）

日 時	内 容	実施目的
10月11日(木) 13:00～15:00	【現場研修】広葉樹専門市場(岐阜県各務原市) 現地説明:平野木材(株)社長 平野 健一氏	針葉樹だけでなく、広葉樹の流通の現状を把握する。
10月12日(金) 9:30～12:30	【現場研修】天然木曽ひのき林(長野県上松町) 現地説明:林野庁中部森林管理局職員	天然木曽ひのき林は日本三大美林の一つ。一般開放されているエリアには木曽森林鉄道でアクセスでき、自然観察者等で賑わっており、森林活用の知見を広げるために実施。
11月14日(水) 10:00～15:00	【講習】林業架線作業主任者免許試験受験準備講習 講師:静岡県林業技術者協会副会長 天野 忠俊氏  ※受講者のうちH30林業架線作業主任者免許試験を12名合格	森林経営のために必要な林業架線作業主任者免許取得のため、平成29年度に引続き受験準備講習を実施。
3月25日(月) 13:00～16:00	【講演】育成林からの木材生産・販売にむけて 講師:(株)山長商店代表取締役会長 榎本 長治氏  【意見交換会】川上から川下までの流通について(2) コーディネーター:久留米大学教授 梶原 晃氏	・(株)山長商店は育成林からの木材生産と販売を行っており、川下からの視点で講演していただくことで、課題や先進事例を認識する。 ・川上と川下がお互いの実情を把握し府内産利用促進に向け、平成29年度に引続き意見交換会を実施。



# 平成30年度 持続的な森づくり推進事業（人材育成）実績

(4)-2



【岐阜県各務原市広葉樹専門市場の研修の様子】  
H30.10.11



【長野県上松町赤沢自然休養林の研修の様子】  
H30.10.12



【講演・意見交換会開催の様子】

H31.3.25

平成30年度 大阪府森林環境整備事業 評価シート

担当課名	みどり推進室森づくり課
担当グループ名	森林支援グループ
連絡先	(06) 6210-9556

1 事業概要

(単位:千円)

事業実施年度	平成30年度
評価年月日	令和元年6月24日
① 概要等	健全な森林を次世代へつなぐ取組み
事業名	持続的な森づくり推進事業(人材育成)
事業概要	森林経営リーダー・府内産材コーディネーター人材育成
事業開始年度	平成28年度
② 事業の内容	林業技術や森林経営等の知識・ノウハウを持ち、地域の森林管理の中核を担う森林経営リーダー(若手従事者(後継者))や川上から川下までの関係者とネットワークを構築し、府内産材に関する流通等のコーディネーター 役となる人材を確保し、長期にわたる森林経営の適切な実施や府内産材の需要拡大により、持続的な森づくりを推進する。

③ 事業費	年度別推移	H28	H29	H30	R1~	合計
	当初計画(千円)	1,050	1,050	1,050	1,050	4,200
	現計画(千円)	300	733	1,400	1,767	4,200
	執行額(千円)	300	733	609	-	-
④ 事業の内容	森林経営リーダーや府内産材コーディネーターを確保するため、専門家等による講座や現地研修等を開催する。 ○事業主体：大阪府 ○事業内容等： ①府内産材コーディネーターの育成(10名) ・木材流通業者を対象に木材業経営について講義を基軸に川上・川下従事者での意見交換を含めた研修を実施。 ・研修回数：3回/年(1年で終了)〔H28〕 ・森林経営リーダーの育成(12名) ・森林経営について先進的な取組みを行う林業従事者や民間企業、森林・木材に関する学識者等への講師派遣の依頼により、森林経営や林業技術、集約化プランニング等の講義や現地研修等を実施。 ・研修回数：4回/年×3か年=全12回〔H29~H31で実施〕					

2 自己評価

(1) 事業実績

指標・検証方法	指標	計画	実績	評価区分	理由
⑤ 実績検証の内容	指標	森林経営リーダー	12人	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ あまり妥当でない □ 妥当でない	森林経営リーダーの育成講座は、H29初年度に若手育成等現場ニーズに対応して、計画12人に対して、17人の受講者で実施。H30年度も引き続き17名で実施し、森林経営リーダーの育成を進めた。
	検証方法	講座受講者数確認	17人		
(2) 事業効果(令和2年度に最終評価予定)					
指標・検証方法	指標	計画	実績	評価区分	理由
⑥ 効果検証の内容	指標	森林管理・府内産材の流通・需要拡大に関する健康度の向上			
	検証方法	受講者への聞き取りによる意識調査			
⑦ 自己評価	指標	今後の課題解決に向けた意志確認			
	検証方法	受講者への聞き取りによる意識調査			

(3) 自己評価(総合) (令和2年度に最終評価予定)

⑦ 自己評価	総合評価	理由

3 第三者評価

⑧ 第三者評価	大阪府森林環境整備事業評価師審議会の意見



【事業概要】 森林経営リーダーを育成するため、専門家等による講座や現地研修等を開催する

【育成対象】 17名：持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）の事業箇所33地区での推進役

【実施内容】 第1～4回（9～3月）講座【※実施内容調整中】

○講座

- ・講演会：(仮)木材利用の活性化について
- ・講習会：(仮)林業架線作業主任者免許を活かした現場講習
- ・意見交換会：川上から川下までの流通について

○現場

- ・先進事例現場視察

## (5) 持続的な森づくり推進事業（未利用木質資源（林地残材等）活用）

### 【目的】

人工林や里山林で伐採後放置された林地残材（未利用材）の有効活用により森林の健全化を図るため、林業事業者や森林所有者、地域で活動する里山保全活動団体等が林地残材を自ら継続的・安定的に搬出するために必要な仕組みを構築する。

### 【事業概要】

林業事業者や森林所有者、地域で活動する里山保全活動団体等に対する林地残材搬出用機械等の貸与や搬出された材を活用する木質バイオマス利用事業者等とのマッチングを行い、林地残材を継続的・安定的に搬出する仕組みづくりを担う事業者を選定し、運営を委託。

○事業主体：大阪府

○受託者：特定非営利活動法人 日本森林ボランティア協会  
(提案公募により委託先選定)

○契約期間：平成30年1月31日から令和2年3月16日

○搬出活動地：  
 ・NPOやボランティア団体が里山保全活動を実施している地区  
 ・持続的な森づくり推進事業を実施する地区 等

○事業目標（平成31年度）  
 ・搬出活動参加延べ人数 **300人**  
 ・搬出活動中核団体数 **6団体**

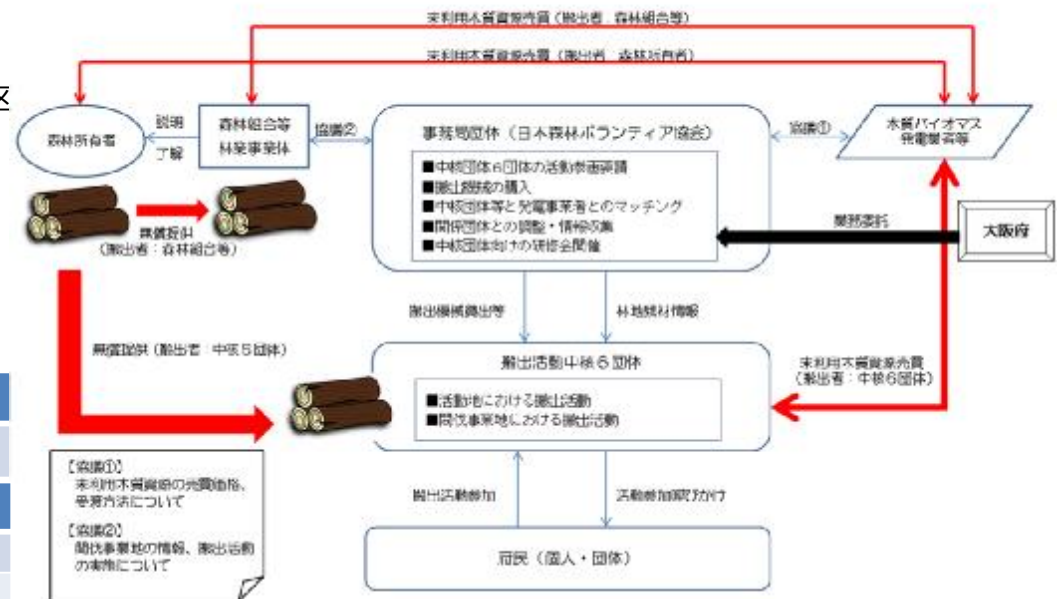
### 【事業計画】

単位：千円

年度	全体計画	H28	H29	H30	R1
事業費	24,722	2,851	18,071	2,400	1,400
			H29	H30	R1
参加延べ人数		100	200	300	
中核団体数		2	4	6	

### 《事業の仕組み》

未利用木質資源（林地残材等）活用体系図





## 平成30年度事業内容

（事業者名） 特定非営利活動法人 日本森林ボランティア協会

（事業内容） 未利用搬出活動の中核となる団体を確保し、搬出活動に必要な機材を貸与、併せて搬出作業技術の向上を目的とした研修等を実施すると共に、未利用材利用事業者とのマッチングを行うことにより、安定的・継続的に未利用材を搬出、利用するシステムを構築する

（契約期間） H30年1月31日～R2年3月16日

（契約金額） 18,071,696円

（搬出活動中核団体数） 5団体

（搬出活動・林内車研修等） のべ202人



【林内車指導者研修会】  
能勢町山辺 H30.8.29



【ポータブルウィンチを用いた搬出作業】  
能勢町妙見山 H30.6.26



【搬出した材を回収し利用】  
茨木市竜王山 H31.1.12

（搬出活動中核団体数） 5団体（島本森のクラブ・茨木里山を守る会・茨木ふるさとの森林づくり隊・とどろみの森クラブ・森林ボランティアトモロス）

平成30年度 大阪府森林環境整備事業 評価シート

担当課名	みどり推進室森づくり課
担当グループ名	森林支援グループ
連絡先	(06) 6210-9556

1 事業概要

事業実施年度	平成30年度
評価年月日	令和1年6月24日
① 施策区分	健全な森林を次世代へつなぐ取組み
① 概要等	持続的な森づくり推進事業(未利用木質資源(林地残材等)活用)
事業概要	搬出体前の構築に向けた事務局的設置・活動状況を周知
事業開始年度	平成28年度
② 事業の目的	人工林や里山林で伐採後放置された林地残材(未利用材)の有効活用により森林の健全化を図るため、林業事業者や森林所有者、地域で活動する里山保全活動団体等が林地残材を自ら断続的・安定的に搬出するために必要な仕組みを構築する。

(単位:千円)

③ 事業費	年度別推移				合計
	H28	H29	H30	R1~	
当初計画(千円)	2,851	18,071	2,400	1,400	24,722
現計画(千円)	2,255	15,009	2,400	1,400	21,064
執行額(千円)	2,255	15,009	2,021	—	—
④ 事業の内容	林業事業者や森林所有者、地域で活動する里山保全活動団体等に対する林地残材搬出用機械等の貸与や搬出された材を活用する木質バイオマス利用事業等とのマッチングを行い、林地残材を断続的・安定的に搬出する仕組みづくりを担う事業者を選定し、運営を委託する。				

2 自己評価

(1) 事業実績

⑤ 実績検証の内容	指標・検証方法		計画	実績	評価区分	理由
	指標	検証方法				
⑤ 実績検証の内容	指標	活動中核団体数	4団体	5団体	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> あまり妥当でない <input type="checkbox"/> 妥当でない	H30年度の事業実績については、搬出活動参加延べ人数及び、活動中核団体数は計画値を上回った。
	検証方法	実績の確認				
⑤ 実績検証の内容	指標	搬出活動参加延べ人数	200人	202人		
	検証方法	実績の確認				
⑥ 効果検証の内容	指標	関係者の理解度の向上	—	—		
	検証方法	森林所有者、活動参加者への意識調査				
⑥ 効果検証の内容	指標	搬出活動参加延べ人数(300人)	—	—		
	検証方法	実績の確認				
⑥ 効果検証の内容	指標	活動中核団体数(6団体)	—	—		
	検証方法	実績の確認				

(2) 事業効果

⑥ 効果検証の内容	指標・検証方法		計画	実績	評価区分	理由
	指標	検証方法				
⑦ 自己評価	指標	関係者の理解度の向上	—	—	理	由
	検証方法	森林所有者、活動参加者への意識調査				
⑦ 自己評価	指標	搬出活動参加延べ人数(300人)	—	—		
	検証方法	実績の確認				
⑦ 自己評価	指標	活動中核団体数(6団体)	—	—		
	検証方法	実績の確認				

(3) 自己評価(総合)

⑦ 自己評価	総合評価	理由
⑦ 自己評価		

3 第三者評価

⑧ 第三者評価	大阪府森林環境整備事業評価審議会の意見
⑧ 第三者評価	



## 令和元年度 持続的な森づくり推進事業(未利用木質資源(林地残材等)活用)の実施について

(事業者名) 特定非営利活動法人 日本森林ボランティア協会

(事業内容) 未利用搬出活動の中核となる団体を確保し、搬出活動に必要な機材を貸与、併せて搬出作業技術の向上を目的とした研修等を実施すると共に、未利用材利用事業者とのマッチングを行うことにより、安定的・継続的に未利用材を搬出、利用するシステムを構築する

(契約期間) H30年1月31日～R2年3月16日

(契約金額) 18,071,696円(3ヶ年契約金額)

(目標搬出活動中核団体数) 6団体 (目標搬出活動参加延べ人数) 300人

・現在、5つの中核団体（とどろみの森クラブ、茨木里山を守る会、茨木ふるさと森づくり隊、島本森のクラブ、森林ボランティアトモロス）がそれぞれの活動地を中心に、機材（ポータブルウィンチ・林内車）を用いて、未利用材搬出作業を実施。

・この5団体に加えて、更にもう1団体の参加を促す。

・事業者は**H30**年度に引き続き、上記の団体を対象に機材の安全利用について指導を行うと共に未利用材利用事業者（木質バイオマス発電事業者）との調整を実施

・活動地の拡大及び中核団体確保のため森林組合等、林業事業者や森林所有者との調整を実施。

## (6) 子育て施設木のぬくもり推進事業

### 【目的】

保育園や幼稚園の子育て施設における木材利用、とりわけ子どもたちが直接触れる床や壁等内装での利用を促進することにより、ストレス緩和や室内の快適性を高めるなど、子どもの育成環境に良い効果を与えるとともに、森林の大切さや木材に対する理解を深める「木育」の促進につなげる。

### 【事業概要】

内装（床・壁）木質化等に対して、その必要となる経費を支援する

- 対象施設：大阪府内の幼稚園及び認可保育所、認定こども園、地域型保育事業を行う事業所
- 事業主体：幼稚園等の施設設置者、地域型保育事業の事業主体
- 補助率：1/2（上限**2,500**千円）
- 補助要件：
  - ・原則、『おおさか材』（認証材）を使用する
  - ・市町村が事業主体となる場合は、公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律に基づく、市町村木材利用方針が策定されていること
  - ・整備後の効果等を把握するためのアンケート調査への協力
  - ・施設の職員や施工事業者が木育リーダーとなり、内装木質化や木材の良さを地域に広くPRする

### 【事業計画】

単位：千円

年度	全体計画	H28	H29	H30	R1
実施箇所数	150	30	40	40	40
事業費	376,500	75,300	100,400	100,400	100,400





## 平成30年度 子育て施設木のぬくもり推進事業 事業実績

### ■ 事業実績

【募集期間】 1次募集：4月16日（月）～7月31日（火）、2次募集：8月27日（月）～平成30年度末  
 【認定数】 31施設（内訳）北部：2、中部：18、南河内：3、泉州：8  
 【実績額】 45,889千円 【おおさか材】 44m<sup>3</sup>

番号	市町村名	園名	内容	床面積 (m <sup>2</sup> )	おおさか材 使用量 (m <sup>3</sup> )	木育リーダー
1	大阪市東住吉区	新生保育園	ウッドデッキ	15.56 m <sup>2</sup>	0.82 m <sup>3</sup>	園長
2	大阪市此花区	秀野保育園	床	185.41 m <sup>2</sup>	2.06 m <sup>3</sup>	保育士×2
3	東大阪市	本庄こども園	床・腰壁	73.14 m <sup>2</sup>	1.29 m <sup>3</sup>	事務員
4	堺市美原区	美原北こども園	床・壁	34.30 m <sup>2</sup>	0.54 m <sup>3</sup>	主幹保育教諭
5	大阪市福島区	ふじのもり保育園	ウッドデッキ	12.24 m <sup>2</sup>	0.42 m <sup>3</sup>	園長
6	河内長野市	柳風台保育園	床・腰壁・ウッドデッキ	163.21 m <sup>2</sup>	2.47 m <sup>3</sup>	主任保育士
7	大阪市生野区	こひつじ乳児保育園	床	40.29 m <sup>2</sup>	0.60 m <sup>3</sup>	保育士×2
8	大阪市住吉区	万代幼稚園	造り付け戸棚	223.00 m <sup>2</sup>	2.53 m <sup>3</sup>	事務員
9	堺市中区	深井駅前こども園	腰壁・壁面・造作家具	62.35 m <sup>2</sup>	1.21 m <sup>3</sup>	園長
10	堺市中区	深井中央こども園	腰壁・壁面・天井	193.12 m <sup>2</sup>	1.60 m <sup>3</sup>	園長
11	豊能郡能勢町	みどり丘幼稚園	床・腰壁	272.10 m <sup>2</sup>	3.35 m <sup>3</sup>	園長
12	堺市西区	あいあい浜寺中央こども園	床	71.10 m <sup>2</sup>	1.04 m <sup>3</sup>	主任保育士
13	枚方市	清香学園幼稚園	造り付け戸棚・腰壁・建具	99.47 m <sup>2</sup>	1.10 m <sup>3</sup>	主任保育士

番号	市町村名	園名	内容	床面積 (㎡)	おおさか材 使用量 (㎡)	木育リーダー
14	東大阪市	ひしの美東保育園	床・腰壁・建具・収納	121.39 m <sup>2</sup>	2.93 m <sup>3</sup>	園長
15	八尾市	ゆう安中東こども園	ウッドデッキ	47.30 m <sup>2</sup>	1.27 m <sup>3</sup>	主幹保育教諭
16	吹田市	山手幼稚園	床・造り付け戸棚・建具	25.70 m <sup>2</sup>	1.36 m <sup>3</sup>	総務長
17	大阪市住之江区	浜口保育所	床	147.20 m <sup>2</sup>	1.70 m <sup>3</sup>	保育士
18	東大阪市	くすのきこども園	床、腰壁、建具	84.34 m <sup>2</sup>	2.13 m <sup>3</sup>	園長
19	大阪市東住吉区	平和幼稚園	床、造り付け戸棚	68.27 m <sup>2</sup>	1.54 m <sup>3</sup>	副園長
20	枚方市	まりも保育園	収納箱	17.45 m <sup>2</sup>	0.56 m <sup>3</sup>	園長
21	大阪市港区	安治川保育園	床・腰壁	58.35 m <sup>2</sup>	0.87 m <sup>3</sup>	保育主任
22	堺市北区	上野芝陽だまり保育園分園	ウッドデッキ、手すり	6.16 m <sup>2</sup>	0.64 m <sup>3</sup>	保育士×2
23	富田林市	寺池台保育園	壁・造り付け戸棚	210.66 m <sup>2</sup>	2.44 m <sup>3</sup>	園長
24	堺市中区	バンブーキッズ保育園	床	97.30 m <sup>2</sup>	1.14 m <sup>3</sup>	園長
25	八尾市	あい桂こども園	床・腰壁	92.60 m <sup>2</sup>	1.65 m <sup>3</sup>	園長、主幹保育教諭
26	堺市西区	サン子ども園 福泉園	床・腰壁	44.13 m <sup>2</sup>	0.69 m <sup>3</sup>	園長、教頭
27	大阪市旭区	両国保育所	床・仕切戸・ロッカー	93.90 m <sup>2</sup>	1.17 m <sup>3</sup>	保育主任
28	藤井寺市	ひかりこども園	ウッドデッキ・靴箱	58.11 m <sup>2</sup>	1.32 m <sup>3</sup>	保育士×2
29	大阪市平野区	十三保育園	床	55.13 m <sup>2</sup>	0.64 m <sup>3</sup>	自然専門リーダー
30	大阪市鶴見区	鶴見幼稚園	壁・建具	85.40 m <sup>2</sup>	1.27 m <sup>3</sup>	保育士
31	堺市南区	たけしろ幼稚園	壁	106.17 m <sup>2</sup>	1.25 m <sup>3</sup>	園長
<b>合計</b>				<b>2864.85 m<sup>2</sup></b>	<b>43.60 m<sup>3</sup></b>	<b>木育リーダー：計42名</b>



**H30.4～11月**

市町村の子育て施設関係の会議にて事業説明・募集要項配布  
計**22**回説明  
出席園数：延べ約**550**園

**H30.6月** 社会福祉団体の会合にて事業説明・募集要項配布  
出席者数：約**110**名（団体所属の園の園長、理事長等）

**6月** 市町村福祉子ども担当者会議にて、事業説明・募集要項配布  
出席：**44**市町村の福祉子ども施策担当者

**8月** 府福祉担当課を通じ2次募集の周知を実施（募集要項配布）  
対象：**44**市町村

**H31.3月** 平成**31**年度実施希望アンケート調査実施

対象：社会福祉団体所属園、保育園連盟所属園  
市町村子育て関係会議出席園、市町村会議出席園  
アンケート結果：**65**園が実施を検討との回答

## ■実施状況

### 1 新生保育園



H30.11.22

### 2 秀野保育園



H30.9.20

### 3 本庄こども園



H30.11.27

### 4 美原北こども園



H30.11.20

### 5 ふじのもり保育園



H31.1.16

### 6 柳風台保育園



H30.10.24



## ■実施状況

7 こひつじ乳児保育園



H30.10.18

8 万代幼稚園



H31.2.13

9 深井駅前こども園



H31.3.7

10 深井中央こども園



H31.3.7

11 みどり丘幼稚園



H31.1.29

12 あいあい浜寺中央こども園



H30.12.11

## ■実施状況

13 清香学園幼稚園



H31.02.16

14 ひし的美東保育園



H31.3.8

15 ゆう安中東こども園



H30.10.12

16 山手幼稚園



H31.2.28

17 浜口保育所



H31.2.20

18 くすのきこども園



H30.12.7



## ■実施状況

### 19 平和幼稚園



H30.12.27

### 20 まりも保育園



H31.2.21

### 21 安治川保育園



H31.1.7

### 22 上野芝陽だまり保育園 分園



H31.2.15

### 23 寺池台保育園



H31.3.13

### 24 バンブーキッズ保育園



H31.3.20

## ■実施状況

25 あい桂こども園



H31.2.5

26 サン子ども園 福泉園



H31.2.15

27 両国保育所



H31.2.18

28 ひかりこども園



H31.3.18

29 十三保育園



H31.3.18

30 鶴見幼稚園



H31.3.22

31 たけしろ幼稚園



H31.3.20



■ みどり丘幼稚園（能勢町）



合同懇談会

■ くすのきこども園（東大阪市）



保護者参加型の木育活動

## ■ ゆう安中東こども園（八尾市）

○ 保育教諭と一緒に楽しい異年齢交流

→ 園長先生の声

以前は廊下にビニールのカーペットを敷いていましたが、施工後は木製デッキとして園児の憩いの場所となり、風や光を浴びながら、小鳥のさえずりも聞こえる環境で、遊びや学びのスペースとして活用しています。



## ■ 山手幼稚園（吹田市）

○ 図書室に初めて入る子どもたち

→ 園長先生の声

以前は、寒々しい空間だった図書室。ただ、本を借りて保育室に帰るだけの場所でした。木質化したことにより、自分たちの好きなスタイルでその場で読んで過ごしたくなるような環境が整いました。





## ■ あいあい浜寺中央こども園（堺市西区）

○元気いっぱい！の節分

→園長先生の声

木のぬくもりを体感しながら健康な身体づくりをするために保育室では裸足で過ごしています。節分の豆まきも、元気いっぱいに鬼退治をしていました。保育室が明るくなり、子どもたちは大喜びでのびのびと活動しています。



## ■ 美原北こども園（堺市美原区）

○木質化したお部屋で英語活動（5歳児）

→園長先生の声

こどもたちが裸足になり木の温もりや肌触りを直接感じ  
柔らかな手触りや温かな風合い、安らぐ色、爽やかな香りに癒されています。



令和元年度 大阪府森林環境整備事業 評価シート

担当課名	みどり推進室森づくり課
担当グループ名	森林支援グループ
連絡先	(06) 6210-9556

1 事業概要

事業実施年度	平成30年度
評価年月日	令和元年6月24日
① 概要等	健全な森林を次世代へつなぐ取組み
事業区分	子育て施設木のぬくもり推進事業
事業名	子育て施設木のぬくもり推進事業
事業概要	木育・内装木質化推進
事業開始年度	平成28年度
② 事業の目的	幼稚園、保育所、認定子ども園の子育て施設を対象に、床や壁など、内装の木質化を支援することにより、子ども達の生活環境の充実を図るとともに、子ども達のうちから木材に対する理解を深める「木育」の促進、及び府内の森林資源の循環利用による健全な森林の保全に資することを目的とする。

(単位:千円)

③ 事業費	年度別推移	H28	H29	H30	R1~	合計
	当初計画(千円)	75,300	100,400	100,400	100,400	376,500
現計画(千円)	67,934	52,231	52,350	113,550	286,065	
執行額(千円)	67,934	52,231	46,175	-	-	

・内装(床・壁)木質化に対して、その必要となる経費を支援する  
 ○対象施設:府内の幼稚園及び認可保育所(認定子ども園を含む)  
 ○補助率:1/2(上限2,500千円)  
 ○補助要件:  
 ・原則、『おおさか材』(認証材)を使用する  
 ・施設の職員等が木育リーダーとなり、内装木質化や木材の良さを地域に広くPRする

2 自己評価

(1) 事業実績

⑤ 実績検証の内容	指標・検証方法		計画	実績	評価区分	理由
	指標	子育て施設の内装木質化				
⑤ 実績検証の内容	検証方法	木質化した園数	40園	31園	□ 妥当である ■ 概ね妥当である □ あまり妥当でない □ 妥当でない	計画予定施設数には満たなかったものの、木育リーダーの数は計画を上回る実績となった。これにより、本事業の目的である、木育を通して森林・木材への理解を深めることに期待がもたれる結果となった。また、各施設の木育活動は多様化が見られ、地域を含めた木育活動の効果に期待できるところである。 事業の周知については、団体の会合や市町村の会議などで、事業の説明及び募集要項の配布の機会を設けていただいて、積極的に、事業募集実施の周知について努めた。
	指標	おおさか材使用量	60㎡	44㎡		
⑤ 実績検証の内容	検証方法	おおさか材使用量の確認	40人	42人	□ 妥当である ■ 概ね妥当である □ あまり妥当でない □ 妥当でない	計画予定施設数には満たなかったものの、木育リーダーの数は計画を上回る実績となった。これにより、本事業の目的である、木育を通して森林・木材への理解を深めることに期待がもたれる結果となった。また、各施設の木育活動は多様化が見られ、地域を含めた木育活動の効果に期待できるところである。 事業の周知については、団体の会合や市町村の会議などで、事業の説明及び募集要項の配布の機会を設けていただいて、積極的に、事業募集実施の周知について努めた。
	指標	木育リーダーの人数	40人	42人		

(2) 事業効果(令和2年度に最終評価予定)

⑥ 効果検証の内容	指標・検証方法		計画	実績	評価区分	理由
	指標	利用者の木材利用に関する理解度の向上				
⑥ 効果検証の内容	検証方法	アンケートの実施			□ 妥当である ■ 概ね妥当である □ あまり妥当でない □ 妥当でない	計画予定施設数には満たなかったものの、木育リーダーの数は計画を上回る実績となった。これにより、本事業の目的である、木育を通して森林・木材への理解を深めることに期待がもたれる結果となった。また、各施設の木育活動は多様化が見られ、地域を含めた木育活動の効果に期待できるところである。 事業の周知については、団体の会合や市町村の会議などで、事業の説明及び募集要項の配布の機会を設けていただいて、積極的に、事業募集実施の周知について努めた。
	指標	アンケートの実施				

(3) 自己評価(総合)(令和2年度に最終評価予定)

⑦ 自己評価	総合評価	理由

3 第三者評価

⑧ 第三者評価	大阪府森林環境整備事業評価審議会の意見



【予算額（補助金）】 113,550千円  
 【施設数】 40施設 【おおさか材】 60m<sup>3</sup>

【第1次募集】 平成31年4月15日（月）～ 平成31年7月31日（水）

## 平成31年度子育て施設木のぬくもり推進事業 募集要項

平成31年4月15日  
 大阪府環境農林水産部みどり推進室

### 1 趣旨

大阪府では、幼稚園、保育所、認定こども園等の子育て施設を対象に、床や壁など、内装等の木質化を支援することにより、子どもの成育環境の充実を図るとともに、子どものうちから木材に接することで、その良さを体感し、森林の大切さや木材に対する理解を深めることを目的として、森林環境税を活用した「子育て施設木のぬくもり推進事業費補助金」を交付することとしました。この補助金の交付を希望する事業者を募集します。

### 2 事業概要

○補助事業の概要は別表のとおりです。  
 ○詳細については、子育て施設木のぬくもり推進事業実施要領(以下「実施要領」という。)をご参照ください。

### 3 募集の方法

- (1) 募集期間 **平成31年4月15日(月曜日)から平成31年7月31日(水曜日)まで**
  - (2) 提出書類 子育て施設木のぬくもり推進事業実施計画書(実施要領 様式第1号)
- ※実施計画書の提出により補助金交付が決定するわけではありません。  
 下記の4、5に示すとおり、対象事業の認定後、交付申請を受けて補助金交付を決定します。
- (3) 提出先 大阪府 環境農林水産部 みどり推進室 森づくり課 森林支援グループ

### 4 対象事業の認定について

提出された事業実施計画書の内容を審査し、事業実施主体からのヒアリングを実施し、順次、対象事業を認定し、応募があった事業実施主体に通知します。

### 5 交付申請・交付決定について

認定後、事業を実施するに当たっては、別途、補助金の交付申請が必要で、事業は、府からの交付決定の通知後に着手してください。交付決定前に事業に着手することで発生した経費は補助対象となりません。

**交付申請は予算の範囲内で受け付けます。申請額が当該年度予算額を超える場合には交付申請書を受け付けることはできません。**

### 6 その他

#### 提出書類の様式等の電子ファイルについて

本募集要項、提出書類の様式及び実施要領の電子ファイルは、下記大阪府公式ホームページに掲載していますので、ご利用ください。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/midorikikaku/shinrinkankyozei/index.html>

「森林環境税」による森林保全の取組

## 子育て施設木のぬくもり推進事業

幼稚園や保育所などの子育て施設において、「おおさか材」を使った内装の木質化に係る経費の1/2以内(上限額250万円)を助成します。



大阪府では、子どもの成育環境を充実するとともに、子どものころから木材に接し、その良さを体感し、森林の大切さについての理解を深める「木育」の促進及び府内の森林資源の循環利用による健全な森林の保全に資することを目的として、「子育て施設木のぬくもり推進事業」を実施しています。

H30 木質化施設一覧 (S-用)

みどり石動幼稚園	熊野町	山手幼稚園	枚方市	新生保育園	大阪市
高野保育園	大阪市	ふじのもり保育園	大阪市	こひつじ乳児保育園	大阪市
万代幼稚園	大阪市	平島幼稚園	大阪市	安治川保育園	大阪市
梅田保育園	大阪市	十三保育園	大阪市	鶴見幼稚園	大阪市
浜口保育園	大阪市	清南学園幼稚園	枚方市	ぼりも保育園	枚方市
本庄こども園	東大阪市	ひしのみ東保育園	東大阪市	くすのきこども園	東大阪市
ゆうげ中央こども園	八尾市	あいむこども園	八尾市	ひかりこども園	藤井寺市
寺台台保育園	富田町	緑園台保育園	河内長野市	美原北こども園	堺市
深井駅前こども園	堺市	深井中央こども園	堺市	あいあい児童中央こども園	堺市
上野出陣だま保育園	堺市	パンブーキッズ保育園	堺市	サン子こども園	堺市
たけしる幼稚園	堺市				

【事業周知】 市町村及び教育関係団体による会合にて事業周知を実施（予定）

- ・ 4月 募集開始のDMを65園に送付
- ・ 5～6月 電話による65園への募集開始の周知活動
- ・ 6月 社会福祉団体の会合にて事業説明及び募集要項配布 約110園出席予定
- ・ 6月 河内長野市の園長会にて募集要項配布予定12園出席予定
- ・ 7月 市町村福祉子ども担当者会議にて事業説明及び募集要項配布予定